大阪市立科学館
館報
ANNUAL REPORT 2025

令和７年（2025年）度版
vol.36

大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

はじめに

大阪市立科学館にとって 2025 年度は、2024 年 8 月の常設展示場リニューアルオープン以来はじめて 12 か月間をとおして営業した年度となりました。一般的には、一時的に来館者が増える初期のリニューアル効果が薄れる時期であり、また、第 1 四半期には 2025 大阪・関西万博（以下「万博」という。）との競合により、団体利用者が激減するという事態になりましたが、最終的には総観覧者数が 791,224 人に達し、1989 年の開館以来 37 年間で最多の来館者数を記録しました。

当館では、この 1 年間、万博を背景に「交流」と「対話」を意識した取り組みを進めてまいりました。その結果、これまでになく多くの国内外の関係機関のみなさまを当館にお迎えし、また、我々が万博会場にも出かけることで、様々な交流が生まれたことは何より貴重な体験でした。万博アメリカパビリオンで展示されていた SLS ロケット模型を米国国務省から受贈し常設展示化できたことや、国内外の万博パビリオンで活用された手持ちデバイスを受贈し、早速、新収資料展で紹介できたことは、その成果と言えます。

さらに、リニューアルした展示場の特徴の一つであるワークショップや企画展示を開催する「みんなのサイエンス・ラボ」の運用にも力を入れました。特に昨年度は、万博との接続を強く意識した「万博で夢見たサイエンス展」、「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」や、名探偵コナンの新作映画で注目された国立天文台野辺山宇宙電波観測所を紹介する「野辺山天文台展」など話題性の高いテーマ設定による展示のほか、「プラネタリウム 100 年」や「静電気の世界」など過去と現在・未来という時間軸をまたいだ実物資料を中心にした企画展示と体験を意識した関連イベントも当館の特徴をアピールするものでした。これらの企画が「来るたび新鮮な常設展示場」の実現に寄与し、常設展示場に多くのお客さまをお迎えする要因になったと考えております。

大阪市立科学館では、昨年度生まれた出会いをさらに育て、持続可能な発展に向かって、一歩一歩、未来へ歩みを進めていきたいと考えています。これからも、スタッフ一同微力を尽くしてまいりますので、引き続きみなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

2026 年 7 月
大阪市立科学館長　吉岡　克己

大阪市立科学館の使命「科学を楽しむ文化の振興」

私たちは、大阪市立科学館での本物による体験を基に、科学の正しい解釈による多様な楽しみ方を地域・職場・家庭・学校等に広げ、当館での感動体験が社会に伝播することをめざします。

“大阪市立科学館の使命を「科学を楽しむ文化の振興」と設定する。
我々は何としても「科学を楽しむ文化」を定着させたいと考えている。「科学を楽しむ文化」が定着すれば、理科を習おうという強い動機が自然に生まれてくる。これがひいてはわが国の将来を明るく照らしてくれることになろう。”　（「大阪市立科学館のあり方 提言」より引用）

利 用 案 内

開 館 時 間　9：30～17：00（展示場の入場は16：30まで、プラネタリウムの最終投影は16：00から）
※土曜日、日曜日、祝休日は17：00からプラネタリウムの追加投影あり。
（展示場は17：00閉場、17：00のプラネタリウム終了次第閉館）

休　館　日　毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌平日に休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
その他メンテナンス休館日あり。

利 用 料 金　（単位：円、団体は30名以上）

	展示場		プラネタリウム	
	個人	団体	個人	団体
大人	400	320	600	480
中人（高校・大学生）	300	240	450	360
小人（中学生以下）	無料	無料	300*	240*

*3歳以上

観覧券の販売時間　★展示場観覧券　9：30～16：30
★プラネタリウム観覧券　9：30～16：00（ただし満席になり次第終了）
9：30～17：00（土・日・祝休日、ただし満席になり次第終了）
Webチケット販売あり

施　　設　プラネタリウム、展示場、研修室、工作室、多目的室

バリアフリー　乳幼児のオムツ交換台、ベビーチェア、温水洗浄器付き多目的トイレ（全階）、救護室、授乳室、車いす・ベビーカーの貸し出し

売　　店　天文、科学関連商品、オリジナルグッズなどを販売

カ　フ　ェ　約40席　軽食、喫茶等

利用上の注意　ペットの持ち込み不可（補助犬可）
撮影不可（プラネタリウムホール内）
大阪市立科学館利用規程、職員の指示に従っていただくこと

交 通 案 内
・Osaka Metro四つ橋線肥後橋駅から西へ約500m
・京阪中之島線渡辺橋駅から南西へ約400m
・JR大阪環状線福島駅から南へ約1,000m
・JR東西線新福島駅から南へ約900m
・阪神福島駅から南へ約800m
・阪神高速環状線土佐堀出口から
車で西へ約700m

目　　次

はじめに

利用案内

1部　2025 年度事業実績概要

１．利用状況　1

（1）2025 年度　利用状況　1

（2）2025 年度　利用状況詳細　2

（3）年度別利用状況（至近５か年）　4

２．2025 年度の主な活動・できごと　5

2部　事業編

１．展示事業　7

（1）展示場の公開　7

（2）新規展示の製作　7

（3）展示の貸し出し　8

（4）企画展　8

（5）新収資料展　9

（6）博学連携　10

（7）図書コーナー　10

（8）学校団体向けワークシート　10

（9）展示解説文の多言語化　10

(10)　１階「みんなのサイエンス・ラボ」　11

(11)「大阪の宝」展示　11

２．演示事業　13

（1）プラネタリウム　13

（2）サイエンスショー　15

３．普及教育事業　16

（1）講座・教室等　16

（2）天体観望会　19

（3）科学イベント　20

（4）コロキウム　23

（5）オンライン事業　23

（6）教員研修プログラム　24

（7）質問回答、相談活動　24

（8）情報提供　24

（9）おでかけサイエンス(出張科学イベント)　25

(10)　画像特別使用（画像提供）　26

(11)　おむかえサイエンス　26

(12)　出張サイエンスショー　26

(13)　実習生の受け入れ　26

(14)　研修講座　27

(15)　共同事業　27

(16)　出版・執筆事業　31

４．ボランティア活動　34

（1）展示解説ボランティア（サイエンスガイド）　34

（2）実演担当ボランティア（科学デモンストレーター）　34

（3）客員講師　34

（4）大阪市立科学館親善大使　35

（5）天体観望会指導員　35

（6）大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA　35

５．ジュニア科学クラブ　37

（1）概要　37

（2）2025 年度の活動状況　37

６．科学館友の会　38

（1）概要　38

（2）2025 年度の活動状況　38

７．資料収集保管活動　40

（1）寄贈・寄託・移管資料　40

（2）購入・製作資料　40

（3）寄託・借用資料　40

（4）資料の貸し出し　42

（5）図書資料の受入　42

８．調査研究活動　43

（1）研究体制と研究テーマ　43

（2）調査研究活動　43

（3）学会・研究会等での発表、招待講演　46

（4）著作・執筆等　47

（5）各種委員等　48

（6）学会・研究会所属状況 49
（7）研究会の開催 49
（8）研究費交付状況 50
（9）その他活動 50
9．広報・宣伝活動 51
（1）2025 年度広報・宣伝活動の特徴 51
（2）広報・広告活動 54
（3）プレスリリース 68
（4）その他 広報印刷物 68
10. 売店事業 69
11. 電力量料金の推移 70
（1）過去５カ年の各月使用電力量と電力量料金の推移 70
12. イベント・その他 71
（1）開館時間延長 71
（2）七夕まつり 71
（3）展示場の無料開放 71
（4）北側広場の大道芸パフォーマンスへの開放 71
（5）駐車場の管理運営 71
（6）自動販売機の設置 71
（7）Wi-Fi の設置 71
（8）インターネット予約購入システム 71
（9）キャッシュレス決済 71
⑽ クリスマス 71
⑾ 国際交流 71
3部 資料編
１．科学館概要 73
２．沿革 74
３．施設概要 75
（1）建物概要 75
（2）配置図・断面図・各階平面図 76
４．常設展示品一覧 80
（1）４階 科学の探究 80
（2）３階 物質の探究／サイエンスショー 82
（3）２階 みんなでたのしむサイエンス 83
（4）１階、正面玄関、地階、屋外 84
（5）その他展示コーナー等 84
５．プラネタリウム設備及び投影種別 85
（1）投影機器類 85
（2）投影の種類 86
６．主な設備・備品 87
（1）天体観測装置 87
（2）データ解析装置 88
（3）ネットワークシステム 88
（4）物理・化学関係実験装置・測定器等 88
（5）オンライン収録・配信用機器 89
７．大阪市立科学館利用規程 90
附録 大阪市立科学館職員名簿 92
大阪市立科学館概要

1部　2025年度事業実績概要

1. 利用状況

(1)2025年度　利用状況

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数(日)		26	27	22	27	28	24	27	26	20	23	24	25	299
展示場	大人	11,570	16,105	15,301	20,607	31,601	17,788	16,204	13,419	9,666	11,705	15,232	16,799	195,997
	中人	3,257	4,733	4,355	5,692	10,741	7,535	4,877	4,448	4,594	4,255	6,655	10,107	71,249
	小人	7,402	12,385	11,591	13,558	21,899	14,253	18,451	16,208	10,328	9,287	12,357	12,296	160,015
	その他	2,219	2,517	2,271	3,942	4,947	2,894	2,563	2,574	1,934	2,346	2,680	2,837	33,724
	小計	**24,448**	**35,740**	**33,518**	**43,799**	**69,188**	**42,470**	**42,095**	**36,649**	**26,522**	**27,593**	**36,924**	**42,039**	**460,985**
	1日平均	940	1,324	1,524	1,622	2,471	1,770	1,559	1,410	1,326	1,200	1,539	1,682	1,542
プラネタリウム	大人	9,329	12,911	12,387	16,219	22,859	14,523	13,182	12,055	9,327	10,124	12,157	12,339	157,412
	中人	2,525	3,386	3,072	3,653	6,405	5,153	3,532	3,581	3,382	2,984	4,855	6,671	49,199
	小人	4,049	7,373	7,680	8,124	12,323	9,583	11,892	10,357	6,984	5,638	5,813	6,603	96,419
	その他	1,709	2,322	1,888	2,866	3,121	2,389	2,272	2,232	1,737	1,852	2,446	2,375	27,209
	小計	**17,612**	**25,992**	**25,027**	**30,862**	**44,708**	**31,648**	**30,878**	**28,225**	**21,430**	**20,598**	**25,271**	**27,988**	**330,239**
	1日平均	677	963	1,138	1,143	1,597	1,319	1,144	1,086	1,072	896	1,053	1,120	1,104
	1回平均	101	136	156	168	219	179	157	146	126	126	155	156	153
展示場・プラネタリウム計	大人	20,899	29,016	27,688	36,826	54,460	32,311	29,386	25,474	18,993	21,829	27,389	29,138	353,409
	中人	5,782	8,119	7,427	9,345	17,146	12,688	8,409	8,029	7,976	7,239	11,510	16,778	120,448
	小人	11,451	19,758	19,271	21,682	34,222	23,836	30,343	26,565	17,312	14,925	18,170	18,899	256,434
	その他	3,928	4,839	4,159	6,808	8,068	5,283	4,835	4,806	3,671	4,198	5,126	5,212	60,933
	合計	**42,060**	**61,732**	**58,545**	**74,661**	**113,896**	**74,118**	**72,973**	**64,874**	**47,952**	**48,191**	**62,195**	**70,027**	**791,224**
	1日平均	1,618	2,286	2,661	2,765	4,068	3,088	2,703	2,495	2,398	2,095	2,591	2,801	2,646
普及教育		371	1,702	950	649	975	649	667	824	565	955	884	289	9,480
総合計		42,431	63,434	59,495	75,310	114,871	74,767	73,640	65,698	48,517	49,146	63,079	70,316	800,704

(2)2025年度 利用状況詳細

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数（日）			26	27	22	27	28	24
臨時休館日数（日）								
展示場	個人	大 人	11,448	15,340	14,584	20,178	31,472	17,186
		高大生	3,063	4,418	4,160	5,235	10,741	7,307
		中学生以下	6,741	6,713	6,088	11,604	21,212	7,303
		その他	2,197	2,377	2,105	3,847	4,919	2,649
		小 計	23,449	28,848	26,937	40,864	68,344	34,445
	団体	大 人	122	765	717	429	129	602
		高大生	194	315	195	457	0	228
		中学生以下	661	5,672	5,503	1,954	687	6,950
		その他	22	140	166	95	28	245
		小 計	999	6,892	6,581	2,935	844	8,025
	① 計		**24,448**	**35,740**	**33,518**	**43,799**	**69,188**	**42,470**
	1日平均		940.3	1323.7	1523.5	1622.2	2471.0	1769.6
	インターネット購入		868 (4.1%)	1,145 (4.3%)	1,134 (4.6%)	1,593 (4.3%)	4,300 (6.8%)	1,744 (5.5%)
	クレジットカード支払い		3,595 (14.7%)	4,751 (13.3%)	5,038 (15.0%)	6,986 (16.0%)	11,927 (17.2%)	5,952 (14.0%)
プラネタリウム	投影回数（回）		174	191	160	184	204	177
	個人	大 人	9,287	12,367	11,943	15,899	22,776	14,128
		高大生	2,470	3,358	3,057	3,554	6,405	5,048
		中学生以下	3,673	3,469	3,104	6,462	11,830	4,065
		その他	1,687	2,190	1,736	2,781	3,097	2,168
		小 計	17,117	21,384	19,840	28,696	44,108	25,409
	団体	大 人	42	544	444	320	83	395
		高大生	55	28	15	99	0	105
		中学生以下	376	3,904	4,576	1,662	493	5,518
		その他	22	132	152	85	24	221
		小 計	495	4,608	5,187	2,166	600	6,239
	② 計		**17,612**	**25,992**	**25,027**	**30,862**	**44,708**	**31,648**
	1日平均		677.4	962.7	1137.6	1143.0	1596.7	1318.7
	1回平均		101.2	136.1	156.4	167.7	219.2	178.8
	インターネット購入		5,694 (36.9%)	9,337 (48.6%)	8,424 (46.5%)	13,870 (53.5%)	26,842 (65.5%)	12,033 (51.8%)
	クレジットカード支払い		8,663 (49.2%)	12,589 (48.4%)	11,801 (47.2%)	18,078 (58.6%)	31,482 (70.4%)	15,575 (49.2%)
展示場・プラネタリウム計	個人	大 人	20,735	27,707	26,527	36,077	54,248	31,314
		高大生	5,533	7,776	7,217	8,789	17,146	12,355
		中学生以下	10,414	10,182	9,192	18,066	33,042	11,368
		その他	3,884	4,567	3,841	6,628	8,016	4,817
		小 計	40,566	50,232	46,777	69,560	112,452	59,854
	団体	大 人	164	1,309	1,161	749	212	997
		高大生	249	343	210	556	0	333
		中学生以下	1,037	9,576	10,079	3,616	1,180	12,468
		その他	44	272	318	180	52	466
		小 計	1,494	11,500	11,768	5,101	1,444	14,264
	入館者計(①+②)		**42,060**	**61,732**	**58,545**	**74,661**	**113,896**	**74,118**
	1日平均		1617.7	2286.4	2661.1	2765.2	4067.7	3088.3
	インターネット購入		6,562 (17.9%)	10,482 (23.0%)	9,558 (22.3%)	15,463 (24.6%)	31,142 (29.8%)	13,777 (25.0%)
	クレジットカード支払い		12,258 (29.1%)	17,340 (28.1%)	16,839 (28.8%)	25,064 (33.6%)	43,409 (38.1%)	21,527 (29.0%)
③ 普及事業			371	1,702	950	649	975	649
合計(①＋②＋③)			42,431	63,434	59,495	75,310	114,871	74,767

（単位：人）

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	26	20	23	24	25	299
15,114	12,546	8,918	11,402	14,601	16,508	189,297
4,468	4,175	4,421	4,074	6,506	10,086	68,654
6,247	5,587	4,503	5,797	6,553	9,665	98,013
2,210	2,282	1,761	2,250	2,528	2,793	31,918
28,039	24,590	19,603	23,523	30,188	39,052	387,882
1,090	873	748	303	631	291	6,700
409	273	173	181	149	21	2,595
12,204	10,621	5,825	3,490	5,804	2,631	62,002
353	292	173	96	152	44	1,806
14,056	12,059	6,919	4,070	6,736	2,987	73,103
42,095	**36,649**	**26,522**	**27,593**	**36,924**	**42,039**	**460,985**
1559.1	1409.6	1326.1	1199.7	1538.5	1681.6	1541.8
1,056 (4.1%)	783 (3.5%)	640 (3.6%)	786 (3.7%)	1,137 (4.1%)	1,432 (3.9%)	16,618 (4.7%)
4,685 (11.1%)	3,626 (9.9%)	3,067 (11.6%)	3,825 (13.9%)	5,040 (13.6%)	5,670 (13.5%)	64,162 (13.9%)
197	194	170	163	163	179	2,156
12,549	11,392	8,736	9,947	11,773	12,154	152,951
3,305	3,372	3,324	2,963	4,741	6,650	48,247
3,256	3,041	2,447	3,112	3,289	5,379	53,127
1,944	1,943	1,564	1,758	2,295	2,333	25,496
21,054	19,748	16,071	17,780	22,098	26,516	279,821
633	663	591	177	384	185	4,461
227	209	58	21	114	21	952
8,636	7,316	4,537	2,526	2,524	1,224	43,292
328	289	173	94	151	42	1,713
9,824	8,477	5,359	2,818	3,173	1,472	50,418
30,878	**28,225**	**21,430**	**20,598**	**25,271**	**27,988**	**330,239**
1143.6	1085.6	1071.5	895.6	1053.0	1119.5	1104.5
156.7	145.5	126.1	126.4	155.0	156.4	153.2
8,462 (44.3%)	7,974 (44.8%)	6,083 (41.9%)	7,271 (45.4%)	8,887 (44.9%)	9,553 (39.5%)	124,430 (48.9%)
12,120 (39.3%)	11,318 (40.1%)	8,974 (41.9%)	10,302 (50.0%)	12,475 (49.4%)	14,056 (50.2%)	167,433 (50.7%)
27,663	23,938	17,654	21,349	26,374	28,662	342,248
7,773	7,547	7,745	7,037	11,247	16,736	116,901
9,503	8,628	6,950	8,909	9,842	15,044	151,140
4,154	4,225	3,325	4,008	4,823	5,126	57,414
49,093	44,338	35,674	41,303	52,286	65,568	667,703
1,723	1,536	1,339	480	1,015	476	11,161
636	482	231	202	263	42	3,547
20,840	17,937	10,362	6,016	8,328	3,855	105,294
681	581	346	190	303	86	3,519
23,880	20,536	12,278	6,888	9,909	4,459	123,521
72,973	**64,874**	**47,952**	**48,191**	**62,195**	**70,027**	**791,224**
2702.7	2495.2	2397.6	2095.3	2591.5	2801.1	2646.2
9,518 (21.2%)	8,757 (21.8%)	6,723 (20.8%)	8,057 (21.6%)	10,024 (21.1%)	10,985 (18.2%)	141,048 (23.1%)
16,805 (23.0%)	14,944 (23.0%)	12,041 (25.1%)	14,127 (29.3%)	17,515 (28.2%)	19,726 (28.2%)	231,595 (29.3%)
667	824	565	955	884	289	9,480
73,640	65,698	48,517	49,146	63,079	70,316	800,704

（注）臨時休館日数には、メンテナンス・プログラム入替等のための休館を含まない。

(3)年度別利用状況(至近5か年)

(単位：人)

			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
開館日数 (日)			127	300	186	198	299
展示場	個人	大 人	40,640	113,754	89,290	137,340	189,297
		高大生	7,633	22,980	18,332	33,006	68,654
		中学生以下	26,805	71,160	51,982	83,111	98,013
		その他	8,999	26,903	22,181	25,174	31,918
		小 計	84,077	234,797	181,785	278,631	387,882
	団体	大 人	66	504	709	4,560	6,700
		高大生	151	1,661	1,244	1,421	2,595
		中学生以下	3,001	45,470	44,145	52,434	62,002
		その他	520	6,488	6,746	1,438	1,806
		小 計	3,738	54,123	52,844	59,853	73,103
	① 計		**87,815**	**288,920**	**234,629**	**338,484**	**460,985**
	1日平均		691	963	1,261	1,710	1,542
プラネタリウム	個人	大 人	51,032	140,347	93,448	111,332	152,951
		高大生	7,626	23,581	16,014	27,193	48,247
		中学生以下	20,321	50,576	33,614	45,894	53,127
		その他	7,854	23,835	15,816	17,431	25,496
		小 計	86,833	238,339	158,892	201,850	279,821
	団体	大 人	101	515	435	3,188	4,461
		高大生	141	1,093	756	714	952
		中学生以下	3,176	41,639	38,165	35,217	43,292
		その他	496	5,637	5,471	1,453	1,713
		小 計	3,914	48,884	44,827	40,572	50,418
	② 計		**90,747**	**287,223**	**203,719**	**242,422**	**330,239**
	1日平均		715	957	1,095	1,224	1,105
	1回平均		106	133	152	169	153
展示場・プラネタリウム計	個人	大 人	91,672	254,101	182,738	248,672	342,248
		高大生	15,259	46,561	34,346	60,199	116,901
		中学生以下	47,126	121,736	85,596	129,005	151,140
		その他	16,853	50,738	37,997	42,605	57,414
		小 計	170,910	473,136	340,677	480,481	667,703
	団体	大 人	167	1,019	1,144	7,748	11,161
		高大生	292	2,754	2,000	2,135	3,547
		中学生以下	6,177	87,109	82,310	87,651	105,294
		その他	1,016	12,125	12,217	2,891	3,519
		小 計	7,652	103,007	97,671	100,425	123,521
	入館者計(①＋②)		**178,562**	**576,143**	**438,348**	**580,906**	**791,224**
	1日平均		1,406	1,920	2,357	2,934	2,646
③ 普及事業			1,129	6,684	19,599	18,943	9,480
総合計(①＋②＋③)			179,691	582,827	457,947	599,849	800,704

2. 2025 年度の主な活動・できごと

	主な活動・できごと
2024/12/6～4/6	企画展「万博で夢見たサイエンス展」
4/20～10/5	みんなで楽しむサイエンスショー「どや！サイエンスてんこもり」
4/22～6/29	企画展「プラネタリウム 100 年 ―プラネタリウムの過去・現在・未来―」
5/10	楽しいお天気講座「天気予報にチャレンジしよう」
5/11	ひんやり実験、大集合！
5/18	クエスタコン特別サイエンスショー「Good Vibrations」
5/24	スペシャルナイト「プラネタリウム 100 周年クロージングイベント」
5/25	野外実験理科教室 ～青少年のための科学の祭典 2025 大阪大会プレイベント～
6/7	天体観望会「月を見よう」
6/14～2026/3/15	科学デモンストレーター養成講座 2025
6/14	どんどんのばそう！ペーパータワー！
6/22	元素検定 2025
7/12	楽しいお天気講座「いろんな雲を観察しよう」
7/19～8/31	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」
7/19～8/31	夏休みミニ気象台関連ミニ企画展「気象業務 150 周年」
7/20	クエスタコン特別サイエンスショー「浮力/Buoyancy」
7/23	夏休み自由研究相談会 2025
7/25	小・中学生のための電気教室「さわってつくって楽しもう！なぜなにでんき？」
7/26	全国同時七夕講演会「重力波観測の過去、現在、そして未来」
8/2	天体観望会「月を見よう」
8/16・8/17	青少年のための科学の祭典 2025 第 34 回 大阪大会 サイエンス・フェスタ
8/21・8/22	夏休みミニ気象台 2025
8/30	楽しいお天気講座「台風のふしぎ」
9/6～10/5	日本科学未来館巡回展示「生成 AI との対話から未来を考える MIRAI-Bit」
9/9～11/16	「大阪博」関連展示「科学館資料で見る　科学のあゆみ」
10/4	天体観望会「月と土星を見よう」
10/12・10/25	大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ 伝統的酒造りと化学
10/15～11/24	巡回企画展「野辺山天文台展」
10/26	天文学者大集合！宇宙を学ぶ大学紹介イベント
11/1	天体観望会「月と土星を見よう」
11/2・11/3	サイエンスブックフェスタ
11/8	楽しいお天気講座「空気のふしぎな実験」

11/23	実験ワークショップ「野菜ロケットを飛ばそう！」
11/29	天体観望会「月と土星を見よう」
11/30	工作ワークショップ「手回し発電機を作ろう」
12/5～2026/2/8	企画展「静電気の世界」
12/7	サイエンスガイドの日
12/13	風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」
12/21	学びあうサイエンス・キッズ広場 2025
2026/1/12	実験ワークショップ「あつまれ！静電気！」
1/24	色のイロいろワークショップ「色を重ねて自分だけの色づくり！」
1/25	We are, 科学デモンストレーターズ
1/31	天体観望会「月と木星を見よう」
1/31	楽しいお天気講座「雪の結晶を作ろう」
1/31	静電気スペシャルサイエンスショー 「高木先生のカミナリ実験」
2/1	科学実験大会 2026
2/7	スペシャルナイト「世界最高峰の星空をお茶の間へ　朝日新聞宇宙部の歩み」
2/8	科学者と 3DVR 映像で宇宙線空気シャワーを体験！
2/14	空飛ぶクルマ VR 体験イベント
2/14	大人の化学クラブ 分析化学入門
2/15	色のイロいろワークショップ「星色ビーズ飾りを作ろう！」
2/18～4/26	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」
2/21	ワークショップ「機械の耳で音あつめ 立体音響であそぼう」
2/22	つくってみよう 電子楽器・電子音楽
2/28	天体観望会「月と木星を見よう」
3/3	オンライン天体観望会「皆既月食を見よう」
3/8	色のイロいろワークショップ「蛍光色インクで遊ぼう！」
3/14	ボードゲーム『タイムボム Q』で量子マスターになろう！
3/20	電気記念日スペシャルイベント 2026
3/28	天体観望会「月と木星を見よう」

2部　事業編

1. 展示事業

(1)展示場の公開

メインテーマ「宇宙とエネルギー」にしたがい、主に1～4階の常設展示場で公開した。

階	名称	概要	展示点数
4	科学の探究	「私たちの宇宙」、「大阪と科学」、「科学の歴史とあゆみ」の3つの大テーマで展開している。体験展示を中心に、テーマに合わせた実物資料の展示を組み合わせ、広い視点から科学を紹介する。	117
3	物質の探究	私たちの身のまわりの物質を作る元素や、元素を組み合わせてできる様々な物質に焦点を当て、資料展示、体験展示で紹介する。また、サイエンスステージでは、実験の演示と解説によるサイエンスショーを行う。	72
2	みんなでたのしむサイエンス	「ボールがころがる」、「鏡にうつる」、「風がふく」、「音がなる」、「じ石にくっつく」の５つのテーマで展開し、体験展示による「生の現象」を通じて、大人から子どもまで科学を楽しみながら学ぶ。	35
1	みんなのサイエンス・ラボ	企画展や大学との連携展示、ミニ実験ショー、ワークショップなどを展開し、市民と科学館スタッフがコミュニケーションしながら科学を学ぶ。	2 （正面玄関「偏光ステンドグラス」を含む）
B1	ツアイス広場、ホワイエ	アトリウム空間のカールツアイスⅡ型投影機とその関連展示をはじめ、プラネタリウムをはじめとした資料の展示を行う。	2

(2)新規展示の製作

大阪・関西万博でアメリカパビリオンに展示されていた、月探査アルテミス計画用の大型ロケット、スペース ローンチ システム（SLS）の模型を使った常設展示を製作、2026年2月20日より展示場4階エレベータ右斜め前にて、一般公開をはじめた。

なお、本模型は米国国務省より寄贈されたもので、「万博レガシー展示」である。

製作展示名	公開	概要
スペース　ローンチ システム（SLS）1/32 モデル	2026年2月20日（金）～	米国NASA製造のロケット、スペース ローンチ システム(SLS)のブロック1クルー型の32分の1模型(受入番号2025-1)を展示。模型および模型台座は、高さおよそ3.3mで、大阪・関西万博アメリカパビリオンのものを、寄贈を受けて移設。ただし、台座の装飾LED照明の電源は新規設置(調色・調光可能)。 3方向に幅2.7m×1.8mの鉄製柵、うち正面には展示解説パネル。背面に高さ2.4m×幅2.7mの木製固定パネルと展示解説およびグラフィック。大阪・関西万博のアメリカパビリオンの展示物を米国国務省から寄贈された品であることを記した。 正面右にコンセント2口を置き、側面に内照式移動展示ケース(150幅、60幅)を設置しできるようにし、変遷著しい宇宙開発の新しい話題を柔軟に展示できるようにした。 なお、同地に展示していた「キューブ君」の静態展示は、右に10mほど移動し、アンカーを打ち直したほか「ミニ露場」の位置も調整し、見学導線を調整した。

委託業者：株式丹青社　関西支店
契約金額：金 2,035,000 円（消費税額 185,000 円）

スペース ローンチ システム(SLS) 1/32 モデル

(3)展示の貸し出し

貸出先	期間	貸出物
大阪公立大学	4月1日(火)*～3月31日(火)**	磁石のテーブル

*2023 年度より引き続き貸し出し　**2026 年度も引き続き貸し出し予定

(4)企画展

名　称	実施期間	見学者数	内　　容
万博で夢見たサイエンス展	4月1日(火) ～ 4月6日(日) **	8,089名**	2025年大阪・関西万博の開催を前に、「万博」の価値を、1970年万博のサイエンス関連分野の展開を中心に紹介した。昨年度から継続実施で、宇宙をテーマに月の石の実物資料を目玉として行った。 担当：渡部義弥
プラネタリウム100年 −プラネタリウムの過去・現在・未来 −	4月22日(火) ～ 6月29日(日)	76,346名*	プラネタリウム100周年記念事業期間の締めくくりとして、「プラネタリウムの歴史」「電気科学館のプラネタリウム」「プラネタリウムの機能」「プラネタリウムの解説と演出」「未来のプラネタリウム」の5部構成で、宇宙や星の魅力、楽しさを伝えてきたプラネタリウムのソフトとハード100年の歩みと未来への視線を、資料とパネルなどで紹介した。 担当：嘉数次人・西野藍子

極限時空・ブラックホールと重力波	7月19日(土) ～ 8月31日(日)	92,907名*	重力波の発見とブラックホールの研究を紹介。國立自然科學博物館（台湾）と國立清華大學（台湾）、国立天文台、東京大学宇宙線研究所とのコラボレーション企画。明石市立天文科学館と同時期に開催した。 主催：大阪市立科学館、明石市立天文科学館、「ブラックホールと重力波展」実行委員会 協力：國立自然科學博物館（台湾）、國立清華大學（台湾）、中央研究院天文及天文物理研究所（台湾）、康木祥工作室（台湾）、国立天文台、東京大学宇宙線研究所、大阪工業大学 担当：石坂千春・木村優斗
日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」	9月6日(土) ～ 10月5日(日)	48,190名*	日本科学未来館の巡回展示キット「MIRAI-Bit」による企画展。未来館の最新の展示をオンラインで体験し、生成AIと対話しながら、社会にあるさまざまな課題や、解決に向けたヒントを探っていく体験を実施。 協力：日本科学未来館 担当：江越航・野村美月
巡回企画展「野辺山天文台展」	10月15日(水) ～ 11月24日 (月・振休)	52,620名*	国立天文台 野辺山宇宙電波観測所が企画した巡回企画展「野辺山天文台展」を開催し、電波天文学についてや、電波観測の意義、野辺山宇宙電波観測所の取り組みなどについて紹介した。 担当：西野藍子
静電気の世界	12月5日(金) ～ 2月8日(日)	63,514名*	静電気の性質や発生装置を紹介する「静電気の科学」、日本における静電気研究や、電磁気学の研究に関する書籍資料を紹介する「静電気の歴史」、産業における静電気の応用技術について紹介する「静電気の利用」の3章からなる展示で、冬に身近な静電気にまつわる話題を実物展示により紹介した。 担当：上羽貴大・嘉数次人・猪口睦子

*期間中の展示場入場者数

**2024 年 12 月 6 日から実施。見学者数は 2025 年度開催期間のみの展示場入場者数。

(5)新収資料展

名　称	実施期間	見学者数	内　　容
万博体験のパートナー、手持ちデバイス展	2月18日(水)～ 3月31日(火) **	58,101人*	大阪・関西万博の14パビリオン・ゾーンで、展示観覧の際に観覧者に一人ひとりに貸し出され使用された観覧用の電子デバイス（手持ちデバイス）および関連の収集物品を、いち早く展示した。 なお、あわせてカナダパビリオン、いのちの遊び場クラゲ館については資料を賃借しての展示を行った。また、デバイスの作動状況がわかる映像をパビリオンからの提供を受け、場内でループ再生した。 さらに、ギャラリートークを行い、資料外の関連物品を触ったり、操作したりできるワークショップをサイエンスガイドにより行った。 担当：渡部義弥・野村美月

*期間中の展示場入場者数
**2026年4月26日まで実施予定

(6)博学連携

2019年度より展示場に「博学連携コーナー」を設け、大学等で行われている研究内容を紹介している。当初は展示場4階に設置していたが、2024年度のリニューアルの機会に展示場1階に移動した。

2025年度も引き続き、大阪大学理学研究科の各専攻が交代で展示を行った。

展示内容は以下のとおり。

展示期間	専攻	内容
4月 1日(火)*～ 8月31日(日)	化学	「光エネルギーを利用してプロトンを輸送するタンパク質」 展示資料：分子模型、タンパク質試料、パネル解説
	高分子科学	「物性と分子運動の関係を理解し、環境に優しく物性が制御された高分子材料をデザインする」 展示資料：弾むゴムと弾まないゴム、パネル解説
	宇宙地球科学	「宇宙機による月・惑星圏でのプラズマ観測」 展示資料：宇宙機搭載の観測装置、パネル解説
9月3日(水)～ 3月1日(日)	数学	「確率論におけるブラウン運動」 展示資料：パネル解説
	物理	「物性実験グループの研究紹介」 展示資料：新超伝導体、巨大磁気抵抗効果物質等試料、パネル解説
	生物科学	「環境ストレスに立ち向かう動物杯の生存戦略」 展示資料：オタマジャクシの腸の3D模型、パネル解説
3月 4日(水)～ 3月31日(火)**	化学	「「錯体」が見せる機能の最前線」 展示資料：光る錯体試料、パネル解説
	高分子科学	「高分子精密科学研究室の研究紹介」 展示資料：分子模型、パネル・映像解説
	宇宙地球科学	「太古の海の色から宇宙の生命を探す」 展示資料：パネル・映像解説

*2025年3月4日から展示
**2026年8月30日まで展示予定

(7)図書コーナー

3階図書コーナーにおいて、天文学・物理学・化学などを中心とした科学関連図書・雑誌（5種類）を閲覧に供している。所蔵図書は約2,000冊。

(8)学校団体向けワークシート

2024年8月の展示全面リニューアルに対応し、学校団体向けの見学用ワークシートを計20種類製作した。内訳は、昨年度の試作版を改訂したものを含む、展示全体を網羅した小学4年生対象の「探検シート」1種、および個別展示の学び方をまとめた学習シート19種である。個別シートはA4判の両面構成（表面：学習者用、裏面：指導者用）とし、いずれもホームページからダウンロードして利用可能な状態とした。

(9)展示解説文の多言語化

2024年のリニューアルオープンにおいて、各展示物近辺に展示解説用の二次元コードを貼付した。この二次元コードは、展示解説文の多言語化を図るために設置したもので、二次元コードは大阪市立科学館 公式ホームページにリンクしている。個人のスマートフォン等で二次元コードを読み込むことで日本語、英語、中国語、韓国語による展示解説文が閲覧できるようになっており、各言語利用者の便宜を図っている。

(10)1階「みんなのサイエンス・ラボ」

展示場１階「みんなのサイエンス・ラボ」では、市民と科学館スタッフがコミュニケーションしながら科学を学ぶ場として、企画展や大学との連携展示、ミニ実験ショー、ワークショップなどを展開している。

実施日	内容	担当
4月5日(土)、4月6日(日)	企画展「万博で夢見たサイエンス展」に関連し、展示資料の「月の模擬砂」の同等品をさわる体験会を開催。約60名が参加した。	渡部 義弥
10月25日(土)、11月1日(土)、6日(木)、8日(土)、12日(水)、15日(土)	巡回企画展「野辺山天文台展」に関連するワークショップ「パラボラアンテナで、ひそひそ話をしてみよう！」を開催。約115名が参加した。	西野 藍子、三田村 耕平、永原 達哉、サイエンスガイド
11月3日(月・祝)、6日(木)、8日(土)、11日(火)、24日(月・振休)	巡回企画展「野辺山天文台展」×3D プリンタ プチイベントと題し、3D プリンタで野辺山天文台 45m 電波望遠鏡のパラボラアンテナ模型の製作を実演した。約 402 名が見学した。	木村 優斗、三田村 耕平、西野 藍子、永原 達哉、サイエンスガイド
12月5日(金)～ 2月8日(日)	企画展「静電気の世界」の期間中に、サイエンスガイドによる展示装置のデモ実験を計16日実施。約650名が見学した。	永原 達哉、サイエンスガイド
2月18日(水)～ 3月31日(火)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に関連したギャラリートークを実施し、展示の経緯や意義、展示資料の紹介を行った。また、この中で毎回展示したドイツパビリオン「サーキュラー」デバイスの音声を再生した。7回実施、121名参加。	渡部 義弥、野村 美月
2月18日(水)～ 3月31日(火)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に関連し、資料外およびそのために借り受けたデバイス等の物品を持ったり、動かしたりする体験会を行った。52回実施、3,132名参加。	永原 達哉、サイエンスガイド、渡部 義弥、野村 美月
2月21日(土)	ワークショップ「機械の耳で音あつめ 立体音響であそぼう」	上羽 貴大
2月22日(日)	つくってみよう 電子楽器・電子音楽	上羽 貴大
3月14日(土)	ボードゲーム『タイムボムQ』で量子マスターになろう！	上羽 貴大

(11)「大阪の宝」展示

大阪市博物館機構が所属する６館が、大阪・関西万博に合わせて行った共同事業「大阪博」の一環として、各館が所蔵する貴重資料を「大阪の宝」として展示した。

科学館では、以下の 20 点を「大阪の宝」に選定し、常設展示されていない選定品については、4 月 13 日から 2026 年 3 月 31 日までの通期または一部期間に展示を行った。その一環として、10 月 21 日から 11 月 16 日までの期間には、特集展示「科学館資料で見る　科学のあゆみ」として、常設展示されていない資料の一部を展示した。

「大阪博」については、１部（15）．15-1)大阪市博物館機構共同事業を参照。

【「大阪の宝」選定品】

①コッククロフト・ウォルトン型加速器、②カールツアイスⅡ型投影機、③カールツアイス・星座絵投影機、④『舎密局開講之説』、⑤『物理日記』、『化学日記』、⑥パロマ山天文台 200 インチ望遠鏡模型、⑦霧箱、⑧「天文分野之図」、⑨「舎密開宗」、⑩レギオモンターヌス「アルマゲスト概要」、⑪ガリレオ「天文対話」、⑫ラボア

ジェ「化学要論」、⑬旧生駒山宇宙科学館　60cm 反射式望遠鏡、⑭間重富詩書、⑮西村製作所製　反射式天体望遠鏡、⑯電気科学館開館記念消印つき郵便はがき、⑰「鼓銅図録」、⑱電気科学館プラネタリウムのスカイライン原画、⑲N700 系新幹線車軸カットサンプル、⑳電気科学館 PR 用ポスター

2. 演示事業

(1)プラネタリウム

1－1)投影活動

プラネタリウムの投影は通常日は1日7回、開館延長日は1日8回実施した。機器構成や投影方式については3部　資料編にまとめた。

(ア)一般投影A

「今夜の星空」の解説に加え、下記のテーマ解説を行った。学芸スタッフ等による生解説を基本としている。

総投影回数: 706回、　観覧者数: 101,288名

タイトル	制作担当	投影期間	投影回数	観覧者数
月世界への道	飯山　青海	4月 1日(火)*～ 6月 1日(日)	136	15,236名
いて座の楽しみ方	江越　　航	6月 6日(金) ～ 8月31日(日)	152	22,037名
見えてきた系外惑星	石坂　千春 西野　藍子	9月 3日(水) ～11月30日(日)	185	26,393名
星の一生	野村　美月	12月 5日(金) ～ 3月 1日(日)	168	27,357名
彗星ってどんな星？	飯山　青海	3月 4日(水) ～ 3月31日(火)**	65	10,265名

*2025年3月4日から投影
**2026年5月31日まで投影予定

(イ)一般投影B

当館オリジナル製作の全天周映像作品をメインに、学芸スタッフ等による「今夜の星空」の生解説と合わせて投影している。

総投影回数: 645回、　観覧者数: 111,865名

タイトル	制作	投影期間	投影回数	観覧者数
ブラックホールを見た日 ～人類100年の挑戦～	製作委員会（大阪市立科学館、(合)スターライトスタジオ、(株)五藤光学研究所) 担当：石坂・飯山、2021年	4月 1日(火)*～ 6月 1日(日)	108	14,368名
GALAXY ～銀河の生い立ちを探る～	オリジナル製作(担当：石坂・飯山、製作はD&Dピクチャーズに委託)、2025年	6月 6日(金)～ 8月31日(日)	199	41,698名
星の降る夜に	製作委員会（大阪市立科学館、(有)ライブ、(株)五藤光学研究所) 担当：飯山、2019年	9月 3日(水)～ 11月30日(日)	154	27,904名
宇宙ヒストリア ～138億年、原子の旅～	オリジナル製作(担当:石坂、製作はエクスプローラーズ・ジャパンに委託)、2025年	12月 5日(金)～ 3月 1日(日)	136	18,669名
ORIGIN 太陽系のはじまりを求めて	製作委員会（大阪市立科学館、(合)スターライトスタジオ、多摩六都科学館) 担当：西野・飯山、2023年	3月 4日(水)～ 3月31日(火)**	48	9,226名

*2025年3月4日から投影
**2026年5月31日まで投影予定

(ウ)学芸員スペシャル

学芸員の専門・得意分野を生かした投影を行う。担当者と解説テーマは約一月前にホームページ上にて告知。

投影期間	投影回数	観覧者数
通年の土日祝日（17:00～）*	116	20,063名

*5月24日、7月26日、10月21日、2月7日はイベント開催のため実施なし。

(エ)学習投影

平日学校団体専用の学習用プログラム。見学校：457 校、総投影回数：207 回、観覧者数：33,244 名

投影期間	投影回数（A:小学校向き）	投影回数（B:中学校向き）
4月15日(火)～　7月18日(金) 8月26日(火)～ 12月19日(金) 1月14日(水)～　3月13日(金) (9:50～、11:55～)	206	1

※学習投影（A）（B）の種別は、3 部　5.（2）「投影の種別」を参照

(オ)ファミリータイム

幼児から小学校低学年までの子供連れの家族（園団体を含む）向け投影（35 分間)。

投影期間	投影回数	観覧者数
通年の平日 11:00、土日祝日 10:10/13:00、 市内学校休日期間 10:10/13:00	477	62,744 名

(カ)スペシャルナイト

天文学の普及と市民の生涯学習に資することを目的に、学芸員の専門・得意分野を活かした特別投影。

名　称	実施日	参加費	参加者数	担　当
プラネタリウム100周年クロージングイベント	5月24日(土)	1,500 円	234 名	西野　藍子 嘉数　次人
重力波観測の過去、現在、そして未来	7月26日(土)	1,000 円	220 名	石坂　千春
世界最高峰の星空をお茶の間へ　朝日新聞宇宙部の歩み	2月 7日(土)	1,000 円	130 名	野村　美月

(キ)特別投影

小学校高学年生とその家族を主たる対象として、天体観察の方法などを解説する特別投影。ジュニア科学クラブ会員も同時に対象とする。投影時間約 35 分間

名　称	実施日	投影回数	参加者数
夏休みの天体観察	7月20日(日)	1 回	240 名
冬休みの天体観察	12月21日(日)	1 回	167 名

1－2)プラネタリウム団体との提携事業

事業・団体	出席者	実施日	会場
全国プラネタリウム大会2025・大阪	吉岡　克己 渡部　義弥 石坂　千春 飯山　青海 江越　　航 嘉数　次人 西野　藍子 野村　美月 木村　優斗 猪口　睦子	6月16日(月)～ 18日(水)	大阪市立科学館、 大阪中之島美術館
日本プラネタリウム協議会近畿地域研修会	飯山　青海 西野　藍子 野村　美月 長尾　　碧	1月13日(火)	大阪市立科学館

1－3)オリジナル全天周映像作品の製作

一般投影Bで投影するための全天周映像作品の制作活動を行っている。2025年度以降、当館での一般投影の他、他館への配給も検討している。

作品名	担当	制作委託業者	概要
光が語る、星の一生	渡部　義弥 飯山　青海	株式会社NHKエデュケーショナル	星の光を虹色に分ければ、その一生が見えてくる！太陽のような恒星の生涯を、その探り方とともに紹介。

(2)サイエンスショー

平日は予約団体向けと一般来館者向けにそれぞれ最大3回と1回、土日祝は1日4回上演した。会場は、展示場3階東側のサイエンスステージ。

ショーの演目は、特定の演目に固定せず、これまでのレパートリーを様々に観覧できるようにしている。ただし予約団体向けの演目は「磁石のひみつ」とした。上演演目のスケジュールはホームページで告知している。定員90名。

2－1)演示実績

タイトル	上演回数	観覧者数
炎のアツい科学	49	3,040名
バランス大実験	92	4,830名
風はふしぎ	41	2,130名
花火の化学	32	2,470名
ロケット！	93	5,610名
静電気	37	1,360名
水の科学	48	2,390名
光の三原色	45	2,890名
光のスペクトル	41	1,780名
ブーメラン	16	770名
空気パワー	26	1,820名
磁石のひみつ	303	15,840名
てづくり電気	4	230名
偏光板	128	6,440名
酸アルカリ	4	320名
電池の化学	39	2,290名
慣性の法則	6	450名
電気を音に	3	140名
合　　計	1,007	54,800名

3. 普及教育事業

(1)講座・教室等

1－1)科学教室

名称	実施日	参加者数	備　　考
楽しいお天気講座「天気予報にチャレンジしよう」	5月10日(土)	19名	気象観測の方法、天気変化のしくみを学び、明日の天気を予想した。 対　象：小学3年生～中学3年生 開　催：13：30～15：30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500円 担　当：江越　航
楽しいお天気講座「いろんな雲を観察しよう」	7月12日(土)	12名	空に浮かぶ雲にはどのようなものがあるのか、雲のパネルを作りながら、いろいろな雲の種類と性質を学んだ。 対　象：小学3年生～中学3年生 開　催：13：30～15：30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500円 担　当：江越　航
小・中学生のための電気教室 「さわってつくって楽しもう！なぜなにでんき？」	7月25日(金)	23名	電気とはどんなものかを学び、メッセージちょきん箱の工作を行った。 対　象：小学4年生～中学3年生 開　催：13：30～16：00 協 同*：電気学会関西支部 参加費：1,500円 担　当：木村　優斗
楽しいお天気講座「台風のふしぎ」	8月30日(土)	18名	台風のしくみについて知ることで、台風が近づいた時にどのような備えが必要かを学んだ。 対　象：小学3年生～中学3年生 開　催：13：30～15：30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500円 担　当：江越　航
大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ　伝統的酒作りと化学 化学実験教室「日本酒を分析する」	10月12日(日)	22名 18名	日本酒の味わいの指標「日本酒度」や「酸度」について、実験や丹波杜氏による酒造りの講演により理解を深めた。 対　象：20歳以上 開　催：午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：30～16：30 参加費：2,000円 協 同*：酒ミュージアム (公益財団法人 白鹿記念酒造博物館) 担　当：上羽　貴大
楽しいお天気講座「空気のふしぎな実験」	11月 8日(土)	13名	空気に関する様々な実験を体験することを通して、天気予報でよく使われる気圧とは何かについて学んだ。 対　象：小学3年生～中学3年生 開　催：13：30～15：30

			協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：500 円 担　当：江越　航
実験ワークショップ「野菜ロケットを飛ばそう！」	11月23日（日）	15 名 17 名	酵素をテーマに、顕微鏡を用いた酵素の観察や野菜の酵素を利用したロケットの打ち上げ実験等を行った。 対　象：小学 3 年生～大人 開　催：①10：30～12：00 ②14：00～15：30 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：500 円 担　当：木村　優斗
工作ワークショップ「手回し発電機を作ろう」	11月30日（日）	10 名 12 名	実験ショーを通して発電のしくみを学び、手回し発電機を作製した。 対　象：小学 3 年生～大人 開　催：①10：30～12：30 ②14：00～16：00 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：500 円 担　当：木村　優斗
風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」	12月13日（土）	22 組	発電をテーマとした実験ショーを観覧し、工夫を凝らして作製した風車を用いて発電体験を行った。 対　象：小学生とその保護者の 2 人 1 組 開　催：13：00～15：00 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA、川崎重工業株式会社 参加費：無料 担　当：木村　優斗
実験ワークショップ「あつまれ！静電気！」	1月12日（月・祝）	27 名 24 名 21 名	静電気をテーマに、静電気でものをくっつけることや動かすことが体験できる実験や工作を行った。 対　象：小学 1 年生以上 開　催：①10：30～11：30 ②13：30～14：30 ③15：30～16：30 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：100 円 担　当：木村　優斗
色のイロいろワークショップ「色を重ねて自分だけの色づくり！」	1月24日（土）	9 名 9 名	「色の三原色」をテーマに、ジュースのパックの観察や混色により作った色を活かしたぬり絵や作品作りを行った。 対　象：小学 1 年生以上 開　催：①10：30～12：00 ②14：00～15：30 参加費：500 円 担　当：木村　優斗

楽しいお天気講座「雪の結晶を作ろう」	1月31日(土)	15名	冬の代表的な気象現象である雪の降る仕組みを学び、ペットボトルの中で雪の結晶を作る実験を行った。 対　象：小学3年生～中学3年生 開　催：13：30～15：30 協 同*：一般社団法人 日本気象予報士会関西支部 参加費：800円 担　当：江越　航
科学者と 3DVR 映像で宇宙線空気シャワーを体験！	2月8日(日)	12組28名	宇宙線研究者による講演、展示場4階のギャラリートーク、および宇宙線空気シャワーの 3DVR 映像体験を通して、宇宙線への理解を深めてもらった。 対　象：小学3年生～中学生とその保護者 開　催：13：30～16：00 協 同*：信州大学工学部冨田研究室 参加費：無料 担　当：猪口　睦子
大人の化学クラブ 分析化学入門	2月14日(土)	12名	日本酒の酸度を分析する中和滴定実験をとおして、ビュレットやホールピペットなど、ガラス実験器具の基本的な扱いや、共洗いや中和などの化学概念を学んだ。 対　象：20歳以上 開　催：14：00～16：00 参加費：1,000円 担　当：上羽　貴大
色のイロいろワークショップ「星色ビーズ飾りを作ろう！」	2月15日(日)	9名 7名	「星の色」をテーマに、星の色を表現したビーズを用いた飾りを作りながら、星の一生と色の関係について学んだ。 対　象：小学3年生以上 開　催：①10：30～12：00 ②14：00～15：30 参加費：500円 担　当：野村　美月
ワークショップ「機械の耳で音あつめ 立体音響であそぼう」	2月21日(土)	12組	清水慶彦准教授（大分大学教育学部）を講師に招き、アンビソニックマイクのレコーダーで館内や周辺の興味深い音を自由に録音したのち、会場の立体音響装置で鑑賞しあった。ワークショップ終了後は会場にて来館者が自由に立体音響装置を体験した。 対　象：小学3年生以上 開　催：13：00～14：30 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
つくってみよう電子楽器・電子音楽	2月22日(日)	17名	ブレッドボードと IC など電子素子を用いて発振回路を構成し、自由に試行錯誤、改造しながら、自分だけの電子楽器を制作した。その後グループに分かれ、音作品を制作し、発表を行った。 対　象：小学4年生以上 開　催：10：00～16：30 参加費：2,000円 協　力：20/100（にじゅうひゃく） 担　当：上羽　貴大

色のイロいろワークショップ「蛍光色インクで遊ぼう！」	3月 8日(日)	6名 9名	「蛍光」及び「色の三原色・光の三原色」をテーマに、蛍光ペンのインクや蛍光増白剤入り洗剤を用いて色水を作って混ぜ、蛍光で見える色を観察した。 対　象：小学3年生以上 開　催：①10：30〜12：00 ②14：00〜15：30 参加費：500円 担　当：猪口　睦子

*大阪市立科学館以外の主催者

1－2)講演会、シンポジウム

名　称	実施日	参加者数	備　　考
七夕講演会2025 「重力波観測の過去、現在、そして未来」	7月26日(土)	220名	人類が光学望遠鏡を手に入れてから400年余り、天体観測は今でも宇宙の新しい姿をもたらし続けています。そんな宇宙の最新の観測手段の一つが、時空の歪みの波である"重力波"です。10年前の人類最初の重力波の直接観測以来、現在までに200を超えるブラックホールや中性子星の二重星合体から発する重力波が見つかっています。ところで、この重力波は、初観測を遡ること100年も前にアインシュタインによって予言されたことはご存知でしょうか？100年もの間、重力波の観測を目指して検出器はどんな発展をしてきたのでしょうか？また、実際の観測が明らかにしたブラックホールや宇宙の姿はどんなものだったのでしょう？さらに、これから10年、100年先の重力波観測はどうなってゆくのでしょうか？本講演では、重力波観測の過去、現在を紹介します。 対　象：どなたでも（内容は中学生以上を想定） 開　催：18：00〜20：00 協 同*：大阪公立大学（大阪市博物館機構包括連携） 担　当：石坂　千春

*大阪市立科学館以外の主催者

(2)天体観望会

天文現象や有名な天体を実際に観察する機会を提供する天体観望会を開催している。会場は大阪市立科学館屋上および天文台。

観望会の運営には、ボランティアによる天体観望会指導員の協力を得ている。また、天文現象に際して、科学館の天体望遠鏡で撮影した映像をYouTubeで配信するオンライン天体観望会を開催した。

2－1)天体観望会

タイトル	実施日	参加者数	天　候
月を見よう	6月 7日(土)	38名	曇り
月を見よう	8月 2日(土)	41名	快晴
月と土星を見よう	10月 4日(土)	22名	曇り
月と土星を見よう	11月 1日(土)	43名	晴れ
月と土星を見よう	11月29日(土)	29名	快晴
月と木星を見よう	1月31日(土)	27名	晴れ時々曇り
月と木星を見よう	2月28日(土)	33名	曇り
月と木星を見よう	3月28日(土)	41名	晴れ

2－2)オンライン天体観望会

タイトル	実施日	同時接続者数	天　候
皆既月食を見よう	3月 3日(火)	126名	曇り時々雨

(3)科学イベント

名　称	実施日	参加者数	備　　考
ひんやり実験、大集合！	5月11日(日)	17名 24名 45名	化学や物理にちなんだ反応や変化に伴う熱に注目し、気化熱や吸熱反応など 5 種の実験ブースを準備した。 対　象：どなたでも 開　催：①11：00～11：30 ②13：00～13：30 ③15：00～15：30 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
クエスタコン特別サイエンスショー「Good Vibrations」	5月18日(日)	約90名	クエスタコン Patrick Helean 氏が、振動と音についての特別サイエンスショーをおこなった。 対　象：どなたでも 開　催：15：00～15：30 協 同*：オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン) 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
野外実験理科教室 ～青少年のための科学の祭典 2025 大阪大会プレイベント～	5月25日(日)	約150名	「青少年のための科学の祭典 2025 大阪大会」のプレイベントとして、科学館正面玄関前広場でテルミット反応、粉塵爆発などの実験を行った。 対　象：どなたでも 協 同*：科学の祭典大阪大会実行委員会 参加費：無料 担　当：猪口　睦子
どんどんのばそう！ペーパータワー！	6月14日(土)	49名 135名	A4 コピー用紙とセロハンテープのみを材料に、どれだけ高さのあるものが作れるかに挑戦した。 対　象：どなたでも 開　催：①10：00～12：00 ②14：00～16：00 主　催：大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
元素検定 2025	6月22日(日)	61名 66名	受検レベルごとに元素にまつわる問題を解き、元素や化学についての知識を深めてもらう検定を行った。 対　象： 開　催：第1回　10：30～12：00 第2回　14：00～15：30 協 同*：元素周期表同好会、化学同人，高純度化学研究所 参加費：1,000 円 担　当：上羽　貴大

クエスタコン特別サイエンスショー「浮力/Buoyancy」	7月20日(日)	約180名	「浮力」をテーマに、クエスタコンとDOYAのコラボレーションによるサイエンスショーを実施した。 対　象：どなたでも 開　催：①12:00～12:30 ②15:00～15:30 協 同*：オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン） 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
夏休み自由研究相談会2025	7月23日(水)	32名 23名	夏休みの宿題の定番である自由研究について、テーマの見つけ方や研究の進め方などを相談する機会として、学芸員のお話（約30分）及び質問対応（約60分）を行った。 対　象：主に小・中学生とその保護者 開　催：①10：00～11：30 ②14：00～15：30 参加費：無料 担　当：猪口　睦子
夏休みミニ気象台2025	8月21日(木) 8月22日(金)	357名 464名	気象や地震についての実験コーナーや、雨や風、地震の揺れなどを計る機械の展示、お天気に関するミニ工作を通じて、気象関係の理解を深めてもらった。 対　象：どなたでも 開　催：8/21（木）　11：00～16：30 8/22（金）　9：30～15：00 内　容：気象・地震に関する展示、お天気調べ、実験・工作コーナー、大気汚染の展示等 協 同*：大阪管区気象台、大阪市環境局 参加費：無料 担　当：江越　航
大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ　伝統的酒作りと化学 講演「日本酒と微生物」	10月12日(日)	約40名	微生物の生態と酒など人間との関わりについて、佐久間大輔学芸員（大阪市立自然史博物館）が講演をおこなった。 対　象：どなたでも 開　催：13：00～14：00 参加費：無料 協 同*：酒ミュージアム （公益財団法人 白鹿記念酒造博物館） 担　当：上羽　貴大
大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ　伝統的酒作りと化学 ミュージアムツアーと日本酒飲み比べ	10月25日(土)	37名	酒ミュージアムを日本酒担当学芸員及び科学館学芸員の解説とともに見学したのち、純米酒やリキュールなど5種類を飲み比べながら灘の酒造りについて学んだ。 会　場：酒ミュージアム （公益財団法人 白鹿記念酒造博物館） 対　象：20歳以上 開　催：14：00～16：30 参加費：2,000円 協 同*：酒ミュージアム （公益財団法人 白鹿記念酒造博物館） 担　当：上羽　貴大

天文学者大集合！ 宇宙を学ぶ大学紹介イベント	10月26日(日)	30名	宇宙・天文の専攻がある大学の合同大学紹介、研究紹介。関西を中心に 20 大学が参加。20 の大学の教員による、大学紹介プレゼン。ポスターボードの前での個別紹介・進学相談ミニ講演会　大阪電通大学前田郁弥先生による、野辺山天文台展にちなみ、電波天文学の話。 対　象：一般（主として高校生） 開　催：10:00～16:00 参加費：無料 協 同*：宇宙（天文）を学べる大学合同進学説明会実行委員会
学びあうサイエンス・キッズ広場2025	12月21日(日)	約400名	中高生が先生役となり、小中学生向けにストロボスコープ、葉脈標本づくり、ペーパークロマトグラフィなど 10 種類の工作や実験を行った。 対　象：小中学生とその保護者 開　催：① 9：45～12：15 ②14：15～16：15 協 同*：四天王寺大学 みらい科学推進室 参加費：無料 担　当：猪口　睦子
We are, 科学デモンストレーターズ	1月25日(日)	715 名	サイエンスステージにて科学デモンストレーターが終日、特別プログラムでさまざまな実験ショーを披露した。 対　象：どなたでも 開　催：10：30～16：20 参加費：無料 担　当：科学デモンストレーター
静電気スペシャルサイエンスショー「高木先生のカミナリ実験」	1月31日(土)	各回 約 90 名	企画展「静電気の世界」の展示制作で協力いただいた高木浩一教授（岩手大学）が、高電圧パルス発生装置を用いた雷の性質についてのサイエンスショーをおこなった。 対　象：どなたでも 開　催：13：00～13：30, 15：00～15：30 参加費：無料 担　当：上羽　貴大
科学実験大会 2026	2月 1日(日)	約520名	公募により全国から集まった 6 組にサイエンスステージにてサイエンスショーを披露していただいた。 対　象：どなたでも 開　催：10：00～16：20 参加費：無料 担　当：上羽　貴大、猪口　睦子、木村　優斗
空飛ぶクルマ VR 体験イベント	2月14日(土)	215 名	「空飛ぶクルマ」が公共機関のひとつとして社会受容性を向上させるためにVR コンテンツを使用して疑似的に乗車体験をしていただいた。 対　象：小学生以上 開　催：10：00～16：30 参加費：無料 協 同*：大阪市、株式会社キャップエンターテインメント 担　当：永原　達哉

ボードゲーム『タイムボムQ』で量子マスターになろう！	3月14日(土)	約100名	量子コンピュータをテーマとしたボードゲーム「タイムボムQ」の開発者 佐藤雄介・野澤邦仁両氏による、ボードゲーム制作についての講演、タイムボムQの体験会、および量子コンピュータについてQunaSys高椋章太博士による講演をおこなった。 対　象：ゲーム体験会は小学4年生以上 開　催：13：00～16：40 参加費：無料 協 同*：株式会社QunaSys 協　力：株式会社アークライト 担　当：上羽　貴大
電気記念日スペシャルイベント2026	3月20日 (金・祝)	270名 （科学工作とワークショップ） 320名(サイエンスショー)	電気に関する知識を深め、電気の大切さや価値を再認識することを目的に、工作ワークショップや展示解説、スペシャルサイエンスショーを実施した。 対　象：どなたでも 開　催：11：00～15：30 参加費：無料 協 同*：電気記念日関西実行委員会 担　当：永原　達哉

*大阪市立科学館以外の主催者

(4)コロキウム

普及事業として、中之島科学研究所コロキウムを行った。実施は毎月第2木曜日（8月を除く）で、今年度は11回実施した。

実施日	発表者	参加者数	演　　題
4月10日	飯山　青海	15名	ツチンシャン・アトラス彗星を追う
5月 8日	川井　正雄	14名	高校の化学教科書の今昔 - 化学用語の変遷
6月12日	上羽　貴大	9名	科学と芸術をつなぐワークショップの実践
7月10日	江越　　航	14名	天気予報と機械学習
9月11日	野村　美月	9名	2025年大阪・関西万博の宇宙展示を訪ねて
10月 9日	嘉数　次人	9名	科学館の所蔵資料と「大阪の宝」
11月13日	西野　藍子	13名	日本の電波天文学の聖地「野辺山天文台」
12月11日	猪口　睦子	15名	静電気実験機器あれこれ
1月 8日	渡部　義弥	9名	北京天文館訪問記
2月12日	北尾　浩一	21名	沖縄の星名伝承を考える
3月12日	飯山　青海	16名	流星眼視観測の光度分布の評価について

(5)オンライン事業

名　称	実施日	備　　考
科学館友の会　例会、総会、一部のサークル活動	―	配信方法：Zoomによる対面配信 詳しくは、2部 6. 科学館友の会を参照 担当：飯山　青海
オンライン天体観望会 「皆既月食を見よう」	3月3日(火)	配信方法：YouTubeによるライブ配信 詳しくは、2部 3. (2) 天体観望会を参照 （2）2―2）参照

(6)教員研修プログラム

大阪総合教育センター等との協同での研修

名　称	実施日	参加者数	備　　考
科学館連携研修	①　5月14日(水) ②　8月20日(水)	①18名 ②41名	サイエンスショーの演示と解説や、ワークショップを通じて教員の理科教育指導に関する知識を提供する。 協 同*：大阪市総合教育センター 担 当 ：上羽　貴大 内容 ①展示場見学、サイエンスショー「水の科学」観覧 ②展示場見学、分子パズルPuzmol ワークショップ
小学校理科研修B			2025年度は開催なし
新任教員研修	①　7月23日(水) ②　8月17日(日)	1名	大阪市の新任2年目（原則）の教員の社会体験研修の受け入れ。当該教員の資質向上と科学館と学校の連携を図る。 協 同*：大阪市総合教育センター 担 当 ：小野　昌弘 科学館普及事業の準備運営・行事参加者。展示ワークシートの監修、展示場の来館者対応などの科学館の業務体験を実施した。
科学館セミナー			2025年度は開催なし
大阪市中学校教育研究会理科部研修会			2025年度は開催なし

*大阪市立科学館以外の主催者

(7)質問回答、相談活動

学芸課で受けた電話による問い合わせや、来訪による質問件数は以下のとおり。

天文関係（計145件）		物理・化学関係（計31件）	
質問内容	件数	質問内容	件数
暦関連（春秋分、日食含む）	5	物理	19
天体位置（日の出入、月齢、惑星位置等）	16	化学	6
太陽系（太陽、流星群含む）	38	その他	6
星座	6		
銀河系内（恒星、星雲、星団）	10		
銀河・宇宙	7		
観測機器（望遠鏡、天文台、観測衛星等）	15		
プラネタリウム	16		
その他	32		

(8)情報提供

名　称	内　　容
ホームページ https://www.sci-museum.jp/	科学館の行事案内や活動などに関するさまざまな情報、利用案内などの情報を随時提供している。 2025年度ページアクセス数：約182万件 アクセス数累計：約2,489万件 （1998年3月10日～2026年3月31日） 担当：広報・サービス一同
SNS（X（旧Twitter）、Instagram）	X（旧Twitter）では「大阪市立科学館広報」「学芸員@大阪市立科学館」「館長のひとりごと」の3つのアカウントで情報を提供している。ま

	た、Instagram でも「大阪市立科学館」のアカウントで情報提供している。 X「大阪市立科学館広報」アカウントでは、科学館の行事案内や科学館の活動、利用案内などに関するさまざまな情報を、2025 年度に 254 件、累計 4,445 件提供し、11,638 人にフォローされている。 （担当：伊丹　柚、竹浦　雅美、増田　智津） X「学芸員@大阪市立科学館」アカウントでは、科学に関する情報を、2025 年度に 91 件、累計で 6,049 件提供し、12,156 人にフォローされている。（担当：学芸員一同） X「館長のひとりごと」アカウントは、2024 年 4 月から運用を開始し、科学館の活動や身の回りに発見した科学の楽しみなどを、2025 年度に 64 件、累計で 124 件提供し、567 人にフォローされている。（担当：吉岡　克己） Instagram「大阪市立科学館」アカウントでは、科学館の行事案内や科学館の活動、利用案内などに関するさまざまな情報を、2025 年度に 239 件※、累計で 1,189 件提供し、7,292 人にフォローされている。 ※投稿数には含めていないが、フィード投稿を行った際に、更新が分かるようストーリーズにも併せて投稿している。 （担当：伊丹　柚、竹浦　雅美、増田　智津）
YouTube（「学芸員の展示場ガイド」） https://www.sci-museum.jp/exhibit/movie/	学芸員がサイエンスガイドとともに展示物を解説する動画を YouTube で公開している。累計で 121 件となった（番外編 10 件を含む、展示の変更や新たに撮影したために除外した動画あり）。うち 4 件が英語バージョンで、49 件には英語字幕を付加している。新展示については順次制作中。

(9)おでかけサイエンス（出張科学イベント）

各所で、科学の普及・教育を目的としたモバイルプラネタリウム投影、出張サイエンスショー、出張科学教室、工作教室や講演会を例年実施している。

9－1)モバイルプラネタリウム

2025 年度の実績はなし。

9－2)3D 宇宙映像体験

2025 年度の実績はなし。

9－3)出張サイエンスショー（一般）

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
6 月 28 日（土）	日本弁理士会関西会	ツイン 21	「令和 7 年度「弁理士の日」記念事業知財ふれあいフェスティバル」でのサイエンスショーの実施	326 名	吉岡　亜紀子

9－4)サイエンス縁日

2025 年度の実績はなし。

9－5)ワークショップ

2025 年度の実績はなし。

9－6)イベントプロデュース

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
12 月 14 日(日)	株式会社 TORIST	大阪市立科学館	オンデマンドバス利用促進に向けたイベントの実施	125 名	依頼者スタッフが案内
3 月 20 日(金・祝)	電気記念日行事関西実行委員会	大阪市立科学館	電気記念日スペシャルイベント 2026	270 名	科学工作とワークショップ/サイエンスガイド・サイエンスガイドリーダー

9－7)講演

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
5 月 9 日(金)	加古川市立平岡南中学校	加古川市立平岡南中学校	JAXA 筑波宇宙センター訪問事前学習	152 名	飯山　青海

9－8)コンサルティング

2025 年度の実績はなし。

9－9) その他

実施日	依頼者	場所	名称	参加者数	講師/解説
11 月 9 日(日)	株式会社アサック	大阪市立科学館	医師協 TIMES 特集記事取材の実施（有償）	－	嘉数　次人

(10)画像特別使用(画像提供)

依頼者	画像名称
株式会社講談社	ウィルソン霧箱
株式会社小学館	学天則オリジナル画像
株式会社 KADOKAWA	デザグリエのプラネタリウム（オーラリー）

(11)おむかえサイエンス

実施日	依頼者	内容	参加者数	講師
7 月 21 日（月・祝）	PROCHILE（プロチレ）	科学館の紹介	17 名	吉岡　克己
9 月 24 日(水)	泉南市中学校教育研究会理科部	特別サイエンスショー「バランス大実験」	10 名	上羽　貴大

(12)出張サイエンスショー(大阪市立小学校向け)

大阪市の小学校との連携事業のひとつとして、サイエンスショー担当職員や科学デモンストレーターが講師として赴き、サイエンスショーを題材に授業を行っていたが、今年度は業務見直しにより中止した。

(13)実習生の受け入れ

13－1)博物館実習

期　間：9 月 12 日(金) ～9 月 18 日(木) (16 日(火)は休み)

実習生：鷲尾 心純（和歌山大学）、本山 礼佳（神戸大学）、岡田 夏蓮（岡山理科大学大学院）、
西村 日和（愛媛大学）、小野 真彩（奈良女子大学）、羽原 千就（神戸大学）

内　容：館内見学、館長・学芸課長講話、学芸員の仕事の見学、懇話
展示場において、ギャラリートークの実施

報告書の作成（事後、来年度の研究報告に記載）
担　当：渡部　義弥・上羽　貴大

(14)研修講座

14－1)科学デモンストレーター養成講座

大阪市立科学館で実験ショーの実演などを担当するボランティア「科学デモンストレーター」を養成することを目的とする。受講生は「ロケット！」「偏光板（見える見えないのふしぎ)」「水の科学」の3演目の習得を目指し、科学デモンストレーターとしての訓練を行った。2名が修了し、2026年度より科学デモンストレーターとして活動する。
担　当：上羽　貴大、猪口　睦子、木村　優斗

14－2)実験道場

科学デモンストレーターの主催で、会場と実験機材を科学館が提供し、実演を観覧したのち、実験技術や演出方法などの向上を目的に意見交換を行う研修会。12月7日に実施した。
担　当：上羽　貴大、猪口　睦子、木村　優斗

(15)共同事業

15－1)大阪市博物館機構共同事業

大阪市博物館機構の博物館6施設（美術館、歴史博物館、自然史博物館、東洋陶磁美術館、大阪中之島美術館、科学館）が実施した共同事業に参加した。

名　称	実施日	実施内容
大阪市博物館機構共同広報	－	ポータルサイト「Osaka Museums 博物館・美術館情報」（https://museums.ocm.osaka/）での共同広報を行った。 展覧会情報として、企画展開催のプレスリリースを掲載した。
大阪博関連事業	－	2025年大阪・関西万博に合わせて、大阪市博物館機構が所属する6館で行う共同事業。ホームページ(https://osakahaku.ocm.osaka/)でのさまざまなコンテンツの作成と公開を行った。 　また、「大阪の宝」として選定した20点の館蔵品の実物を展示した。
ミュージアム連続講座2025	12月12日(金)	「展覧会連携トーク企画 ～学芸員×大学による多視点からのアプローチ～」をテーマとし、大阪市内の博物館で、これから開催される展覧会（プラネタリウム含む）を話題に取り上げた講座において、当館から渡部学芸員が出講した。 場　所：大阪市立難波市民学習センター 定　員：100名 参加費：無料 共　催：大阪市博物館機構、大阪公立大学、大阪市立難波市民学習センター テーマ：「プラネタリウム「星の一生」」 担　当：渡部 義弥

15－2)大阪市関連連携事業

名　称	実施日	参加者数	事業内容・連携先など
教員研修プログラム	－	－	大阪市教育センター等と連携し、各種教員研修プログラムを実施した。 内容等詳細は2部　3.(6)教員研修プログラムを参照。

15－3)中之島美術館連携事業

大阪中之島美術館と連携し、一つのテーマに焦点を当て、科学と芸術の総合的な体験のワークショップを実施し、領域横断的で新しいプログラムを創造している。今年度は下記の事業を実施した。

名　称	実施日	参加者数	実施内容
大阪市立科学館×大阪中之島美術館　ドット絵で宇宙を見る～ドット絵・電波ぬりえにチャレンジ！	5月24日(土)	午前の部：8名 午後の部：17名	展覧会「大カプコン展-世界を魅了するゲームクリエイション」関連イベントとして実施した。塗り絵作業を通して、ゲームのグラフィック作成に使われていたドット絵と電波観測による天体画像の生成の共通点を発見すると共に、ゲーム機と電波望遠鏡、それぞれの進化の歴史について学んだ。 開　催：＜午前の部＞10:00～12:00 ＜午後の部＞14:00～16:00 対　象：小学４年生～中学生 参加費：無料 助　成：一般財団法人地域創造 担　当：野村　美月

15－4)大阪公立大学・博学連携事業

名　称	実施日	参加者数	事業内容・連携先など
七夕講演会2025「重力波観測の過去、現在、そして未来」	7月26日(土)	220名	大阪公立大学と連携してオンライン講演会を実施した。 内容等詳細は2部　3.（1）1－2）講演会・シンポジウムを参照。 担　当：石坂　千春

※スペシャルナイトとして実施

15－5)地域連携事業　クリエイティブアイランド中之島

当館を含めた中之島地区に拠点を置く14の組織が、2019年に「クリエイティブアイランド中之島実行委員会」を組織してネットワークを構築し、さまざまなクリエイティブコンテンツの創出を行っている。科学館からは吉岡克己館長が実行委員として、また嘉数次人学芸員が企画チームメンバーとして会議などへ出席した。

また、クリエイティブアイランド中之島のホームページや配布チラシへのデータ提供、中之島プロモーション・岡田利規「中之島15の場所での物語」の配架、および回遊型プロジェクト「ARでめぐる『中之島15の場所での物語』」を実施した。

また、11月2日に実施した「アール・デコ100年展ツアーと同時代の意匠について語る夕べ」において、嘉数学芸員がトークに登壇したほか、当館所蔵の建築関係の書籍の展示を行った。

その他、クリエイティブアイランド中之島が参画した地域連携事業「中之島パビリオンフェスティバル2025」(5月10日～25日、9月27日～10月13日)に参加した。期間中に当館で実施した企画展「プラネタリウム100年 ープラネタリウムの過去・現在・未来ー」、巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える　MIRAI-Bit」、「プラネタリウム100周年クロージングイベント」を、フェスティバルのプログラムとして参画した。加えて、期間中に実施された周遊パス「中之島パビリオン巡りパス」に参加した。

15－6)その他、連携事業リスト

上記以外で、連携事業として行った事業。各内容については、本章（1）～（3）を参照。

名　称	開催日	連　携　先
楽しいお天気講座「天気予報にチャレンジしよう」	5月10日(土)	一般社団法人 日本気象予報士会関西支部
科学館連携研修	5月14日(水) 8月20日(水)	大阪総合教育センター

クエスタコン特別サイエンスショー「Good Vibrations」	5月18日(日)	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）
ジュニア科学クラブ・科学実験工作教室「分子をつくってみよう」	5月18日(日)	株式会社QunaSys
プラネタリウム 100 周年クロージングイベント	5月24日(土)	日本プラネタリウム協議会、クリエイティブアイランド中之島
野外実験理科教室 ～青少年のための科学の祭典 2025 大阪大会プレイベント～	5月25日(日)	科学の祭典大阪大会実行委員会
全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日(月)～18日(水)	日本プラネタリウム協議会
元素検定2025	6月22日(日)	元素周期表同好会、化学同人、高純度化学研究所
楽しいお天気講座「いろんな雲を観察しよう」	7月12日(土)	一般社団法人 日本気象予報士会関西支部
ASPAC Masterclass for Emerging Leaders	7月17日(木)～19日(土)	ASPAC（アジア太平洋地域科学館協会）
企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」	7月19日(土)～8月31日(日)	明石市立天文科学館、「ブラックホールと重力波展」実行委員会、國立自然科學博物館（台湾）、國立清華大學（台湾）、中央研究院天文及天文物理研究所（台湾）、康木祥工作室（台湾）、国立天文台、東京大学宇宙線研究所、大阪工業大学
クエスタコン特別サイエンスショー「浮力/Buoyancy」	7月20日(日)	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）
新任教員研修	7月23日(水) 8月17日(日)	大阪総合教育センター
小・中学生のための電気教室「さわってつくって楽しもう！なぜなにでんき？」	7月25日(金)	電気学会関西支部
ジュニア科学クラブ・科学実験工作教室「結しょうで探る原子の世界」	8月17日(日)	科学・ものづくり教育普及プロジェクト“ぽっけ”
夏休みミニ気象台2025	8月21日(木) 8月22日(金)	大阪管区気象台、大阪市環境局
楽しいお天気講座「台風のふしぎ」	8月30日(土)	一般社団法人 日本気象予報士会関西支部
2025 年度全国科学館連携協議会　第2回国内研修	9月4日(木)、5日(金)	全国科学館連携協議会
日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」	9月6日(土)～10月5日(日)	日本科学未来館、クリエイティブアイランド中之島

大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ　　伝統的酒作りと化学 化学実験教室「日本酒を分析する」	10月12日(日)	酒ミュージアム（公益財団法人 白鹿記念酒造博物館）
巡回企画展「野辺山天文台展」	10月15日(水) ～ 11月24日(月・振休)	国立天文台 野辺山宇宙電波観測所
大阪市立科学館×酒ミュージアム　日本酒をたのしむ！大人の化学クラブ	10月25日(土)	酒ミュージアム（公益財団法人 白鹿記念酒造博物館）
天文学者大集合！　宇宙を学ぶ大学紹介イベント	10月26日(日)	宇宙（天文）を学べる大学合同進学説明会実行委員会
第16回全国理工系学芸員展示研究大会	11月27日(木)、28日(金)	全国理工系学芸員会議
楽しいお天気講座「空気のふしぎな実験」	11月 8日(土)	一般社団法人 日本気象予報士会関西支部
ジュニア科学クラブ・科学実験工作教室「分子をつくってみよう」	11月16日(日)	株式会社QunaSys 光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）
風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」	12月13日(土)	川崎重工業株式会社
学びあうサイエンス・キッズ広場2025	12月21日(日)	四天王寺大学 みらい科学推進室
日本プラネタリウム協議会近畿地域研修会	1月13日(火)	日本プラネタリウム協議会近畿ワーキンググループ
楽しいお天気講座「雪の結晶を作ろう」	1月31日(土)	一般社団法人 日本気象予報士会関西支部
静電気スペシャルサイエンスショー「高木先生のカミナリ実験」	1月31日(土)	高木浩一教授（岩手大学）
ジュニア科学クラブ・科学実験工作教室「結しょうで探る原子の世界」	1月18日(日)	科学・ものづくり教育普及プロジェクト“ぽっけ”
科学者と3DVR映像で宇宙線空気シャワーを体験！	2月8日(日)	信州大学工学部冨田研究室
空飛ぶクルマVR体験イベント	2月14日(土)	株式会社キャップエンターテイメント
つくってみよう電子楽器・電子音楽	2月22日(日)	20/100（にじゅうひゃく）
ボードゲーム『タイムボムQ』で量子マスターになろう！	3月14日(土)	株式会社QunaSys、株式会社アークライト

電気記念日スペシャルイベント2026	3月20日 （金・祝）	電気記念日関西実行委員会

(16)出版・執筆事業

16－1)大阪市立科学館ミニブック等の発行・販売

3月1日に「こよみハンドブック2026.4～2028.4」を発行した。関係者および大阪市内の学校に配布するとともに、ミュージアムショップでの販売を行った。

また、これまでに発行したミニブックについても、関係者に配布するとともにミュージアムショップ及び公式ネットショップでの販売を行った。

16－2)月刊うちゅうの発行・配布

月刊「うちゅう」は、1984年に大阪市立電気科学館の星の友の会の会誌として創刊され、その後大阪市立科学館の機関誌として発行している。物理、化学、天文など科学に関する話題、科学館に関する話題、行事案内などを掲載している。A5サイズ24ページで2012年度から全ページカラー印刷となった。発行約1,200部で、関係機関、大阪市立科学館友の会会員などに配布した。

2025年度の発行は、月刊「うちゅう」vol.42、No.1～12(通巻493号～504号)の計12号。学芸員、及び科学館関係者による記事執筆は以下のとおり。

執筆者	タイトル	掲載号
小野　昌弘	化学のこばなし「岩塩の潮解」 化学のこばなし「ノーベル化学賞」	11月号 3月号
渡部　義弥	メイン記事「スマート望遠鏡で広がる、あなたの宇宙」 天文の話題「初夏の空に新星はじけて！～かんむり座T星」 科学館のコレクション「日本万国博覧会記念メダルMEDAL EXPO‘70」 展示場へ行こう「実物周期表（の抜けてる部分）」 メイン記事「北京で垣間見た中国のプラネタリウム事情」 天文の話題「星『食』は、白道にあり」	5月号 6月号 6月号 9月号 12月号 3月号
石坂　千春	メイン記事「展示場２階『みんなでたのしむサイエンス』の物理」 天文の話題「企画展『極限時空・ブラックホールと重力波』」 科学館の新プログラム「見えてきた系外惑星」 天文の話題「『見えてきた！系外惑星』をめぐる２つの話題」 科学館の新プログラム「宇宙ヒストリア～138億年、原子の旅～」 展示場へ行こう「ボールをうかそう」	4月号 7月号 9月号 11月号 12月号 3月号
石坂　千春 飯山　青海	科学館の新プログラム「GALAXY～銀河の生い立ちを探る～」	6月号
飯山　青海	天文の話題「突然の大彗星アトラス彗星」 星空ガイド「幻の流星群、ポン・ウィンネッケ流星群」 星空ガイド「ペルセウス座流星群」 星空ガイド「皆既月食を見よう」 展示場へ行こう「炭素循環ってなに？」 科学館の新プログラム「星の降る夜に」 天文の話題「レモン彗星C/2025 A6に期待」 ジュニア科学クラブ「冬休みの天体観察」 科学館の新プログラム「彗星ってどんな星？」	4月号 6月号 7月号 8月号 8月号 9月号 10月号 12月号 3月号
西野　藍子	展示場へ行こう「電波望遠鏡」 科学館のコレクション「電気科学館の『透明人間の部屋』製作仕様書」 天文の話題「天の川銀河の中心に迫る」 展示場へ行こう「巡回企画展『野辺山天文台展』開催中」	4月号 5月号 8月号 11月号

	メイン記事「星はいかに生まれるか」 科学館の新プログラム「ORIGIN 太陽系のはじまりを求めて」	1月号 3月号
上羽　貴大	ジュニア科学クラブ「ジュニア科学クラブへようこそ」 ジュニア科学クラブ「偏光板であそぼう！」 窮理の部屋「手作りブーメランであそぼう」 展示場へ行こう「素材の音の聞きくらべ」 科学館のコレクション「ウルシノキ（丹波産）」 化学のこばなし「科学館のイスで、座れる分子をつくろう！」 ジュニア科学クラブ「結晶で探る原子の世界」 ジュニア科学クラブ「ジュニア科学クラブへようこそ」 ジュニア科学クラブ「偏光板であそぼう！」 展示場へ行こう「岩絵の具」 化学のこばなし「高貴なむらさき色の染料」 メイン記事「静電気にまつわるさまざまな技術」	4月号 4月号 5月号 5月号 7月号 8月号 8月号 10月号 10月号 12月号 1月号 2月号
嘉数　次人	展示場へ行こう「企画展で見よう！『江上式星座投影装置』」 ジュニア科学クラブ「夏休みの天体観察」 メイン記事「『大阪の宝』ただいま公開中」 天文の話題「恒星の観測データと星表」 展示場へ行こう「家電製品のいろいろ」 科学館のコレクション「球面計」 メイン記事「江戸時代の天文書に見られる『しかけ』」	6月号 7月号 8月号 9月号 1月号 2月号 3月号
江越　　航	天文の話題「台風と星座」 科学館の新プログラム「いて座の楽しみ方」 科学館のコレクション「毛髪湿度計」 メイン記事「大阪の気候と風土」 展示場へ行こう「光のとおり道」 その他の記事「『うちゅう』500 号」 天文の話題「ヘルツシュプルング・ラッセル図」	5月号 6月号 8月号 10月号 10月号 11月号 1月号
野村　美月	星空ガイド「月と惑星がならぶのはなぜ？」 星空ガイド「春の空を彩る 2 つの麦星」 科学館の新プログラム「星の一生」 天文の話題「ゲームでリアル月面探索！？『REAL MOON』」	4月号 5月号 12月号 2月号
猪口　睦子	窮理の部屋「『ロケット！』はみだし話」 窮理の部屋「ステンレスは磁石につく？」 窮理の部屋「『静電気で発電』ってどうよ？」	6月号 9月号 2月号
木村　優斗	化学のこばなし「偶然うまれた青色顔料」 その他の科学の話題「韓国の科学館に行ってきました その１」 窮理の部屋「『光の螺旋』実験に挑戦！」 その他の科学の話題「韓国の科学館に行ってきました その2」 その他の科学の話題「韓国の科学館に行ってきました その3」 化学のこばなし「通れなかった光はどこへ・・・？」	4月号 5月号 7月号 7月号 10月号 12月号
三田村耕平	星空ガイド「中秋の名月」 星空ガイド「太陽系外惑星ペガスス座 51 番星 b」 星空ガイド「ふたご座流星群」 星空ガイド「冬至の日の入りは最速にあらず」 星空ガイド「変光星～明るさの変わる星～」 天文の話題「2026 年注文の天文現象 」 星空ガイド「カノープス・チャレンジ」	9月号 10月号 11月号 12月号 1月号 1月号 2月号

	星空ガイド「春分とは」 その他の記事「学芸スタッフ紹介」	3月号 3月号
吉岡　克己	その他の記事「館長よりご挨拶」 その他の記事「学芸員の研究発表」	4月号 6月号
松本　　怜	その他の記事「学芸員補助スタッフ紹介」	11月号
大倉　　宏	科学館のコレクション「タンジェントガルバノメーター」	4月号
科学デモンストレーター	ジュニア科学クラブ「作って飛ばそう！ブーメラン」 ジュニア科学クラブ「バランス着地に挑戦!！」 ジュニア科学クラブ「作って飛ばそう！ブーメラン！」 ジュニア科学クラブ「バランス着地に挑戦!！」	6月号 9月号 2月号 3月号

4. ボランティア活動

(1)展示解説ボランティア(サイエンスガイド)

・活動登録者数：44 名

・事業：2025 年度はプチ・サイエンスショーを実施した。

・研修：

① 展示研修

実施日	内容	講師
通年	液晶の虹（総回数：67 回）	サイエンスガイド
	光の通り道（総回数：11 回）	
	光の三原色（総回数：301 回）	
	電磁誘導（総回数：409 回）	
	発電のいろいろ（総回数：127 回）	
	電池をつくろう（総回数：60 回）	
	吸水性ポリマー（総回数：110 回）	
	クロマトグラフィー（総回数：107 回）	

②その他の研修：プチ・サイエンスショー(随時)、職員研修参加（1 回）

・毎週金曜日にメールマガジンを送付

・イベント実施

実施日	内容	備考
10 月 15 日(水)～11 月 24 日(月・振休)	巡回企画展「野辺山天文台展」関連ワークショップ	総回数：9 回
12 月 5 日(金)～2026 年 2 月 8 日(日)	企画展「静電気の世界」関連ワークショップ	総回数：16 回
2 月 18 日(水)～4 月 26 日(日)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」関連ワークショップ	総回数：52 回

・その他：ガイドリーダーによる研修資料等作成

・指導補助：出山　茂雄、谷坂　明代、筒井　満

(2)実演担当ボランティア(科学デモンストレーター)

1 年間の研修を修了した科学デモンストレーターが、実験ショーや、科学実験工作教室を行う。今年度は 15 名が活動した。

今年度の活動は以下のとおり。

実施日	名称	内容	参加者数
通年	エキストラ実験ショー	20 分間の実験ショーを実演する。 上演回数 169 回	9,760 名
5月18日(日) 6月15日(日)	ジュニア科学クラブ 科学実験工作教室①	実験教室「ひんやり！涼しさの科学」目には見えない分子の動きを想像しながらひんやりする実験を体験する。	各 約 40 名
1月18日(日) 2月15日(日)	ジュニア科学クラブ 科学実験工作教室②	「高さに挑戦！ペーパータワー」A4 の紙を最大 3 枚使ってなるべく高い構造物を作る。	各 約 40 名

・担当：上羽　貴大

(3)客員講師

友の会活動や展示活動、また学術・教育上の指導などの学芸活動を支援していただける学識経験者を科学館客員講師として迎える制度として、2005 年度に発足させた。

2025 年度の登録講師ならびに活動分野は以下のとおり。

氏　名	所属等	活動分野
大野　隆	神戸大学名誉教授	友の会「化学サークル」における指導及び助言

(4)大阪市立科学館親善大使(Osaka Science Museum Goodwill Ambassador)

当館と海外科学系博物館との国際交流推進や、当館の国際ネットワーク構築に資する活動などを行う。

氏　名	任期
吉岡　亜紀子	2016年9月1日～2026年8月31日

(5)天体観望会指導員

市民向け天体観望会では、友の会会員など有志がボランティア指導員となって望遠鏡への天体導入、観望のサポート、天体の解説等を行っている。

(6)大阪市立科学館ボランティア SCIENCE de DOYA

科学デモンストレーターの有志により結成され、2022年1月より大阪・関西万博2025の「TEAM EXPO2025」プログラム「共創チャレンジ」に参加している。「SDGsの達成への貢献」を目的とする。

今年度の実施イベントは以下のとおり。

実施日	名称	内容	参加人数
4月20日(日) 5月 4日(日) 5月25日(日) 6月 8日(日) 9月14日(日) 10月 5日(日)	みんなで楽しむサイエンスショー 「どや！サイエンスてんこもり」	電気事業連合会による2025年大阪・関西万博における「エネルギーの可能性で未来を切り開く」をテーマとした出展パビリオンにて、全6回の実験ショーやワークショップを1日に6回程度実施した。 ①「手作り電気の大実験！」 ②「ハラハラ！バランス大実験！」 ③「見える見えないのふしぎ」 ④「ひんやり！涼しさの科学」 ⑤「動く？動かない？」 ⑥「作ってわかる！電池のヒミツ」	2,789名
5月11日(日)	ひんやり実験、大集合！	縁日のような形式でブースをめぐり、化学反応や変化に伴う熱に注目した5種の実験を体験するワークショップ。 （1）うちわでひんやり！　（2）風船でひんやり！ （3）溶けてひんやり！（4）化学反応でひんやり！ （5）ひんやりで雲をつくろう！ 対　象：どなたでも 参加費：無料	86名
6月14日(土)	どんどんのばそう！ペーパータワー！	A4コピー用紙とセロハンテープのみを材料に、どれだけ高さのあるものが作れるかを試行錯誤するワークショップ。 対　象：どなたでも 参加費：500円	184名
7月20日(日)	クエスタコン特別サイエンスショー「浮力/Buoyancy」	「浮力」をテーマに、クエスタコンとDOYAのコラボレーションによるサイエンスショーを実施した。 対　象：どなたでも 参加費：無料	約180名
11月23日(日・祝)	実験ワークショップ「野菜ロケットを飛ばそう！」	酵素をテーマに、顕微鏡を用いた酵素の観察や野菜の酵素による反応を利用したロケットの打ち上げ実験等を行い、酵素のはたらきが体験できるワークショップ。 ①微生物を見てみよう！ ②ちょきちょき！アミラーゼ ③しゅわしゅわ！カタラーゼ ④ゾウのはみがき粉？！ ⑤野菜ロケットを飛ばそう！ 対　象：小学3年生以上 参加費：500円	32名

11月30日（日）	工作ワークショップ「手回し発電機を作ろう」	モーターや発電のしくみを実験ショーや工作を通して学ぶワークショップ。工作にはマブチモーター株式会社より提供いただいたモーターを用いた。 対　象：小学3年生以上 参加費：500円	22名
12月13日（土）	風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」	発電をテーマとした実験ショーや風車作りを通した発電体験のできるワークショップ。川崎重工業株式会社「未来創造本部みらいほん」との共催による。 対　象：小学生と保護者の2人1組 参加費：無料	22組
1月12日（月・祝）	実験ワークショップ「あつまれ！静電気！」	静電気で、ものをくっつけることや動かすことが体験できる実験や工作をおこなうワークショップ。 ＜実験＞ ・集めてみよう！静電気 ・静電気は「電気」の仲間？ ・静電気って何だろう？ ・静電気はどこからくるの？ ・静電気なんかこわくない！ ・こんなところに静電気！ ＜工作＞ ・ぴこぴこ！静電気発見器！ ・ふわふわ！おどるおばけと魚つり！ ・くるくる！メリーゴーランド！ 対　象：小学1年生以上 参加費：100円	72組

5. ジュニア科学クラブ

(1)概要

小学校5・6年生を対象に、科学館を利用しながら、楽しく科学を学んでもらうために2000年度より実施している月1回のクラブ活動である。2025年度は春夏組と秋冬組の2期に分け、各組月1回・全6回の活動とした。毎月第3日曜日に科学館にて9時45分から11時30分で、科学実験工作教室やギャラリートーク、プラネタリウムの観覧等をおこなった。活動会員には、月刊「うちゅう」を毎月送付しており、中ほど1,2ページがジュニア科学クラブ会員対象のページとなっている。会費4,000円。

(2)2025年度の活動状況

2－1)会員数

春夏組50名、秋冬組51名

2－2)ジュニア科学クラブの日

春夏組

実施日	参加者数	内　　容
4月20日(日)	45名	入会説明会 科学実験工作教室「偏光板であそぼう！」(上羽　貴大)
5月18日(日)	44名	科学実験工作教室「分子をつくってみよう」 (山本　典史教授(千葉工業大学工学部応用化学科教授)/株式会社 QunaSys 光・量子飛躍フラッグシッププログラム)
6月15日(日)	40名	科学実験工作教室「作って飛ばそう！ブーメラン！」(上羽　貴大)
7月20日(日)	40名	プラネタリウム「夏休みの天体観察」(飯山　青海)
8月17日(日)	43名	科学実験工作教室「結しょうで探る原子の世界」(科学・ものづくり教育普及プロジェクト“ぽっけ”)
9月21日(日)	41名	科学実験工作教室「バランス着地にちょう戦」(科学デモンストレーター)

秋冬組

実施日	参加者数	内　　容
10月19日(日)	49名	入会説明会 科学実験工作教室「偏光板であそぼう！」(上羽　貴大)
11月16日(日)	42名	科学実験工作教室「分子をつくってみよう」 (山本　典史教授(千葉工業大学工学部応用化学科教授)/株式会社 QunaSys 光・量子飛躍フラッグシッププログラム)
12月21日(日)	47名	プラネタリウム「冬休みの天体観察」(飯山　青海)
1月18日(日)	46名	科学実験工作教室「結しょうで探る原子の世界」(科学・ものづくり教育普及プロジェクト“ぽっけ”)
2月15日(日)	46名	科学実験工作教室「作って飛ばそう！ブーメラン！」(上羽　貴大)
3月15日(日)	43名	科学実験工作教室「バランス着地にちょう戦」(科学デモンストレーター)

6. 科学館友の会

(1)概要

科学館を利用して科学の学習を行うことを目的とした友の会は、大阪市立電気科学館時代の 1984 年に発足し、科学館では普及啓発活動の一環として運営されてきたが、2004 年より科学館から独立し、自発的な学習活動をするとともに科学館運営に協力する団体となった。一方、科学館は友の会の活動に協力し、施設利用や観覧料割引、事務机などの便宜を供与している。

1－1)役　員(2025 年度)

会　　長　山田　陽子
副 会 長　山田　竜也
評 議 員　石川　嘉寿樹、上田　昌一、中尾　優司、藤原　勤、向井　由美、吉原　貴志、若山　陽子
監査委員　乾　圭一郎、本田　寿一
事務局長　植田　希
事務局員　成田　三枝子、新村　奈緒美、古西　恭子

1－2)主な事業

・普及事業：例会（毎月第 3 土曜日)、友の会天体観望会、サークル活動等
・協　　働：科学館等の普及事業における協働

1－3)年会費

3,000 円

(2)2025 年度の活動状況

2－1)会員数

685 名（2026 年 3 月末現在)

2－2)「月刊うちゅう」(大阪市立科学館発行)の配布

Vol.42、No.1～No.12（通巻 493 号～504 号）を配布した。

2－3)総　会

5 月 17 日に開催。科学館会場での参加と Zoom を利用したオンライン参加の併用により開催とした。特別講演会、総会議事（予算、決算、事業案の審議)、バザーなど。参加者数 71 名。

2－4)例　会

毎月（総会実施の 5 月、友の会ナイト開催の 1 月を除く）第 3 土曜日の 14 時～16 時に開催した。科学館研修室での参加と Zoom を利用したオンライン参加の併用により開催とした。

実施日	参加者数	おもな内容
4月19日	51 名	「ミニマムムーン」(江越学芸員)、他
6月21日	43 名	「科学と芸術をつなぐワークショップの実践」(上羽学芸員)、他
7月19日	49 名	「大阪・関西万博で科学を楽しむ」(野村学芸員)、他
8月16日	52 名	「もっと深掘り！企画展『極限時空・ブラックホールと重力波』」(木村学芸員)、他
9月20日	42 名	「海外の科学館との交流」(渡部学芸員)、他
10月18日	51 名	「巡回企画展『野辺山天文台展』の紹介」(西野学芸員)、他
11月15日	54 名	「ちょっと先取り『静電気の世界』」(猪口学芸員)、他
12月20日	59 名	「恒星間天体 3/I アトラス彗星」(飯山学芸員)、他
2月21日	49 名	「万博で活躍した手持ちデバイスたち」(野村学芸員)、他
3月21日	47 名	「春分の日」(江越学芸員)、他

2－5)サークル活動

サークル名	世話人（会員）	活動内容
天文学習	段野、坂本、上田	天文学を学ぶことで天体と天文現象をより深く理解し、より詳しい観測等ができるようになる。活動日：毎月第4日曜日
英語の本の読書会	高柴、乾、杉野	宇宙に関する解説書やインターネットの記事を英語で読み、最新の宇宙について勉強する。活動日：毎月第3土曜日
化　学	蔵谷、縄田、美濃	大野隆先生を講師として、実生活で役立つ化学を身につける。最新の科学の話題を知り理解する。活動日：毎月第2日曜日
ハイキング	土生、若山	科学館から外へ出て天文や科学に関する史跡や施設を見学し、学習、体験する。活動は不定期。今年度は開催なし。
りろん物理	岩崎、小野、山口、亀井	量子力学、相対論、物理数学、場の理論を輪読形式で学習する。活動日：毎月第2土曜日（りろん物理)、毎月第3日曜日（場の理論)
科学実験	松木、増田、成瀬	自然界の法則を、実験を行うことを通して学び、人生が豊かで楽しいものになることを目的とする。活動日：毎月第4日曜日
光のふしぎ	玄田、縄田、北元	可視光だけでなく、電波～X線、光学現象、錯視等、光のさまざまな現象に驚き、感動をもって学ぶ。活動日：毎月第2日曜日
うちゅう☆彡 むちゅう	藤井、本田、伝保	宇宙についてやさしく学んでいく。「うちゅう」のメイン記事や天文ニュース、メンバー間の発表等。活動日：毎月第2土曜日
星　楽	吉田、川瀬	天体観望に適した場所まで電車で出かけて行き、天体観察を行い、会員間の親睦を深める。活動は不定期。

2－6)その他の行事

名　称	実施日	参加者数	内　　容
天体観望会	7月 5日(土)	26名	月などを観察
天体観望会	11月 8日(土)	27名	月・土星などの観察
合宿天体観望会	11月24日(月・振休)	24名	和歌山県串本町にて開催、天体観察、BBQ、ピザづくりなど
友の会ナイト	1月17日(土)	111名	レトロ投影、カノープスの話、天動説他
天体観望会	1月24日(土)	23名	月・木星などの観察

7. 資料収集保管活動

(1)寄贈・寄託・移管資料

下記資料の寄贈を受けた。全て2025年に開催された、大阪・関西万博で使用されたものである。

資　料　名	受入番号		点数	寄　贈　者
スペース ローンチ システム 1/32モデル	2025	1	1	米国国務省
おしゃべりサーキュラー (EXPO2025 ドイツパビリオン)	2025	2	2	facts and fiction GmbH
タッチポイント・フォーム (EXPO2025 ドイツパビリオン)	2025	3	1	facts and fiction GmbH
タッチポイント・バームクーヘン型フォーム (EXPO2025 ドイツパビリオン)	2025	4	1	facts and fiction GmbH
おしゃべりサーキュラー専用スタンド (EXPO2025 ドイツパビリオン)	2025	5	2	facts and fiction GmbH
ランタン型デバイス (EXPO2025 住友館)	2025	6	1	住友EXPO2025推進委員会
スマートフォン・キャリア (EXPO2025 シグネチャーパビリオンいのちの未来)	2025	7	2	京セラ株式会社
オーブ (EXPO2025 オランダパビリオン)	2025	8	2	RICHARD STRAVER (Tellart / AND Consortium)
チェックインミラー「チャージ」 (EXPO2025 オランダパビリオン)	2025	9	1	RICHARD STRAVER (Tellart / AND Consortium)
チェックポイント (EXPO2025 オランダパビリオン)	2025	10	1	RICHARD STRAVER (Tellart / AND Consortium)
リボーンバンド (EXPO2025 大阪ヘルスケアパビリオン・リボーン体験)	2025	11	10	公益社団法人2025年日本国際博覧会 大阪パビリオン
タッチ機器 (EXPO2025 大阪ヘルスケアパビリオン・リボーン体験)	2025	12	2	公益社団法人2025年日本国際博覧会 大阪パビリオン
スマートブレスレット (EXPO2025 TECH WORLD パビリオン)	2026	1	2	玉山デジタルテック株式会社
ふしぎな石ころ echorb (EXPO2025 シグネチャーパビリオン Better Co-Being)	2026	2	2	株式会社村田製作所
ふしぎな石ころ echorb 付属品一式 (EXPO2025 シグネチャーパビリオン Better Co-Being)	2026	3	1	株式会社村田製作所
懐中電灯型デバイス (EXPO2025 関西パビリオン・福井県ゾーン)	2026	4	2	福井県庁交流文化部誘客推進課
虫眼鏡型デバイスカバー (EXPO2025 関西パビリオン・鳥取県ゾーン)	2026	5	1	鳥取県令和の改新戦略本部 政策戦略局 関西本部
タマゴ型デバイス外殻 (EXPO2025 電力館)	2026	6	1	電気事業連合会 大阪・関西万博推進室
結晶デバイス (EXPO2025 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」)	2026	7	2	パナソニック ホールディングス株式会社
人生ゲーム体験用コントローラーケース (EXPO2025 大阪ヘルスケアパビリオン・人生ゲーム REBORN in 2025)	2026	8	3	日本生命相互保険会社

(2)購入・製作資料

今年度は実施せず。

(3)寄託・借用資料

資　料　名	受入番号		点数	借　用　先
住友銅吹所出土遺物一式	2000	6	5	大阪市教育委員会、大阪市文化財協会
舎密局模型	2005	10	1	大阪歴史博物館

地下鉄車両用主電動機（モーター）	2006	45	1	大阪市交通局緑木車両管理事務所
冷却CCDカメラ	2006	170	1	群馬県立ぐんま天文台
アクリル製樹脂　水族館用水槽	2008	160	1	株式会社海遊館
ポリアセチレンフィルム	2008	164	1	後藤　博正
白川英樹博士ゆかりの実験道具	2008	165	1	後藤　博正
人工肺	2008	166	1	テルモ株式会社
ゴルフクラブとヘッド	2010	24	2	つるや株式会社
スカンクのはく製	2012	32	2	大阪市立天王寺動物園
真島利行研究室由来のウルシオール	2013	5	1	大阪大学総合学術博物館
アルマ望遠鏡Band4 プロトタイプ受信機	2018	25	1	大阪府立大学
「ぎんが」衛星搭載　全天X線観測装置	2019	11	1	大阪大学大学院理学研究科
国際宇宙ステーション　MAXI用CCD素子	2019	12	1	大阪大学大学院理学研究科
リーフラー時計	―	―	1	京都大学理学部
M-Vロケットフェアリング　EM品カットモデル	―	―	1	JAXA
光電子増倍管	―	―	1	東京大学地震研究所
シンチレータ	―	―	1	東京大学地震研究所
最新型ミュオグラフィ装置	―	―	1	東京大学地震研究所
ワイヤーチェンバー	―	―	1	ハンガリー・ウィグナー物理研究所
国立国際美術館建築模型	―	―	1	国立国際美術館
クーリッジ管(X線管)	―	―	1	姫路科学館
渋沢栄一肖像写真	―	―	1	公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館
江上式幻灯機、星座スライド			2	京都市青少年科学センター
手型のイス	―	―	1	大阪府日本万国博覧会記念公園事務所
EXPO'70 会場地図パネル	―	―	1	大阪府日本万国博覧会記念公園事務所
EXPO'70 開催告知ポスター	―	―	3	大阪府日本万国博覧会記念公園事務所
タイムカプセルEXPO'70の封入資料	―	―	12	大阪歴史博物館
IBM System/360 コンピュータ資料	―	―	1	京都コンピュータ学院
タイムカプセル EXPO'70 万博展示時の外観写真	―	―	1	パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
朝日放送 EXPO' 70 映像アーカイブ	―	―	1	朝日放送テレビ株式会社
小惑星リュウグウの石	―	―	1	JAXA宇宙科学研究所
万博関連写真	―	―	84	万博記念公園マネジメント・パートナーズ（大阪府）
万博関連映像	―	―	4	万博記念公園マネジメント・パートナーズ（大阪府）
アポロ月の石	―	―	1	NASA
ルナ月の砂	―	―	1	ROSCOSMOS/大阪大学
ティコクレーター1／20万立体模型	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
火星探査車パーシヴィアランス1/10模型	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
サターンV型ロケット（1/100模型）	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
N-1ロケット（1/100模型）	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
アポロ月面活動服（1/1模型）	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
アメリカ・ソ連の有人宇宙船（1/100模型）	―	―	2	JAXA
Z1宇宙服（1/1模型）	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム

月の砂シミュラント	―	―	1	一般財団法人日本宇宙フォーラム
ULTEGRA　ロードレーサー	―	―	1	シマノ自転車博物館
電力館可能性のタマゴ　タマゴ型デバイス	―	―	2	電気事業連合会 大阪・関西万博推進室
カナダパビリオン AR 体験用端末	―	―	4	カナダ大使館
スマートフォン Google PIXEL FOLD	―	―	2	グーグル社
クラゲ館「ごちゃまぜオーケストラ」AR カード	―	―	10	株式会社 steAm
echorb	―	―	2	株式会社村田製作所

(4)資料の貸し出し

資　料　名	貸出先	備考
15 cm反射望遠鏡経緯台　(資料番号 1994-584)	京都産業大学神山天文台	4/1～6/24

(5)図書資料の受入

調査研究用書籍（単行本）　27 冊
調査研究用定期購読雑誌　7 誌（国内 6 誌、海外 1 誌）
展示用定期購読雑誌　5 誌（うち寄贈 1 誌）
展示用書籍（単行本）　36 冊
寄贈受け入れ書籍（単行本）　52 冊（調査研究用 46 冊、展示用 6 冊）

8. 調査研究活動

(1)研究体制と研究テーマ

研究者一覧

氏　名	補 職 名	専門分野、研究テーマ	学　位	区　分
飯山　青海	天文係長	太陽系化学、流星	理学士	宇宙化学
石坂　千春	総務企画課長代理 兼研究副主幹	銀河団の力学、銀河、銀河団、宇宙全般	博士（理学）	天　文
猪口　睦子	学芸員	星団形成、星間物質	博士（理学）	物　理
上羽　貴大	理化係長	物理化学、楽器	博士（理学）	化　学
江越　　航	主任学芸員	太陽、Ｘ線天文学、気象教育	修士（理学）	天　文
小野　昌弘	学芸課長	無機化学、元素と周期表、化学史	教育学士	化　学
嘉数　次人	主任学芸員	科学史、天文教育	教育学修士	天　文
木村　優斗	学芸員	ブラックホール、重力波、3D プリンター	修士（理学）	物　理
西野　藍子	総務企画課総務係長 兼主任学芸員	電波天文学、天文教育、情報機器	理学士	天　文
野村　美月	学芸員	X 線天文学、天文教育	学士（理学）	天　文
三田村耕平	技術職員	科学教育	修士（理学）	天　文
吉岡　克己	館長	科学教育、歴史的実験機器	理学士	天　文
渡部　義弥	学芸課長代理	銀河系天文学、天文機器、科学普及史	教育学士	天　文

(2)調査研究活動

氏　名	内　容	実 施 日	場　所
飯山　青海	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館、大阪中之島美術館
	JGSS フィルムフェスティバル	11月26日	千葉市科学館
	全天周映像「光が語る、星の一生」ナレーション録音	3月27日	SC アライアンス早稲田スタジオ
石坂　千春	ペンシルロケットから 70 年	4月15日	オンライン参加
	日本の天文普及の黎明	4月19日	オンライン参加
	天文教育研究会近畿支部会	5月31日	オンライン参加
	天文学と社会	6月 8日	オンライン参加
	第 160 回 OSTEC 講演会	6月11日	オンライン参加
	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館、大阪中之島美術館
	天文教育フォーラム	9月 9日	オンライン参加
	学芸員研究報告会	12月18日	オンライン参加
	博物館のデジタルアーカイブと学校をつなぐ	1月30日	オンライン参加
	デジタル教材＋生成 AI 時代の天文教育（天文教育フォーラム）	3月 4日	オンライン参加
猪口　睦子	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月17日	大阪中之島美術館
	企画展打ち合わせ	7月16日	関西大学
	科学館・博物館若手職員向けグローアップ研修交流会	9月25日、26日	静岡科学館る・く・る
	企画展打ち合わせ	10月21日	コニカミノルタ 高槻サイト
	アミューズメント産業研究所公開講座	1月10日	大阪商業大学
上羽　貴大	展示協力打ち合わせ	4月10日	大阪大学
	資料調査	5月27日	株式会社グリーンテクノ
	シンポジウム出席	7月18日	万博豪州パビリオン

	ASPAC ワークショップ	7月19日	大阪市立科学館
	展示協力打ち合わせ	7月28日	都立産業技術研究センター
	展示協力打ち合わせ	8月 6日	音羽電機工業株式会社
	展示協力打ち合わせ	8月28日	シチズン時計株式会社
	展示協力打ち合わせ	8月29日	パーカーエンジニアリング株式会社
	展示協力打ち合わせ	9月 9日	大阪公立大学
	展示協力打ち合わせ	9月10日	株式会社 TRINC
	調査視察	9月11日	静電気学会全国大会
	展示協力打ち合わせ	9月29日	ダイキンファインテック株式会社
	共催事業打ち合わせ	10月 2日	酒ミュージアム
	展示協力打ち合わせ	10月15日	関西大学
	資料調査	10月24日	株式会社 AFI テクノロジー
	事業視察	11月 1日	酒ミュージアム
	日本音楽教育学会 第 56 回大会	11月 7日～9日	長崎大学
江越　航	日本気象予報士会東京支部例会	4月 5日	オンライン参加
	第 160 回 OSTEC 講演会	6月11日	大阪科学技術センター
	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館・大阪中之島美術館
	企画展調査	8月27日	京都大学化学研究所
	XRISM 一般講演会	10月19日	京都テルサ
	大阪大学理学部物理系同窓会講演会	11月29日	オンライン参加
	日本気象予報士会関西支部気象懇話会・勉強会	12月13日	オンライン開催
	「日本の気候変動 2025」と地域防災を考えるシンポジウム	12月18日	オンライン開催
	地震本部地域講演会 in 高知	2月 8日	オンライン参加
	気象研究所 研究成果発表会	2月21日	オンライン参加
	日本気象予報士会研究成果発表会	2月22日	オンライン開催
	気象庁シンポジウム「新たな防災気象情報を活かせる社会へ」	3月12日	オンライン参加
小野　昌弘	全国科学博物館協議会	7月 3日、4日	国立科学博物館
	企画展打合せ	8月27日	京都大学化学研究所
	全国科学館連携協議会第 2 回国内研修	9月 4日	大阪市立科学館
	第 16 回全国理工系学芸員展示研究大会	11月28日、29日	札幌市青少年科学館
	全国科学館連携協議会海外科学館視察研修	12月 1日～5日	タイ王国　国立科学博物館
	企画展調査	1月16日	つくばエキスポセンター
	全国科学館連携協議会近畿ブロック会合	2月 6日	伊丹市立こども文化科学館
	中之島クロスとの連携の打合せ	2月27日	Nakanoshima Qross
嘉数　次人	京都産業大学講演会「日本の天文普及の黎明」	4月19日	京都産業大学
	国立民族学博物館共同研究会	5月10日	国立民族学博物館
	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館・大阪中之島美術館
	第 29 回天文文化研究会	6月21日	オンライン参加
	科研費「天文文化学の新展開」会議	9月23日	オンライン参加
	企画展資料調査	12月25日	明石市立天文科学館
	天文文化学・海外調査	2月 2日～9日	ドイツ連邦共和国
	全国科学博物館協議会研究発表大会	2月17日、18日	国立科学博物館
	日本天文学会・2026 年春季年会	3月 6日	京都産業大学

木村　優斗	全国プラネタリウム大会 2025・大阪　記念講演	6月17日	大阪中之島美術館
	企画展資料借用	7月 8日	東京大学宇宙線研究所 重力波観測研究施設
	企画展資料返却	9月 2日	東京大学宇宙線研究所 重力波観測研究施設
	2025 年度 全国科学館連携協議会 第２回国内研修	9月 5日	バンドー神戸青少年科学館
	企画展展示視察	9月 5日	明石市立天文科学館
	令和７年度学芸員専門研修アドバンスト・コース	11月11日～14日	国立科学博物館 筑波研究施設
	令和７年度全国科学館連携協議会中四国ブロック会議	12月10日、11日	アース製薬株式会社 赤穂研究所・坂越工場・赤穂工場
	3D プリンタで広がる触察モデルの世界～視覚障害者支援のためのモデル制作を体得する２日間～	2月 5日、6日	大阪市立自然史博物館
	浜松サイエンスショーフェスティバル 2026	2月 8日、9日	浜松科学館
	第 3 回全日本博物館学会研究会 アンケートのお悩み相談～設計から分析まで～	2月22日	関西大学 梅田キャンパス
	日本物理学会 2026 年春季大会	3月23日～25日	オンライン開催
西野　藍子	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館・大阪中之島美術館
	科研費 普及事業調査	8月10日	PCN 大阪
	企画展資料調査	8月21日	大阪公立大学
	企画展資料調査	8月28日	国立天文台野辺山宇宙電波観測所
	企画展資料調査	8月29日	名古屋市科学館
	日本プラネタリウム協議会全国研修会 2025・仙台	11月17日～19日	仙台市天文台
	全国博物館大会	11月20日	大阪市中央公会堂
	科研費 展示調査	1月 9日	日本科学未来館
野村　美月	公開講座「学天則-大阪で誕生した日本初のロボット-」	4月15日	大阪自由大学
	シンポジウム「博物館の持続可能性 － 急速に変化する地域社会における博物館の未来」	5月25日	大阪・関西万博 テーマウィークスタジオ
	全国プラネタリウム大会 2025・大阪	6月16日～18日	大阪市立科学館・大阪中之島美術館
	第 29 回 天文文化研究会	6月21日、22日	大阪工業大学
	デジタルアーカイブフェス 2025―デジタルアーカイブの新展開―	8月25日	オンライン開催
	企画展資料調査	12月14日	明石市立天文科学館
	第 30 回 天文文化研究会	12月20日、21日	オンライン参加
	日博協令和７年度 研修会「博物館資料に係る電磁的記録の作成と公開～記録、目録、デジタルアーカイブとコレクション管理～」	1月14日	オンライン参加
	日本天文学会 2026 年春季年会	3月 4日	オンライン参加

三田村　耕平	第73回全国博物館大会 企画展資料調査 日本プラネタリウム協議会　近畿研修会 3Dプリンタで広がる触察モデルの世界 企画展資料調査	11月19日 12月25日 1月13日 2月 5日、6日 3月11日	大阪市中央公会堂 明石市立天文科学館 大阪市立科学館 大阪市自然史博物館 明石市立天文科学館
吉岡　克己	ペンシルロケットから70年 研究資料調査 science communication and trust in an age of artificial intelligence 参加 シンポジウム「博物館の持続可能性」参加 全国科学館連携協議会総会及び国内研修 全国プラネタリウム大会2025・大阪 全国博物館長会議 ASPACワークショップ Future of Science Centres as People’s Living Labs ラウンドテーブル参加 研究資料調査 企画展打合せ 展示製作調査 全国科学館連携協議会第２回国内研修 展示資料調査 京都大学宇宙会総会及び講演会 展示資料調査 エネルギー施設研修会 全国博物館大会 第16回全国理工系学芸員展示研究大会 展示製作調査 バンドー神戸青少年科学館内覧会	4月15日 4月23日 5月21日 5月25日 5月30日 6月16日～18日 7月 2日 7月19日 7月31日 8月21日 8月27日 8月29日 9月 4日 9月17日 9月28日 10月13日 11月11日 11月19日、20日 11月28日、29日 1月 8日 3月24日	オンライン参加 京都大学化学研究所 万博オーストラリア館 万博テーマウィークスタジオ 日本科学未来館 大阪市立科学館・大阪中之島美術館 文部科学省 大阪市立科学館 万博ポルトガル館 甲南大学 京都大学化学研究所 教映社 大阪市立科学館 万博アメリカ館 京都大学理学部 万博ドイツ館 川崎重工業株式会社 大阪市中央公会堂 札幌市青少年科学館 ヤスダモデル バンドー神戸青少年科学館
渡部　義弥	チリ天文週間シンポジウム 全国プラネタリウム大会2025・大阪 ASPACワークショップ 国際フォーラムInnovation for the Future under the Stars: Inheritance, Innovation, and Global Cooperation of Planetariums, 資料調査 資料調査 資料調査 資料調査 カナダパビリオン万博レガシー紹介 全天周映像「光が語る、星の一生」ナレーション録音およびミックスダウン	5月20日 6月16日～18日 7月19日 9月16日、17日 10月 1日 10月27日 11月12日 2月13日 3月13日 3月27日、28日	万博チリ館 大阪市立科学館・大阪中之島美術館 大阪市立科学館 北京天文館 万博アメリカ館 万博オランダ館 （公財）大阪パビリオン 日本生命大阪本社 Hotel The Day Osaka SC アライアンス早稲田スタジオ

(3)学会・研究会等での発表、招待講演

氏　名	学会・研究会名：タイトル	発表日	場　　所
上羽　貴大	日本音楽教育学会 第56回大会 共同企画XVI 科学館における「科学と音楽をつなぐワークショップ」の実践 -つくってみよう電子楽器・電子音楽-	11月9日	長崎大学

江越　航	全国プラネタリウム大会 2025 大阪「天文関係の図版作成のためのいくつかのTips」	6月18日	大阪市立科学館
小野　昌弘	大阪大学中之島芸術センター　公開シンポジウム 「大阪市立科学館の活動について　展示場とプラネタリウムを中心に」 第16回全国理工系学芸員展示研究大会 「大阪市立科学館の資料について」	10月13日 11月28日	大阪大学中之島芸術センター 札幌市青少年科学館
嘉数　次人	国立民族学博物館共同研究会「近世日本の天文学者と天文占」 第29回天文文化研究会　「渋川春海と星座」 全国科学博物館協議会・研究発表大会「学芸員の活動を伝える」 日本天文学会 2026 年春季年会「日本におけるクラシカルな光学機械式プラネタリウムの研究資源としての価値」(井上毅、毛利勝廣と共同発表)	5月10日 6月21日 2月18日 3月 6日	国立民族学博物館 大阪工業大学 (オンライン) 国立科学博物館 京都産業大学
木村　優斗	3D プリンタで広がる触察モデルの世界～視覚障害者支援のためのモデル制作を体得する２日間～:「大阪市立科学館での3Dプリンタを用いた取り組み」	2月 6日	大阪市立自然史博物館
吉岡　克己	科学館における科学技術史資料の公共化 「歴史的物理実験機器資料を中心に」	11月28日	札幌市青少年科学館
渡部　義弥	全国プラネタリウム大会2025・大阪 「スマート望遠鏡活用ハンドブックの製作と反響について」(ポスター発表) 自然史博物館「教員のための博物館の日」 「新技術でリアル・バーチャルの天体観察」 国際フォーラム Innovation for the Future under the Stars: Inheritance, Innovation, and Global Cooperation of Planetariums, 「“Making the Universe Feel Close: Dialogue and Discovery in the Planetarium	6月18日 19日 8月 7日 9月16日	大阪中之島美術館 大阪市立自然史博物館 北京天文館

(4)著作・執筆等

4－1)大阪市立科学館研究報告誌　第35号(2025年8月発行、全140ページ)

氏　名	タイトル
石坂　千春	・プラネタリウム投影プログラム「シン・宇宙望遠鏡ジェームズ・ウェッブ」制作報告
飯山　青海	・プラネタリウムテーマ解説「月世界への道」製作報告 ・オンライン天体観測会「月の動きをはかろう」実施報告
上羽　貴大	・大人の化学クラブ2024「日本酒の化学スペシャル」実施報告 ・ボランティアによるサイエンスショー「野菜ロケットを飛ばそう！」制作報告(吉岡　亜紀子、木村　友美、林　ゆりえ、林　陽一郎と共著) ・ジュニア科学クラブ「ひんやり！涼しさの科学」実施報告(吉岡　亜紀子、木村　友美、林　ゆりえ、林　陽一郎と共著) ・化学実験ワークショップ「のぞいてみよう！発酵の世界」実施報告(吉岡　亜紀子、木村　友美、林　ゆりえ、林　陽一郎と共著) ・風力発電ワークショップ「風車を作って発電しよう！」実施報告(足立　利光、牧澤　遼、徳永　寿慧、吉岡　亜紀子と共著)

江越　航	・全天雲画像の分類における撮影データ追加の効果 ・数理最適化を用いた勤務シフトの作成 ・プラネタリウム投影プログラム「探れ！天の川の姿」制作報告 ・2024年度の気象に関する普及活動実施報告 ・大阪市立科学館スペシャルナイト「月の石、リュウグウの石 － 太陽系の歴史を探る －」開催報告
嘉数　次人	・カールツアイスⅡ型投影機の移設と機械の現状
木村　優斗	・韓国科学館視察研修の報告と得られた知見について
西野　藍子	・プラネタリウム投影プログラム「オーロラに逢いにいこう」制作報告
西野　藍子、嘉数　次人	・企画展「日本の科学館は大阪から」実施報告
吉岡　克己	・荒勝文策と日本の原子核実験の夜明け
渡部　義弥	・1970年万博におけるコンピュータ利用について ・スマート望遠鏡活用ハンドブックの製作と配布 ・2024年度博物館実習報告（瀬川　真由子、廣瀬　ゆららと共著）
渡部　義弥、西野　藍子、野村　美月、飯山　青海	・企画展「万博で夢見たサイエンス展」実施報告
渡部　義弥、野村　美月、猪口　睦子	・新展示場用学習ワークシートの試作
渡部　義弥、西野　藍子	・サイエンスブックフェスタの実施

4－2)学術誌・図録・報告書等

氏　名	タイトル	書籍等名
嘉数　次人	「日本にプラネタリウムの星が灯った日」	『あなたの街の星の劇場　ようこそプラネタリウムへ』（出版：アストロアーツ）所載
嘉数　次人	「寛政の改暦から天保の改暦へ」	『幕府天文方の研究』（思文閣出版）所載
渡部　義弥	「万博で夢見たサイエンス展」を開催して	月刊化学第80巻（化学同人）

(5)各種委員等

氏　名	名　　称	組　織　名
飯山　青海	委員 非常勤講師 委員	スター・ウィーク実行委員会 大阪電気通信大学 日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ
石坂　千春	監事（～2026 年 8 月）	日本天文教育普及研究会
猪口　睦子	社会教育委員 実行委員	貝塚市 青少年のための科学の祭典大阪大会実行委員会
小野　昌弘	代表 委員 非常勤講師	全国理工系学芸員会議 日本化学会近畿支部化学教育協議会 大阪公立大学
嘉数　次人	非常勤講師	岡山理科大学
西野　藍子	委員 実行委員	日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ プラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会

野村　美月	実行委員 天文教育委員	プラネタリウム100周年記念事業実行委員会 日本天文学会
吉岡　克己	非常勤講師 非常勤講師 評議員 評議員 副代表 副会長 委員 幹事 委員 構成員 委員	大阪公立大学 放送大学 大阪科学技術センター 国立国際美術館 全国理工系学芸員会議 全国科学館連携協議会 日本プラネタリウム協議会近畿地域ワーキンググループ 電気記念日行事関西実行委員会 神戸市立青少年科学館展示更新検討会 愛媛県総合科学博物館魅力向上戦略策定検討会 大阪大学中之島芸術センターアドバイザリーボード
渡部　義弥	非常勤講師 非常勤講師 理事長	奈良女子大学 大阪公立大学 日本プラネタリウム協議会

(6)学会・研究会所属状況

氏　名	所　属　学　会
飯山　青海	日本惑星科学会、日本流星研究会
石坂　千春	日本天文学会、日本天文教育普及研究会、国際天文学連合、全国理工系学芸員会議
猪口　睦子	日本天文学会、全国理工系学芸員会議
上羽　貴大	全国理工系学芸員会議、日本音響学会、日本サイエンスコミュニケーション協会、日本科学教育学会
小野　昌弘	日本化学会、近畿化学協会、全日本博物館学会、全国理工系学芸員会議
嘉数　次人	日本科学史学会、日本天文学会、日本天文教育普及研究会
木村　優斗	日本物理学会、日本ミュージアム・マネージメント学会、全国理工系学芸員会議
西野　藍子	日本天文教育普及研究会
野村　美月	日本天文学会
三田村 耕平	日本天文教育普及研究会、日本公開天文台協会、国際プラネタリウム協会
吉岡　克己	日本天文学会、日本科学史学会、全国理工系学芸員会議
渡部　義弥	日本天文学会、日本天文教育普及研究会

(7)研究会の開催

名　　称	開催日時	場　所	備　　考
全国プラネタリウム大会2025・大阪	6月16日 ～18日	大阪市立科学館/ 大阪中之島美術館	日本プラネタリウム協議会との共催
ASPAC Masterclass for Emerging Leaders	7月17日 ～19日	大阪・関西万博会場/大阪市立科学館	ASPACとの共催
2025年度全国科学館連携協議会　第2回国内研修	9月4日、 5日	大阪市立科学館/ バンドー神戸青少年科学館	全国科学館連携協議会との共催
第16回全国理工系学芸員展示研究大会	11月27日、 28日	札幌市青少年科学館	全国理工系学芸員会議との共催

(8)研究費交付状況

氏　名	内　　容	備　　考
嘉数　次人	天文文化学の新展開 ： 数理的手法の導入で文化史と科学論から自然観を捉える研究の加速	令和6（2024）年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（挑戦的研究（開拓）） 研究分担者
西野　藍子	「多波長観測画像閲覧アプリの展示製作による STEAM 教育の実践的研究」 （補助事業期間：令和7年度～9年度）	令和7(2025)年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)（一般） 研究代表者

(9)その他活動

氏　名	内　　容	備　　考
猪口　睦子	自由研究コンテスト審査員、サイエンスショー上演	11月9日開催、「第16回自由研究コンテスト2025」（関西大学）
上羽　貴大	講師	10月28日実施、「ミュージックビジネス演習Ⅷ」講師（大阪音楽大学）
上羽　貴大	講演「科学館の学芸員としてはたらく」	11月20日実施、大阪大学理学研究科講義科目「将来展望特論B」「企業研究者特別講義」にかかる講演
上羽　貴大	「課題研究」への指導助言	8月26日、10月7日、14日、11月25日、12月11日、12日、2月3日実施（大阪府立茨木高等学校）
上羽　貴大	教員養成実地指導非常勤講師	2月13日開講、授業「楽器をつくろう」の担当（京都教育大学）
江越　航	講演「グリニッジ子午線」	10月12日実施、向日市天文館 天文学講座 講師
嘉数　次人	講演「日本の天文学と大坂」、「大阪の科学史をめぐる」	12月16日、1月19日実施、シニア自然大学校「歴史を楽しむ科」での講演
嘉数　次人	講演「江戸時代の天文学とこよみ」	2月16日実施、芦屋川カレッジ大学院での講演
嘉数　次人	企画講座講師	2月21日実施、杵築市立図書館の企画講座「シン・ゴーリュー塾」第4回での講師
吉岡　克己	Round table: "Future of Science Centres as People's Living Labs"	7月31日実施、大阪・関西万博会場ポルトガル館
吉岡　克己	大阪市立科学館のリニューアル	9月4日2025年度全国科学館連携協議会　第2回国内研修　講師

9. 広報・宣伝活動

(1)2025 年度広報・宣伝活動の特徴

1－1)大阪・関西万博がもたらした広報展開

大阪・関西万博の開催に伴い、海外メディアを含む取材対応や在大阪・神戸米国総領事館との共同広報など、多様な方々と連携しながら広報活動を進める機会が増えた。万博に関心を寄せる層と当館展示との親和性は高く、SNS では万博と当館を結びつけた発信を行うことで、当館の認知度向上と新規来館者の獲得につなげた。

1－2)催事ポスター等の掲出

催事プログラム更新ごとに、チラシやポスターを近隣の博物館施設等をはじめ約 90 か所に発送した。

また、地域連携の一環として無償で提供されているデジタルサイネージや、大阪メトロの共用掲示板等を活用することで、掲出コストを抑えつつ、当館の情報露出の頻度を高めた。様々な年齢層が利用するショッピングモールや金融機関、区民センター、図書館などにチラシ設置・ポスター掲出することで、当館の認知度向上、新規来館者の獲得に努めた。

詳細は「2-6) 有料広告等 (P.67)」のとおり

1－3)SNS発信

X (旧 Twitter)、Instagram を活用し、日々の科学館の活動やイベント情報を発信した。

新たな試みとして、質問機能やアンケート機能を活用し、科学館に聞いてみたいことやクイズなどをとおして、フォロワーの方々とコミュニケーションをとりながら、学芸員の活動や展示、イベント等の情報をお伝えすることができた。また、大阪・関西万博を当館への来館を促す好機ととらえ、「万博大好きなみなさん」に向けた投稿をシリーズ化し、「SLS ロケット模型展示」「手持ちデバイス展開催」のお知らせのほか、万博展示と当館展示を関連づけた投稿を行った。特に、ドイツパビリオンのサーキュラーが贈られた話題には、１万以上の「いいね」があり、Yahoo! JAPAN サイト「リアルタイム検索で話題のキーワード」に「大阪市立科学館」がランクインするなど、大きな反響が得られた。

年間をとおして、開館日はほぼ毎日投稿し、X は 2,094 名、Instagram は 4,188 名、合計 6,200 名を超える新規フォロワーを獲得した。

1－4)SNS広告の掲出

平日午後の来館者増進を主目的とし、Instagram 内での SNS 広告の掲出を行った。大阪市立科学館から半径 30 km在住の 20～59 歳の男女を対象に、プラネタリウム、企画展を「ひとりでゆっくり楽しむイメージ」と「みんなでわいわい楽しむイメージ」それぞれ２種類の静止画、動画(15 秒)を作成した。

配信期間は、2026 年 1 月 11 日(日)～2 月 7 日(土)の 28 日間、フィード及びストーリーズ等に掲出し、各広告には、当館公式サイトトップページへのリンクを設定した。

結果として、広告の総表示回数は 411,364 回、公式サイトへのクリック率が 1.52%であった。一般的なクリック率 (1%程度) を上回り、特に、35 歳～44 歳に多く表示、クリックされた。広告配信期間において約 350 名の新規フォロワーを獲得した。

1－5)マスコミ関係者向け情報提供

これまで取材で来館等があったマスコミ関係者約 520 名に、当館の活動をアピールするメールを一斉に送付し、マスコミへの露出増加を図った。2025 年度は、企画展のご案内、大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」のご案内、新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に関するお知らせ等、計８件を発信した。担当学芸員からのメッセージを掲載することで、各メディアでの掲載促進を狙った。

また、「SLS ロケット模型受贈記念式典」に関するプレスリリースは、在大阪・神戸米国総領事館広報部と共同で行った。

詳細は「(3)プレスリリース (P.68)」のとおり

1－6）来館者向け催事プログラム告知

館内や近隣施設に配架している総合案内リーフレットは、利用者が英語版、日本語版を取り違える場面が見受けられたため、増刷を機に一部デザインを見直した。日本語版には「館内案内」、英語版には「GUIDE」とより明確に記すことで混同を防いだ。

また、引き続き QR Translator を活用し、日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語のほか、計 15 言語について、オンラインで閲覧できるようにし、国内外からの来館者の利便性を高めた。

その他、ポスター、イベント情報チラシ「科学館だより」等により、来館者に対して今後の催事プログラムを周知した。最も来館者が多く、イベント数も多い夏号に、年間スケジュールを掲載することで、後日の来館を促した。

2025 年度に作成した広報印刷物については、「(4)その他 広報印刷物（P.68）」のとおり

1－7）大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」

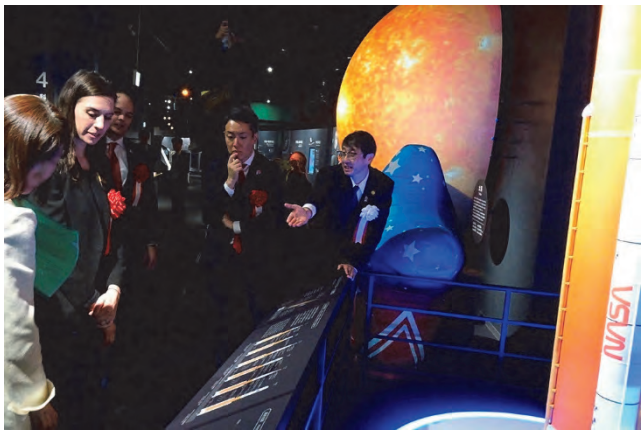
2025 年大阪・関西万博アメリカパビリオンの主要展示物であった SLS ロケット模型が、アメリカ合衆国国務省より、在大阪・神戸米国総領事館を通じて地方独立行政法人大阪市博物館機構に寄贈された。

これを記念し、2 月 19 日(木)に受贈記念式典及び内覧会を開催した。

＜概要＞

日　　時	2026 年 2 月 19 日(木)　　17：30～18：30 受贈記念式典　　17：30～18：05 内覧会　　18：05～18：30
会　　場	■受贈記念式典　大阪市立科学館　展示場１階「みんなのサイエンス・ラボ」 ■内覧会　展示場４階
対　　象	招待者（在大阪・神戸米国総領事館関係者、大阪市関係者、近隣中高生、機構関係者、展示協力者ほか）
参加者数	41 名
内　　容	■受贈記念式典 ＜次第＞　（敬称略） 開会 主催者挨拶　地方独立行政法人大阪市博物館機構 理事長　真鍋　精志 来賓挨拶　大阪市長　横山　英幸 寄贈者挨拶　駐日米国大使首席補佐官　エリック・M・ジェイコブス 感謝状授与 謝辞　大阪市立科学館長　吉岡　克己 閉会 SLS ロケット紹介　NASA アジア担当代表　レベッカ・レヴィ ■内覧会 参加者に SLS ロケット模型をご覧いただき、適宜、学芸員が解説を行った。 ※近隣の中高生を代表して、大阪府立水都国際中学校・高等学校、大阪 YMCA インターナショナルスクール、大阪 YMCA インターナショナルハイスクールの生徒と引率教員、計 28 名も参加
取　　材	7 社

SLS ロケット模型受贈記念式典の様子



内覧会の様子

大阪・関西万博に関連付けた SNS 投稿（一部）

SNS 広告　Instagram フィード
ひとりでゆっくり楽しむイメージ

SNS 広告　Instagram フィード
みんなでわいわい楽しむイメージ

(2)広報・広告活動

大阪市立科学館の価値・話題性から2025年度（2025.4～2026.3）においてテレビやラジオ、新聞、雑誌などで紹介された実績と内容は次のとおりである。

2－1)記事・広告掲載件数一覧

項目 ＼ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
無料記事（取材協力）	新聞	0	1	3	0	2	1	0	0	3	1	9	4	24
	雑誌など	4	10	7	9	5	6	4	7	5	2	26	30	115
	テレビ	0	0	1	2	8	3	1	2	2	1	2	2	24
	ラジオ	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1	7
	インターネット	12	7	7	10	12	5	5	3	16	3	30	23	133
	その他	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	計	16	21	18	22	28	15	11	12	27	7	70	60	307
有料（広告）	新聞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑誌など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	テレビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		16	21	18	22	28	15	11	12	27	7	70	60	307

【過去の実績】

年度 ＼ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2024年	無料記事	14	5	4	49	64	14	26	19	26	46	25	21	313
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	14	5	4	49	64	14	26	19	26	46	25	21	313
2023年	無料記事	9	34	43	43	43	34	50	30	9	10	5	9	319
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	9	34	43	43	43	34	50	30	9	10	5	9	319
2022年	無料記事	19	38	46	28	16	15	25	40	22	43	9	24	325
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	19	38	46	28	16	15	25	40	22	43	9	24	325
2021年	無料記事	8	38	34	38	34	4	3	14	8	15	50	15	261
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	8	38	34	38	34	4	3	14	8	15	50	15	261
2020年	無料記事	13	20	16	34	36	35	14	10	20	41	40	46	325
	有料広告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	13	20	16	34	36	35	14	10	20	41	40	46	325

2－2)テレビでの紹介状況

No.	放送日	放送局名 (会社名)	番　組　名	放送された概要(紹介概要)
1	6/28	テレビ大阪	大阪おっさんぽ	科学館の展示場紹介（吉岡館長）
2	7/9	奈良テレビ	いい福みつけ旅	科学館の展示場紹介（飯山学芸員）
3	7/18～24	ケーブルテレビ	週刊 Bay ニュース	楽しいお天気講座「いろんな雲を観察しよう」の紹介
4	8/20	読売テレビ	NNN ストレイトニュース	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
5	8/20	読売テレビ	かんさい情報ネット ten.	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
6	8/20	NHK 大阪放送局	ほっと関西	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
7	8/20	NHK 奈良放送局	ならナビ	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
8	8/20	朝日放送	news おかえり	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
9	8/21	朝日放送	おはよう朝日です	8/19 深夜に現れた火球について（飯山学芸員）
10	8/21	朝日放送	news おかえり	夏休みミニ気象台イベントの紹介
11	8/22	毎日放送	よんチャン TV	夏休みミニ気象台イベントの紹介
12	9/9・10	NHK 大阪放送局	いつか、無重力の宙で	ロケ地としてツアイス広場にて撮影
13	9/18	NHK 大阪放送局	えぇトコ　心ときめく！水と宙(そら)の旅～大阪中之島～	科学館のプラネタリウムの紹介（嘉数学芸員）
14	9/28	NHK 大阪放送局	えぇトコ　心ときめく！水と宙(そら)の旅～大阪中之島～	科学館のプラネタリウムの紹介（嘉数学芸員・再放送）
15	10/27	関西テレビ	ニュースランナー	レモン彗星について（飯山学芸員）
16	11/3	TBS 特番	テレビ×ミセス	歌手 大塚 愛さんの思い出の地として、開館当時の大阪市立科学館の写真紹介
17	11/13	NHK	ほっと関西	関西どこいこ MAP にて、大阪市立科学館 紹介
18	12/6	TBS	ギリある★マニュアル	「月刊うちゅう」2020 年 9 月号内記事紹介
19	12/29	朝日放送	news おかえり＆YouTube 傑作選	8/20 放送回の再放送 （火球について飯山学芸員がコメント）
20	1/31	KBS 京都	サニータイム	企画展「静電気の世界」、常設展示などを生中継で紹介（上羽学芸員）
21	2/20	NHK 大阪放送局	NHK「NEWS 関西」	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」について紹介
22	2/21	関西テレビ	FNN live News α(関西)	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」について紹介
23	3/10	関西テレビ	やすとも・友近のキメツケ！	関西のミュージアムを紹介する特集にて、当館外観写真放送
24	3/19	NHK	ほっと関西	静電気について（上羽学芸員）

2－3)ラジオでの紹介状況

No.	放送日	放送局名 (会社名)	番　組　名	放送された概要（紹介概要）
1	5/9	NHK 大阪放送局 第１放送	関西ラジオワイド	企画展「プラネタリウム 100 年」の紹介(西野学芸員)
2	8/29	NHK 大阪放送局 第１放送	関西ラジオワイド	「大阪の宝」について紹介(嘉数学芸員)
3	12/16	NHK 大阪放送局 第１放送	関西ラジオワイド	企画展「静電気の世界」の紹介（猪口学芸員）
4	2/18	ABC ラジオ	おはようパーソナリティ 小縣裕介です	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介（渡部学芸員）
5	2/25	FM802	on-air with TACTY IN THE MORNING	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介
6	2/26	NHK 大阪放送局 第１放送	関西ラジオワイド	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介（渡部学芸員）
7	3/13	NHK 第１放送	マイあさ！	「きょうは何の日」のコーナーにて、電気科学館開館日、日本で初めてプラネタリウムが開始された日として紹介

2－4)新聞での紹介状況

No.	掲載日	新聞社	紹介記事概要
1	5/30	東京新聞	スマート望遠鏡に関して渡部学芸員のコメント掲載
2	6/5	朝日新聞	3/13 開催コロキウムにて宮島一彦先生へ取材
3	6/6	読売新聞	元素検定のイベント概要
4	6/16	日本経済新聞	科学館及び大阪市立電気科学館のプラネタリウムに関する記事掲載（嘉数学芸員）
5	8/1	読売新聞	万博の見学ポイントや海外館の展示の特徴に関する渡部学芸員のコメント掲載
6	8/2	日本経済新聞	何でもランキング「科学館大人もワクワク学び直し」にて当館掲載
7	9/19	読売新聞	大阪市立科学館×酒ミュージアムイベント概要
8	12/6	朝日新聞	ふたご座流星群について、飯山学芸員への取材内容掲載
9	12/16	朝日新聞	2/7 開催「スペシャルナイト：世界最高峰の星空をお茶の間へ 朝日新聞宇宙部の歩み」開催のお知らせ
10	12/24	朝日新聞	企画展「静電気の世界」の紹介
11	1/31	大阪日日新聞	歴史散歩として四ツ橋の電気科学館について掲載
12	2/4	読売新聞　夕刊	アメリカパビリオンの SLS ロケット模型の寄贈、一般公開について
13	2/5	読売新聞	アメリカパビリオンの SLS ロケット模型の寄贈、一般公開について、渡部学芸員コメント掲載
14	2/20	読売新聞	アメリカパビリオンの SLS ロケット模型の公開について
15	2/20	埼玉新聞	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について

16	2/20	佐賀新聞	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
17	2/20	岐阜新聞	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
18	2/20	新潟日報	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
19	2/20	中日新聞	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
20	2/20	北陸中日新聞	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
21	3/2	電気新聞	電気記念日にちなみ、「電気学の祖」橋本宗吉について紹介、嘉数学芸員のコメント掲載
22	3/10	神戸新聞　夕刊	SLS ロケット模型寄贈・記念式典について
23	3/18	日本経済新聞　夕刊	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介
24	3/30	電波新聞	万博のレガシーのひとつとして、新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介

2－5)雑誌・インターネットでの紹介状況

No.	掲載日	雑誌社(名)	紹介記事内容
	＜4 月＞		
1	4/1	ウォーカープラス(Web)	科学館概要紹介
2	4/1	JTB の MOOK　大阪完全版	科学館概要紹介
3	4/1	大阪シティバス HP	科学館概要紹介
4	4/10	いちょう並木 4 月号	ミュージアム情報にプラネタリウム、サイエンスショー、企画展「プラネタリウム 100 年」
5	4/14	JR 西日本「おでかけガイド」(Web)	科学館概要紹介
6	4/14	JR 西日本「WESTER」(Web)	科学館概要紹介
7	4/14	JAVA. jp (Web)	科学館概要紹介
8	4/18	梅田経済新聞 X	企画展「プラネタリウム 100 年」の紹介
9	4/18	梅田経済新聞 (Web)	企画展「プラネタリウム 100 年」の紹介
10	4/18	Yahoo!ニュース(Web)	企画展「プラネタリウム 100 年」の紹介
11	4/18	京都大学 大学院 理学研究科 地球惑星科学専攻／京都大学 理学部 地球惑星科学系 (Web)	卒業生の活躍を紹介する記事にて、科学館職員の執筆記事掲載
12	4/24	有限会社ライブ公式 HP	プラネタリウム「GALAXY ～銀河の生い立ちを探る～」の紹介
13	4/24	芸術新潮 5 月号	「大阪の宝」として科学館展示「コッククロフト・ウォルトン型加速器」を紹介
14	4/25	博物館研究 5 月号	巻頭グラビアにてカールツアイスⅡ型投影機紹介、令和 6 年度新館紹介にて当館リニューアル紹介、展覧会スケジュールにて企画展「プラネタリウム 100 年」の紹介
15	4/25	星野リゾート　みちくさガイド　(Web)	科学館概要紹介

16	4/28	大阪ミュージアムズX	GWは博物館・美術館へ！！として、大阪市立科学館の企画展「プラネタリウム100年」の紹介
	＜5月＞		
17	5/1	中之島パビリオンフェスティバル 2025 チラシ（日本語版・英語版）	中之島の施設として科学館紹介
18	5/1	中之島パビリオンフェスティバル 2025 パンフレット（日本語版）	企画展「プラネタリウム100年」、中之島パビリオン周遊パス対象施設として当館名称掲載
19	5/1	わがまち北区 5月号	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
20	5/1	化学 第80巻第5号	「万博で夢見たサイエンス展」を開催して（渡部学芸員による企画展紹介記事掲載）
21	5/1	るるぶ大阪'26	科学館概要紹介
22	5/1	全科協News vol.55 No.3	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
23	5/5	月刊 天文ガイド 6月号	大阪市立科学館が作成した「スマート望遠鏡活用ハンドブック」の紹介
24	5/8	関西ラジオワイド(Web)	企画展「プラネタリウム100年」の番組アナウンス
25	5/8	関西ラジオワイドX	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
26	5/8	関西ラジオワイドX	企画展「プラネタリウム100年」の聴き逃しアナウンス
27	5/10	いちょう並木5月号	ミュージアム情報にプラネタリウム、サイエンスショー、企画展「プラネタリウム100年」
28	5/12	Good Luck Trip(Web)	科学館概要紹介
29	5/20	大阪ミュージアムズX	サイエンスショーの紹介
30	5/22	Fashion Press(Web)	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
31	5/23	大阪ミュージアムズX	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
32	5/25	博物館研究 6月号	展覧会（科学）に企画展「プラネタリウム100年」の紹介
33	5/26	JCBカード会員情報誌「J-BStyle」2025年夏号	中之島の施設として科学館紹介
34	5/26	Newton　2025年7月号	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
35	5/30	Meets　Regional	科学館概要、企画展「プラネタリウム100年」の紹介
	＜6月＞		
36	6/1	歩いて楽しむ　大阪	中之島の施設として科学館紹介
37	6/1	現代化学6月号	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
38	6/5	月刊天文ガイド 7月号	月刊うちゅうの紹介
39	6/5	ホンダアクセス Instagram（kosodate_hondaaccess）	【西日本】「天体・宇宙」を学べるスポット4選として、科学館の施設概要を紹介

40	6/10	いちょう並木6月号	ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショー・企画展「プラネタリウム100年」、ミュージアムトピックスにプラネタリウム「GALAXY ～銀河の生い立ちを探る～」の紹介
41	6/10	子供の科学　第88号巻7号	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
42	6/10	歩く地図　大阪散歩	科学館概要紹介
43	6/17	大阪公立大学(Web)	「月刊うちゅう」に大阪公立大学関連の情報が掲載されたことを紹介
44	6/17	大阪公立大学X	「月刊うちゅう」に大阪公立大学関連の情報が掲載されたことを紹介
45	6/19	大阪ミュージアムズX	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
46	6/25	博物館研究 7月号	展覧会（科学）に企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
47	6/27	関西もっと知りたいDAY!(Web)	「世代を超えて愛されてきた美術館・博物館」として大阪市立科学館を掲載
48	6/28	Steenz 7月7日は七夕。星空へ思いを馳せるイベントをチェック！(Web)	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
49	6/29	るるぶ&more【大阪】雨の日でも楽しめるお出かけスポット27選(Web)	科学館概要紹介
	＜7月＞		
50	7/1	日経サイエンス　第55巻第7号	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
51	7/1	まっぷる超詳細！大阪さんぽ地図	科学館概要紹介
52	7/1	阪神ハイウェイ　238号	科学館、大阪市立電気科学館について（嘉数学芸員への取材内容を掲載）
53	7/2	ハッピークーポン大阪市版夏号	プラネタリウム「ファミリータイム」の紹介
54	7/5	大阪デスティネーションキャンペーンガイドブック「来てな！OSAKA」	科学館概要紹介
55	7/7	Newton　2025年7月号	企画展「プラネタリウム100年」の紹介
56	7/8	大阪大学工学部・大学院工学研究科HP	「光で冷える半導体」が大阪市立科学館で展示開始
57	7/8	大阪大学工学部・大学院工学研究科Instagram	「光で冷える半導体」が大阪市立科学館で展示開始
58	7/9	今井 アンジェリカさん(モデル)X	奈良テレビ「いい福みつけ旅」放送のお知らせとして、当館で撮影した写真を紹介
59	7/10	いちょう並木　7月号	ミュージアム情報にプラネタリウム、サイエンスショー、企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
60	7/10	NAVITIME Travel(Web)	科学館概要紹介

61	7/10	子どものためのイベントガイドタッチ夏号(Web)	サイエンスショー、プラネタリウム、企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
62	7/11	大阪シティバス　バスさんぽ(Web)	夏のプラネタリウムプログラム・サイエンスショー・企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介、科学館概要紹介
63	7/14	ぷらっと阪急(Web)	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
64	7/19	大阪ミュージアムズHP	イベントギャラリーに企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
65	7/20	星と夜空の大百科	科学館プラネタリウムの紹介
66	7/22	学研の図鑑LIVE　宇宙	科学館概要紹介
67	7/25	博物館研究 8月号	展覧会（科学）に企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
68	7/29	大阪ミュージアムズX	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
69	7/31	大阪シティバス　バスさんぽ(Web)	科学館概要紹介
	＜8月＞		
70	8/1	まっぷる　星と天体観測と旅の本	科学館概要、プラネタリウムの紹介
71	8/1	暮らしの百科 8月号	科学館概要紹介、企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」、プラネタリウム「GALAXY」の紹介（石坂学芸員）
72	8/4	ことりっぷweb 感動の星空体験。一度は行きたい全国のプラネタリウム&洞窟イベント11選(Web)	科学館プラネタリウムの紹介
73	8/5	MIMARU公式サイト	科学館概要
74	8/7	Newton　2025年8月号	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
75	8/10	いちょう並木8月号	ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショー・企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」、「うちのイチ押し！」に大阪の宝を紹介
76	8/18	じゃらん「子どもの学びになりそうな博物館・科学館ランキング」(Web)	科学館概要紹介
77	8/25	いこーよ(Web)	大阪市立科学館の紹介
78	8/25	大阪博Webサイトおさんぽミュージアム	「大人の科学館デート！」として、大阪市立科学館を紹介
79	8/25	博物館研究 9月号	展覧会（科学）に日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考えるMIRAI-Bit」の紹介
80	8/27	大阪ミュージアムズYouTube	「大阪の宝シリーズ 第5弾」として、カールツアイスⅡ型投影機の紹介（嘉数学芸員出演）

81	8/28	大阪ミュージアムズX	「大阪の宝シリーズ 第6弾」として、カールツアイスⅡ型投影機の紹介動画（嘉数学芸員出演）の紹介
82	8/28	関西ラジオワイドX	「関西　時の人」として嘉数学芸員を紹介、「大阪の宝」についての番組アナウンス
83	8/29	関西ラジオワイド(Web)	「関西　時の人」として嘉数学芸員を紹介、「大阪の宝」についての番組アナウンス
84	8/29	関西ラジオワイドX	「関西　時の人」として嘉数学芸員を紹介、「大阪の宝」についての番組アナウンス
85	8/29	関西ラジオワイドX	「関西　時の人」として嘉数学芸員を紹介、「大阪の宝」についての聴き逃し配信アナウンス
86	8/29	大阪ミュージアムズ Instagram	「大阪の宝」シリーズとしてカールツアイスⅡ型を動画で嘉数学芸員が解説・YouTube 動画の紹介
	＜9月＞		
87	9/1	日経サイエンス　第55巻第9号	企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」の紹介
88	9/1	全科協News vol.55 No.4No.5合併	日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」の紹介
89	9/9	大阪歴史博物館X	大阪の宝の紹介（嘉数学芸員）
90	9/10	Osaka Metroの沿線情報誌　Metrono Vol.14	科学館展示場の紹介、嘉数学芸員のコメント掲載
91	9/10	いちょう並木9月号	ミュージアム情報にプラネタリウム、サイエンスショー、日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」の紹介
92	9/11	るるぶ&more 大阪府おすすめ博物館11選！(Web)	科学館概要紹介
93	9/20	大阪ミュージアムズX	企画展「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」の紹介
94	9/22	大阪ミュージアムズX	プラネタリウムプログラムの紹介
95	9/25	博物館研究 10月号	展覧会（科学）に日本科学未来館巡回展示「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」の紹介
96	9/27	NAKANOSHIMA PAVILION FESTIVAL 2025	企画展「生成AIとの対話から未来を考える MIRAI-Bit」の紹介
97	9/30	京阪webサイト　中之島でリバーサイドミュージアムめぐり	科学館概要紹介
	＜10月＞		
98	10/1	大阪近辺類縁機関案内(Web)	科学館の紹介
99	10/1	京阪電車ナゾ巡りガイドブック	科学館概要紹介
100	10/1	わがまち北区 10月号	プラネタリウム「星の降る夜に」の紹介

101	10/1	現代ビジネス内コラム「大阪ワンダーランド」(Web)	科学館概要紹介（嘉数学芸員への取材内容掲載）
102	10/3	月刊星ナビ　第26巻第11号通巻301号	うちゅう497号の紹介
103	10/10	いちょう並木10月号	ミュージアム情報にプラネタリウム、サイエンスショーの紹介
104	10/15	オリジナル・サウンドトラック　夜ドライつか、無重力の宙（そら）で	ブックレットにドラマロケ地のツアイスⅡ型投影機の画像提供
105	10/16	ドイツ総領事館 X	サーキュラーの大阪市立科学館寄贈について
106	10/16	Yahoo!ニュース(Web)	万博ドイツ館のサーキュラーちゃん、大阪市内に一部“居住”へ、の記事にてサーキュラーが大阪市立科学館に寄贈されたことを紹介
107	10/17	Yahoo!ニュース(Web)	大阪万博ドイツ館の人気マスコット「サーキュラー」が“大阪残留”。市立科学館への一部寄贈に歓喜の声
	＜11月＞		
108	11/1	だいしんNOW No.268	プラネタリウム「星の一生」の紹介
109	11/1	全科協News vol.55 No.6	企画展「静電気の世界」の紹介
110	11/3	中之島ウエスト冬ものがたり2025	プラネタリウム「星の一生」の紹介
111	11/5	天文ガイド12月号	「地上の星を訪ねて」コーナーに野村学芸員のインタビュー掲載
112	11/10	いちょう並木11月号	学芸員のおススメコレクション「王立協会学術紀要・第90号」の紹介（嘉数学芸員）・ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショーの紹介
113	11/12	電気計算　第93巻第11号	科学館概要紹介
114	11/20	Lab BRAINS (Web)	「サイエンスブックフェスタ」等の紹介
115	11/25	博物館研究 12月号	展覧会（科学）に企画展「静電気の世界」の紹介
116	11/28	大阪ミュージアムズInstagram	おさんぽミュージアムとして、動画で大阪市立科学館を紹介
117	11/30	PREMIUM OUTLETS TIMES(Web)	【大阪】雨の日でも楽しめる大阪の定番デートスポット9選！二人の距離が近づく屋内施設を紹介にて、科学館概要紹介
	＜12月＞		
118	12/1	近鉄ニュース　第932号	企画展「静電気の世界」の紹介
119	12/4	SCREENホールディングス(Web)	企画展「静電気の世界」に、微生物汚染リスクモニタリングシステム「ELESTA PixeeMo」を出展のお知らせ
120	12/5	大阪ミュージアムズHP	企画展「静電気の世界」の紹介
121	12/5	iwafu(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介
122	12/5	Tokyo Live&Exhibits(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介
123	12/5	ウォーカープラス(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介

124	12/8	ぷらっと阪急(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介
125	12/8	子供の科学　Web 版	企画展「静電気の世界」の紹介
126	12/9	大阪ミュージアムズ X	企画展「静電気の世界」の紹介
127	12/10	るるぶ大阪ベスト 27	おでかけカタログの欄に、科学館について紹介
128	12/10	子供の科学 2026 年 1 月号	企画展「静電気の世界」の紹介
129	12/10	いちょう並木 12・1 月合併号	ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショー・企画展「静電気の世界」の紹介
130	12/16	関西ラジオワイド（web）	企画展「静電気の世界」についての番組アナウンス
131	12/16	関西ラジオワイド X	企画展「静電気の世界」についての紹介
132	12/16	関西ラジオワイド X	企画展「静電気の世界」についての聴き逃し配信アナウンス
133	12/16	大阪スケジュール(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介
134	12/17	ラジオ関西トピックス ラジトピ(Web)	企画展「静電気の世界」の紹介
135	12/17	ウォーカープラス(Web)	関西スポットランキング 1 位として大阪市立科学館を掲載
136	12/18	大阪観光局公式サイト OSAKAINFO	イベント情報欄へ 企画展「静電気の世界」掲載
137	12/25	博物館研究 1 月号	展覧会（科学）に企画展「静電気の世界」の紹介
138	12 月末	KEIHAN 観光・おでかけページ(Web)	大阪市立科学館の紹介
	＜1 月＞		
139	1/1	わがまち北区 1 月号	プラネタリウム「宇宙ヒストリア」の紹介
140	1/1	全科協 vol.56 No.1	企画展「静電気の世界」紹介
141	1/7	日刊工業新聞（Web）	「TRINC、大阪市立科学館で実演　イオン効果で静電気除去」というタイトルで企画展「静電気の世界」の話題
142	1/20	大阪ミュージアムズ X	冬のプラネタリウム「星の一生」「宇宙ヒストリア」の紹介
143	1/31	くわがた 心さん(タレント)X	KBS 京都「SUNNY TIME」中継先として、当館で撮影した写真を紹介
	＜2 月＞		
144	2/1	いちょうネット（Web）	プラネタリウム他科学館イベント情報掲載
145 ～ 168	2/1	大阪市広報紙「大阪市民のみなさんへ」24 区分	プラネタリウム「星の一生」「宇宙ヒストリア」の紹介
169	2/10	いちょう並木 2 月号	ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショーの紹介
170	2/10	Lmaga.jp（Yahoo!ニュース）（Web）	X にサーキュラートレンド入り、から「手持ちデバイス展」の紹介

171	2/13	「Adventure×Education 近畿の学び×遊び」（近畿大学文芸学部の学生制作フリーペーパー）	科学館概要紹介
172	2/16	もっと！大阪ミュージアムズFacebook	大阪市立科学館の紹介
173	2/18	ABCラジオ「おはようパーソナリティ小縣裕介です / 古川昌希です」X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」についてアナウンス
174	2/18	ABCラジオ「おはようパーソナリティ小縣裕介です / 古川昌希です」X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介、渡部学芸員出演の紹介
175	2/18	ウォーカープラス(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
176	2/18	ウォーカープラス GWイベントガイド(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
177	2/18	いこーよ(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
178	2/19	梅田経済新聞（Web）	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
179	2/19	梅田経済新聞（Yahoo!ニュース）	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
180	2/19	梅田経済新聞X・Facebook	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
181	2/19	大阪スケジュール(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
182	2/19	ABCニュース（関西ニュース）（Web）	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
183	2/19	共同通信社（Yahoo!ニュース）	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
184	2/19	産経新聞（Web）	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
185	2/20	在大阪・神戸米国総領事館X	スペース・ローンチ・システム（SLS）のロケット模型が、大阪市立科学館に寄贈
186	2/20	大阪ミュージアムズX	SLSロケット模型の寄贈について
187	2/20	カンテレNEWS(Web)	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
188	2/20	NHK ONE(Web)	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
189	2/20	読売新聞オンライン	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLSロケット模型受贈記念式典」について紹介
190	2/25	FM802 TACTY IN THE MORNING X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
191	2/25	ぷらっと阪急(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介

192	2/26	大阪ミュージアムズ Instagram	SLS ロケット模型、手持ちデバイス展の紹介
193	2/26	関西ラジオワイド(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」についての番組アナウンス
194	2/26	関西ラジオワイド X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
195	2/26	関西ラジオワイド X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の聴き逃しアナウンス
196	2/26	OSAKAINFO 大阪公式観光情報(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
197	2/27	号外 NET 大阪市(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
198	2 月末	大阪市 LINE 公式アカウント	プラネタリウム「星の一生」「宇宙ヒストリア」の紹介
199	2 月末	大阪公立大学　キャンパスメンバーズ制度ページ(Web)	無料で利用できる施設・利用範囲として大阪市立科学館を紹介
	＜3 月＞		
200	3/1	ドクターのための情報誌【医師協タイムズ】2026 年 3 月号	特集「日本初は大阪発！プラネタリウム物語」として電気科学館・大阪市立科学館のプラネタリウムの紹介。嘉数学芸員のインタビューの掲載。
201	3/1	わがまち北区 3 月号	プラネタリウム「彗星ってどんな星？」の紹介
202～225	3/1	大阪市広報紙「大阪市民のみなさんへ」24 区分	サイエンスショーの紹介
226	3/1	B-plus 電子情報通信学会 通信ソサエティマガジン	大阪市立科学館施設概要紹介
227	3/4	大阪ミュージアムズ HP	トップページにプラネタリウム「彗星ってどんな星？」「ORIGIN 太陽系のはじまりを求めて」のバナー掲載
228	3/5	大阪ミュージアムズ X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
229	3/7	同志社女子中学校・高等学校　こむらさき通信（ブログ）	同志社女子中学校・高等学校の中学１年生が大阪市立科学館で春期講習
230	3/9	るるぶ こどもとあそぼ！関西（2027 年版）	大阪市立科学館の紹介
231	3/10	いちょう並木 ３月号	学芸員のおススメコレクション「岩絵の具」（上羽学芸員）、ミュージアム情報にプラネタリウム・サイエンスショーの紹介、「うちの一押し！」コーナーにプラネタリウム「光が語る、星の一生」の紹介

232	3/13	日本経済新聞（web）	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介（有料コンテンツ）
233	3/13	日経関西X・Instagram	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介
234	3/15	子どものためのイベントガイド タッチ 春号(Web)	サイエンスショー・プラネタリウム ファミリータイム・「彗星ってどんな星？」・「ORIGIN 太陽系のはじまりを求めて」の紹介
235	3/16	大阪公立大学 MORINOMIYA Journal(Web)	Topics「それぞれの楽しみ方ができる！大阪市立科学館」として、大阪市立科学館の紹介
236	3/17	Expo2025 大阪・関西万博X・Instagram・Facebook	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」・SLS ロケット模型の紹介
237	3/17	テーマパークメディア ハピエル(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介
238	3/17	テーマパークメディア ハピエル【公式】X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介
239	3/19	読売新聞オンライン	同志社女子中学校・高等学校の中学１年生が大阪市立科学館で春期講習の記事
240	3/22	産経ニュース(Web)	万博のレガシーとして SLS ロケット模型について紹介
241	3/24	プラネタリウム 100 周年記念事業 #Planetarium100 X	【天文宇宙 100 年振り返り】としてコニカミノルタプラネタリウム（株）の話題に科学館のインフィニウムΣの画像掲載
242	3/25	大阪ミュージアムズX	ミュージアム連続講座 2025　プラネタリウム「光が語る、星の一生」（渡部学芸員講演）
243	3/25	【公式】大阪市広報X・大阪市 LINE 公式アカウント	サイエンスショーの紹介
244	3/25	TECH+(Web)	「第 315 回どこでもサイエンス」に新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の感想記事
245	3/25	【公式】TECH+（テクノロジー）X	「第 315 回どこでもサイエンス」に新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の感想記事
246	3/26	Newton5 月号（紙・電子版）	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」について紹介
247	3/26	PR TIMES(Web)	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に、クラゲ館のデバイス追加について
248	3/26	PR TIMES X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に、クラゲ館のデバイス追加について
249	3/26	PR TIMES エンタメ X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に、クラゲ館のデバイス追加について

250	3/26	「大阪・関西万博応援マガジン EXPOST」X	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」に、クラゲ館のデバイス追加について
251	3/30	大阪ミュージアム(Web)	大阪市の博物館・美術館情報として科学館の紹介
252	3/30	電波新聞 (Web)	万博のレガシーのひとつとして、新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」の紹介

2－6)有料広告等

区分	件名		概要
固定広告	Osaka Metro(地下鉄)肥後橋駅周辺案内図		年間契約
	JR 福島駅周辺案内図		年間契約
	JR 新福島駅周辺案内図		年間契約
	京阪中之島線渡辺橋駅周辺案内図		年間契約
	阪神電鉄福島駅周辺案内図		年間契約
	Osaka Metro(地下鉄)市政広報板ポスター掲出		8 路線 各駅(105 か所)×2 週間　4 回
	京阪電車駅構内「大阪ミュージアムインフォメーション」常設案内コーナー　B2 判ポスター掲出		年 4 回
その他	Osaka Metro 駅構内 共用掲示板 ポスター掲出、チラシ設置		(ポスター) 22 駅×1 ヶ月 2 回 (チラシ)　22 駅×1 ヶ月 1 回 21 駅×1 ヶ月 2 回
	わが街NAVI (イオンモール大阪ドームシティサイネージ) ポスター静止画掲出		1 ヶ月放映
	大阪ミュージアム情報発信媒体　だいしんビデオ 大阪信用金庫　デジタルサイネージ　催事情報掲出		69 店舗×約 1 ヶ月
	近鉄百貨店上本町店 1 階ウインドウ内設置モニター デジタルサイネージ		随時掲出
	大阪市立中央図書館　専用チラシラック設置		科学館だより等の催事チラシを適宜入替
	SNS 広告配信 (Instagram)		2026 年 1 月 11 日から 2 月 7 日まで 総表示回数 411,364 回
	当館内・外	屋外 デジタルサイネージ	随時更新
		屋外 ガラスボード	2024 年 8 月更新
		屋外 正面玄関 記念撮影シート	2024 年 8 月更新
		正面玄関インフォメーションボード	随時更新
		イベント情報チラシ発送	約 90 か所×4 回
		QR Translator	適宜更新
		ホームページ管理	事業内容、総合案内など紹介

(3)プレスリリース

プレスリリースを通じて、科学館事業の広報周知をはかった。2025 年度におけるリリースは、以下のとおりである。

リリース日	リリース内容
4 月 16 日	星と人をつないで 1 世紀 企画展「プラネタリウム 100 年 ープラネタリウムの過去・現在・未来ー」開催！
5 月 21 日	科学が明かす、見えない天体への挑戦 企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」開催！
6 月 18 日	新作プラネタリウム公開中！ 「いて座の楽しみ方」「GALAXY ～銀河の生い立ちを探る～」※
9 月 10 日	秋のひとときに科学の楽しさを！イベント情報のご案内※
11 月 26 日	ビリッとする、だけじゃない。 12 月 5 日(金)から企画展「静電気の世界」開催！
2 月 4 日	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」のご案内
2 月 10 日	新収資料展「万博体験のパートナー、手持ちデバイス展」 ―パビリオンの体験を豊かなものにした「手持ちデバイス」の実物を公開―
2 月 17 日	大阪・関西万博アメリカパビリオン「SLS ロケット模型受贈記念式典」 開催直前のご案内

※メールマガジンのみ送付

(4)その他 広報印刷物

館内で印刷したものを除いて、以下の印刷物を発行した。

内容	規格
総合案内リーフレット（日本語・英語）	A4（巻き三つ折り）
夏のプラネタリウム ポスター「GALAXY～銀河の生い立ちを探る～」他	B2
秋のプラネタリウム ポスター「見えてきた系外惑星」他	B2
冬のプラネタリウム ポスター「星の一生」他	B2
春のプラネタリウム ポスター「彗星ってどんな星？」他	B2
イベント情報チラシ 科学館だより vol.68（6 月～8 月のイベント情報）	A3（二つ折り加工）
イベント情報チラシ 科学館だより vol.69（9 月～11 月のイベント情報）	A4
イベント情報チラシ 科学館だより vol.70（12 月～2 月のイベント情報）	A4
イベント情報チラシ 科学館だより vol.71（3 月～5 月のイベント情報）	A4
企画展「プラネタリウム 100 年 ープラネタリウムの過去・現在・未来ー」チラシ	A4
企画展「極限時空・ブラックホールと重力波」チラシ	A4
企画展「静電気の世界」チラシ	A4
企画展「時を知りたい ～時をはかる・表現する」チラシ	A4
「電気記念日スペシャルイベント 2026」チラシ	A4
スペシャルナイト「プラネタリウム 100 周年クロージングイベント」 当日配布チラシ	A4

10. 売店事業

天文・科学関連の商品をはじめ、ミニブックやオリジナルグッズ等の商品の販売を行った。

クレジットカード決済は、件数で 19.6%、金額で 24%の利用、電子マネー決済は、件数で 14.7%、金額で 5%の利用、コード決済は、件数で 15.3%、金額で 13%の利用があった。

2021 年度より公式ネットショップを開設し商品の販売を行っている。5 年目に当たる 2025 年度は「メダル」の売り上げが好調であった。

＜参考＞　売れ筋商品ベスト５

１．数量		２．金額	
１位	天体マグネットガチャ	１位	天体マグネットガチャ
２位	宇宙航空ガチャ	２位	スペースフードたこやき
３位	クネクネカラフル鉛筆	３位	宇宙航空ガチャ
４位	カラーメダル	４位	カラーメダル
５位	スペースフードたこやき	５位	スペースフードバニラ

≪2025 年度オリジナル商品≫

A4 クリアファイル

クリップボールペン

B5 ノート

カールツアイスⅡ型
学天則アクリル
キーホルダー

A6 ノート

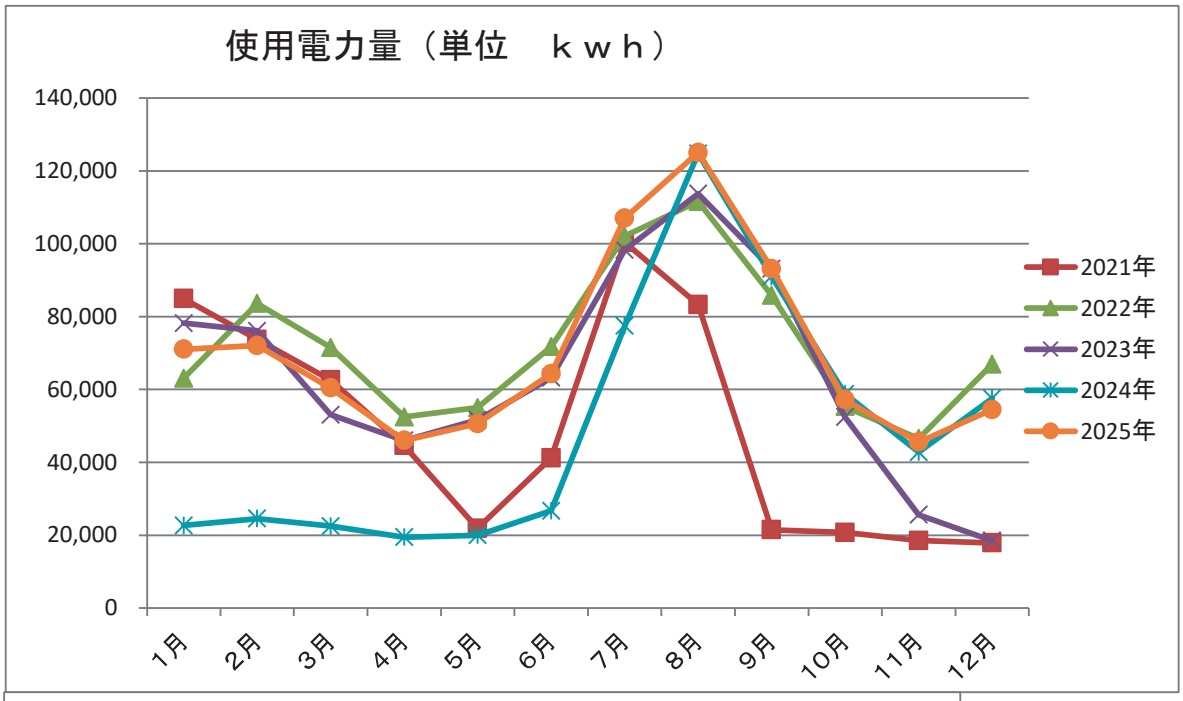
11. 電力量料金の推移

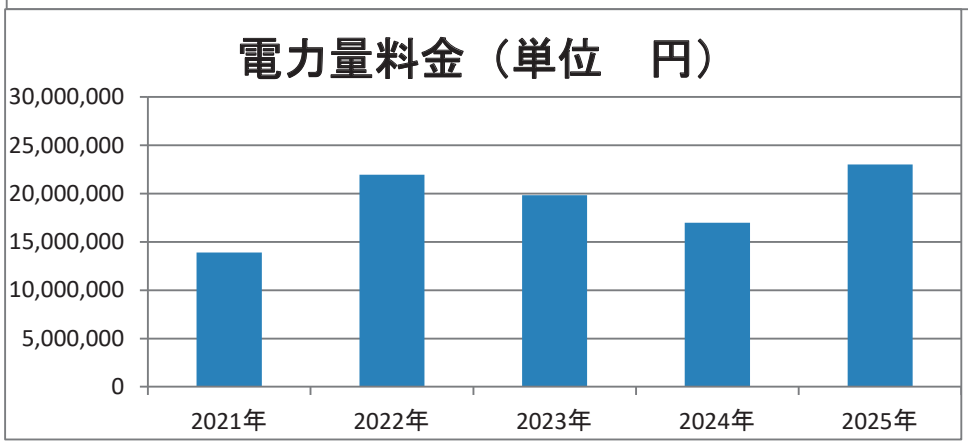
（1）過去５カ年の各月使用電力量と電力量料金の推移（2021年1月～2025年12月）

注）　2021年11月23日から契約電気を特別高圧電力から高圧電力に変更
2021年4月25日～6月21日　臨時休館（新型コロナウィルス感染症拡大防止のため）
2021年8月23日～2022年2月1日　大規模修繕工事にて全面休館
2023年11月6日～2024年7月31日　リニューアル工事等にて全面休館

月	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
１月	84, 914	63, 069	78, 185	22, 686	71, 056
２月	73, 727	83, 628	76, 109	24, 559	72, 061
３月	62, 623	71, 503	53, 079	22, 509	60, 398
４月	44, 614	52, 475	45, 998	19, 452	46, 010
５月	21, 886	55, 028	51, 645	19, 973	50, 590
６月	41, 222	71, 732	63, 214	26, 731	64, 318
７月	100, 365	102, 132	98, 347	77, 444	107, 026
８月	83, 290	111, 610	113, 771	124, 794	125, 042
９月	21, 465	85, 802	93, 086	90, 989	93, 165
１０月	20, 742	55, 332	52, 395	58, 802	57, 169
１１月	18, 532	46, 529	25, 597	42, 792	45, 556
１２月	17, 858	66, 952	18, 505	57, 548	54, 485
合計	591, 238	865, 792	769, 931	588, 279	846, 876

・料金（税込）	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	13, 909, 493	21, 970, 622	19, 828, 336	16, 978, 668	23, 018, 901





12. イベント・その他

(1)開館時間延長

【プラネタリウム１回延長】(展示場は通常通り 17 時まで)

・土曜日・日曜日・祝休日及び8 月 12 日～15 日

(2)七夕まつり

7 月 1 日～8 日の 7 開館日、正面玄関横に笹飾りを設置した。

(3)展示場の無料開放

展示場は小人(中学生以下)に対して通年、無料開放している。

(4)北側広場の大道芸パフォーマンスへの開放

土、日、祝日及び夏・冬・春休み期間を中心に、パフォーマーに活動の場を提供した。

(5)駐車場の管理運営

お客様のサービス向上のため、予約バス、一般車両及びバイクシェア事業を受け入れている。

(6)自動販売機の設置

お客様サービスのため、駐車場北側のテント内に飲料自動販売機を 6 台設置している。2025 年度の総売上個数は 53,966 個であった。

(7)Wi-Fi の設置

お客様のサービス向上のため、館内に無料 Wi-Fi(Osaka Free Wi-Fi)を設置している。

(8)インターネット予約購入システム

お客様の利便性向上のため、プラネタリウム及び展示場の個人観覧券をインターネットから事前に購入できるシステムで運用している（来館日の 7 日前から投影１時間前まで購入可能、キャンセルは午前 9 時まで)。また、障がい者等手帳をお持ちの方、大阪市内在住 65 歳以上の方の無料観覧券が、有料の方と一緒であれば購入できるようにしている。

(9)キャッシュレス決済

チケットカウンターではクレジット決済システムを導入している。

また、ミュージアムショップではクレジット決済システム及び電子マネー決済を導入している。

(10)クリスマス

12 月 5 日～25 日の期間、正面玄関横にクリスマスツリーを設置した。

(11)国際交流

大阪・関西万博の開催により、当館にも万博の関係者、出展している各国からの博物館関係者等の視察・交流があった。当館での対応は以下のとおり。

来館日	国	来館者	対応者	内　容
5 月 16 日（金）	オーストラリア	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）副館長等５名	吉岡　克己 上羽　貴大 吉岡　亜紀子	館概要説明・サイエンスショー見学 サイエンスショー交流
5 月 18 日（日）	オーストラリア	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）職員	上羽　貴大	サイエンスショー研究会及び実演

5月20日（火）	タイ	タイ国立科学博物館 職員	上羽　貴大	展示場及びサイエンスショー見学 サイエンスショーの企画運営について説明
5月23日（金）	チリ	万博チリパビリオンイベント関係者4名	吉岡　克己 渡部　義弥	天文教育について懇談、展示場視察
6月17日（火）	アメリカ	IPS会長 （Abrams Planetarium 館長）	吉岡　克己	JPA参加者対応、展示場視察
6月19日（木）	ベルギー	ヴェサリウス解剖学博物館学術部長等3名	吉岡　克己 小野　昌弘	館概要説明、意見交換、展示場視察
7月9日（水）	中国	寧波（ニンボウ）科学探求センター（市立科学館）中学生9名、引率4名	渡部　義弥	展示場視察・1時間ほど科学の話題解説
7月19日（土）	ASPAC（アジア太平洋地域科学館協会）	ASEAN諸国の科学館関係者20名	吉岡　克己 上羽　貴大	ASPACの次世代リーダー育成マスタークラスの開催・次世代リーダーを対象としたリーダーシップ研修 午前：概要説明、展示場見学 午後：ワークショップ
7月19日（土）	タイ	タイ国立科学博物館 副館長等8名	吉岡　克己 小野　昌弘	館施設説明、展示場視察
7月20日（日）	オーストラリア	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）職員	小野　昌弘 上羽　貴大 科学デモンストレーター（吉岡　亜紀子、林陽一郎、益　都子、吉田　愛）	科学デモンストレーターとクエスタコン職員がオーストラリアパビリオンで行う浮力の実験ショーの実演 実演：12：00、15：00
7月20日（日）	オーストラリア	オーストラリア国立科学技術センター（クエスタコン）館長	吉岡　克己	今後の連携と現状について
7月23日（水）	ブルガリア	Children Science Center MUZEIKO 館長、ソフィア市 副市長等3名	吉岡　克己 小野　昌弘	館概要説明、展示場視察
8月9日（土）	韓国	国立大邱科学館職員4名	なし	展示場自由見学
8月19日（火）	クウェート	Kuwait TV プロデューサー	吉岡　克己 竹浦　雅美	館概要説明、展示場見学、館長・来館者インタビューなど
9月30日（火）	タイ	タイ研究評議会（NRCT）12名	吉岡　克己 渡部　義弥	館概要説明、展示場視察
10月24日（金）	マレーシア	マレーシア国立プラネタリウム副館長等3名	吉岡　克己 渡部　義弥	プラネタリウム見学

3部　資料編

1. 科学館概要

館　長	吉岡　克己
所在地	〒530-0005　大阪市北区中之島四丁目２番１号
電　話	06-6444-5656（代表）
ファックス	06-6444-5657
ホームページ	https://www.sci-museum.jp/
開　館	1989年10月７日
設置目的	自然、科学及び科学技術に関する資料等を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、当該資料等に関する調査研究及び普及活動を通じて、市民の文化と教養の向上を図るとともに、学術の発展に寄与することを目的とする。 （以上、大阪市博物館機構定款第一条より該当部分抜粋による）
主な事業	・自然、科学および科学技術に関する実物、標本、現象に関する資料その他資料（以下「博物館等資料」という。）を収集（制作及び寄託を含む）し、保管し、プラネタリウム投影を含む公衆の観覧に供する。 ・次に掲げる博物館等資料に関する国内外の資料及び情報を収集し、整理し、提供する。 （１）図書、逐次刊行物、研究成果報告書、調査報告書、地図、絵図、拓本等 （２）写真、スライド、マイクロフィルム、磁気媒体、光ディスク等 （３）その他の情報及び資料 ・次に掲げる調査研究を行う。 （１）博物館等資料に関する調査研究 （２）博物館等資料の保存及び管理方法並びに展示方法に関する調査研究 （３）その他博物館等資料の収集、保管、及び公衆の観覧の充実に資する調査研究 ・博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びに前条の調査研究に関する教育及び普及の事業を行う。 （１）講演会、講座、シンポジウム、展示解説、ワークショップ、観察会等の開催 （２）アマチュアや専門研究をめざす者等への指導・助言 （３）定期刊行物、展覧会図録、ガイドブック、研究報告書等の刊行及びホームページ等を通じた情報の提供 ・施設の提供や協働事業を通じて、市民が自らの学習の成果を活用して行う教育活動機会の提供とその奨励を行う。 ・博物館等資料を国内外の博物館その他これに類する施設と貸借し、及び交換することができる。 （以上、地方独立行政法人大阪市博物館機構業務方法書による）
展示点数	229点
資料点数	15,040点
プラネタリウム	ドーム　直径26.5m　座席数267席（うち車いすスペース５席分） 本　機　インフィニウムΣ-OSAKA (2019年、コニカミノルタプラネタリウム製) 全天周映像システム メディアグローブΣＳＥ (2022年、コニカミノルタプラネタリウム製)

2. 沿革

大阪市立科学館は大阪市が市制100周年(1989年)記念事業の一つとして計画、関西電力株式会社からの寄贈申し出により実現の運びとなり、1989年10月開館した。

年月日	西暦	できごと
昭.58. 8.25	1983	大阪市制100周年記念事業基本構想の中に、新しい科学技術館の新設がうたわれる。
昭.61. 9.29	1986	関西電力㈱から大阪市制100周年に賛同し、関西の電気事業創業100年を記念して「科学技術館(仮称)」を建築して寄贈する旨、申し出
昭.62. 2. 9	1987	科学技術館展示構想委員会発足(委員10名で構成)、第1回展示構想委員会開催(以後開館までに6回開催)
昭.63. 1.27	1988	「科学技術館(仮称)」建築工事着工
昭.63.10. 7	1988	大阪市教育委員会内に科学技術館開設準備室設置
平.元. 4. 1	1989	大阪市立科学館条例制定、科学技術館(仮称)の名称を「大阪市立科学館」に決定
平.元. 5.31	1989	大阪市立電気科学館閉館
平.元. 7. 1	1989	大阪府教育委員会において財団法人大阪科学振興協会設立認可
平.元. 8.25	1989	建物施設完工、関西電力㈱から大阪市へ引き渡し
平.元.10. 7	1989	開館
平. 2.12.16	1990	入館者100万人達成
平. 5.12.25	1993	入館者300万人達成
平. 6. 7.29	1994	第一次展示改装
平. 8. 3.19	1996	博物館として登録される
平. 9. 5.18	1997	入館者500万人達成
平.11.10. 7	1999	第二次展示改装(展示場閉鎖9/1～10/6)
平.12.12.12	2000	所蔵するカールツアイスプラネタリウム投影機が大阪市指定文化財に
平.16. 7. 7	2004	プラネタリウム更新
平.17. 9.22	2005	条例改正。市条例第110号。指定管理者制度導入
平.18. 3. 2	2006	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定（2006/4/1～2008/3/31の2年間)
平.18. 6	2006	(財)大阪科学振興協会「5ヵ年の経営計画」策定
平.18. 9.28	2006	入館者1000万人達成
平.19. 4. 1	2007	科学館の所管局移管（教育委員会からゆとりとみどり振興局へ)
平.20. 2. 1	2008	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定（2008/4/1～2010/3/31の2年間)
平.20. 7.18	2008	第三次展示改装(展示場閉鎖5/7～7/17)
平.21.10. 7	2009	開館20周年記念式典
平.22. 2. 1	2010	(財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定（2010/4/1～2014/3/31の4年間)
平.23.12.11	2011	プラネタリウムホールプロジェクタ更新
平.24. 4. 1	2012	公益財団法人大阪科学振興協会への移行
平.25. 4. 1	2013	科学館の所管局移管（ゆとりとみどり振興局から経済戦略局へ)
平.25. 9.28	2013	入館者1500万人達成
平.26. 3. 7	2014	(公財)大阪科学振興協会が指定管理者に指定（2014/4/1～2019/3/31の5年間)
平.31. 3.30	2019	光学プラネタリウム更新、展示場一部改装
平.31. 4. 1	2019	地方独立行政法人大阪市博物館機構の設置、運営となる
平.31. 4. 1	2019	設置者が変わったため博物館法の規定により博物館登録を解かれる
令. 2. 2.29	2020	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(～5/20)
令. 3. 3.31	2021	博物館法における博物館相当施設に指定される
令. 3. 4.25	2021	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(～6/20)
令. 4. 2. 2	2022	全天周映像システム更新、展示場一部改装、地下トイレ改装、電気設備補修
令. 4. 8.27	2022	入館者2000万人達成記念イベント挙行
令. 5.11. 6	2023	第四次展示改装（全館休館11/6～7/31)
令. 6. 3.31	2024	博物館法における登録博物館に指定される
令. 6. 7.31	2024	展示場リニューアル記念式典・内覧会
令. 6. 8. 1	2024	展示場リニューアルオープン

3. 施設概要

(1)建物概要

所 在 地　大阪市北区中之島四丁目2番1号（大阪大学理学部跡地）
敷地面積　16,086.75㎡
建築面積　3,165.78㎡
延床面積　9,356.45㎡
構　　造　地下1階～2階鉄骨鉄筋コンクリート造
3階以上鉄骨造
施工期間　1988年1月～1989年8月

主要施設面積

階	階数別面積	主要個所の面積	
地下1階	3,065.4㎡	プラネタリウム480.0㎡　研修室205.5㎡　工作室87.8㎡	
1階	1,753.42㎡	1階展示場　344.0㎡	展示場合計　3,156.3㎡
2階	1,030.14㎡	2階展示場　421.9㎡	
3階	1,372.78㎡	3階展示場　996.0㎡	
4階	1,877.21㎡	4階展示場　1,394.4㎡	
塔屋1階	113.55㎡		
2階	75.83㎡		
3階	43.15㎡	天体観測室　25.8㎡	

寸法

階	階　高	天井高	
地下1階	4,000㎜	2,600㎜	最高高 40,500㎜
1階	8,500㎜	6,065㎜	
2階	6,500㎜	4,500㎜	建物高 31,000㎜
3階	6,500㎜	4,500㎜	
4階	6,000㎜	4,000㎜	

各室定員

プラネタリウム　客席数　267席(内、車椅子スペース5席分)
研修室　80人
工作室　50人
多目的室　120人

建物の特色

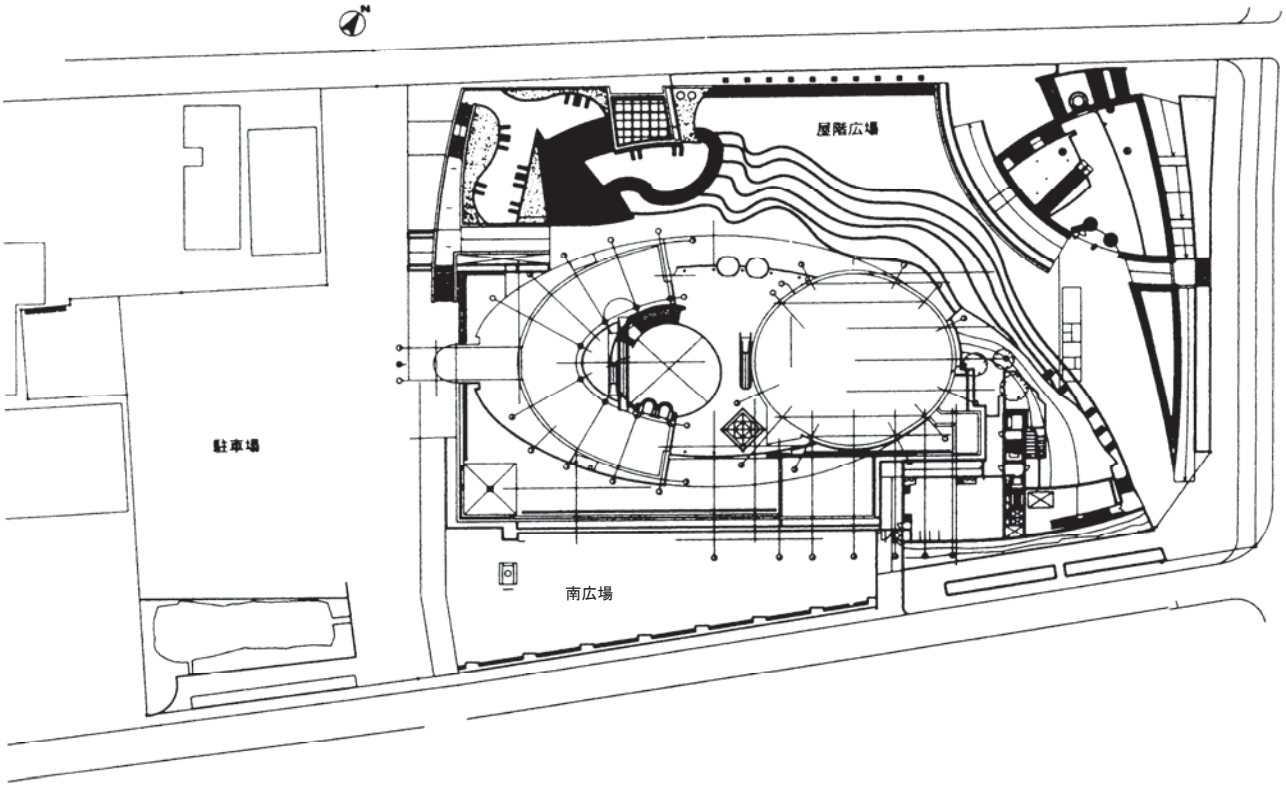
アトリウムを囲んで展示場、プラネタリウムを配した楕円形(惑星の軌道)の建物。
建物中央部の1階～3階の南北両側はガラス張りで見通し可能。プラネタリウムは、世界最大級の直径26.5mのドーム。エネルギー源は電気のみ。

造形作品

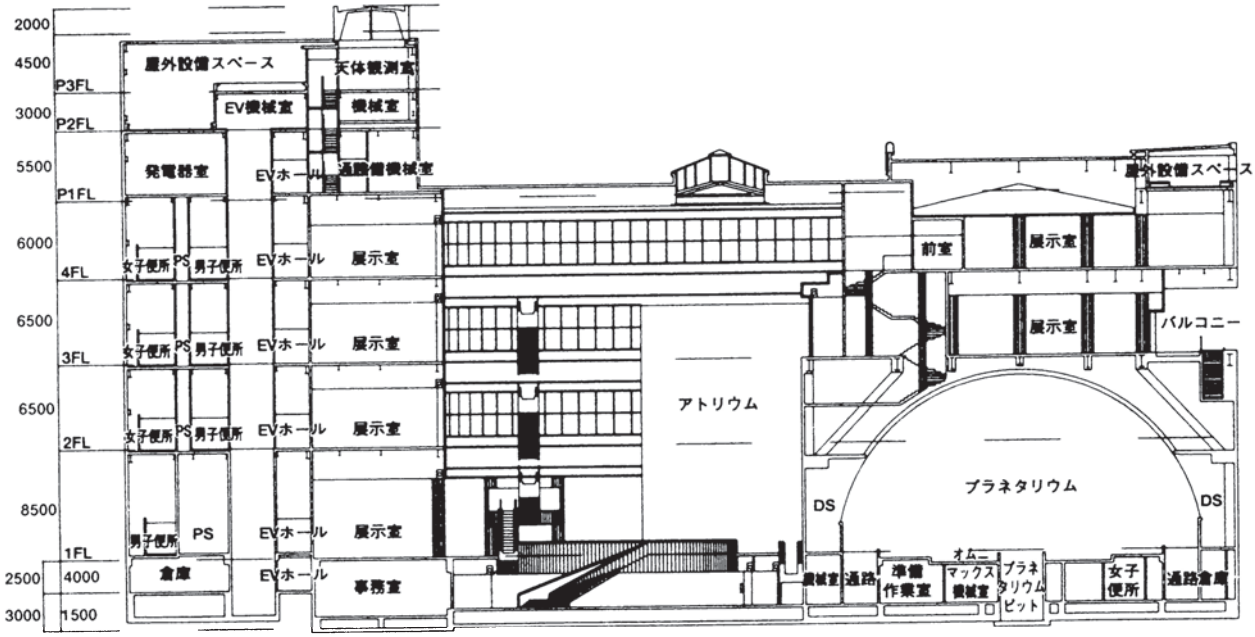
作品名	作　者	設置場所・概要
「遊々」	小田　信夫	アトリウム内壁 小鳥が飛ぶレリーフ
「ECHO」	清水　九兵衛	館東側　屋外 モニュメント
「太陽系」	西田　明末	エレベーター前 壁・床一体化したレリーフ
大阪大学理学部跡記念モニュメント	―――	北西側　屋外
旧町名継承碑		屋外

(2)配置図・断面図・各階平面図

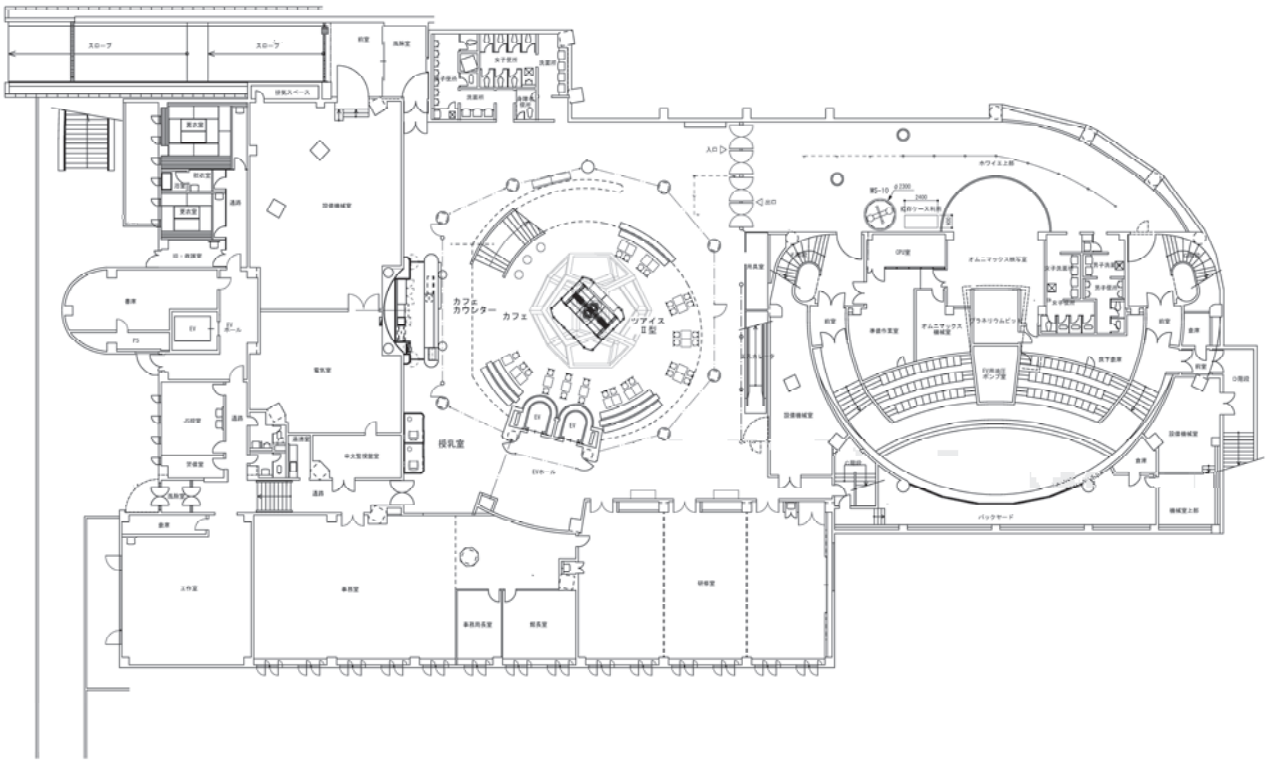
配　置　図



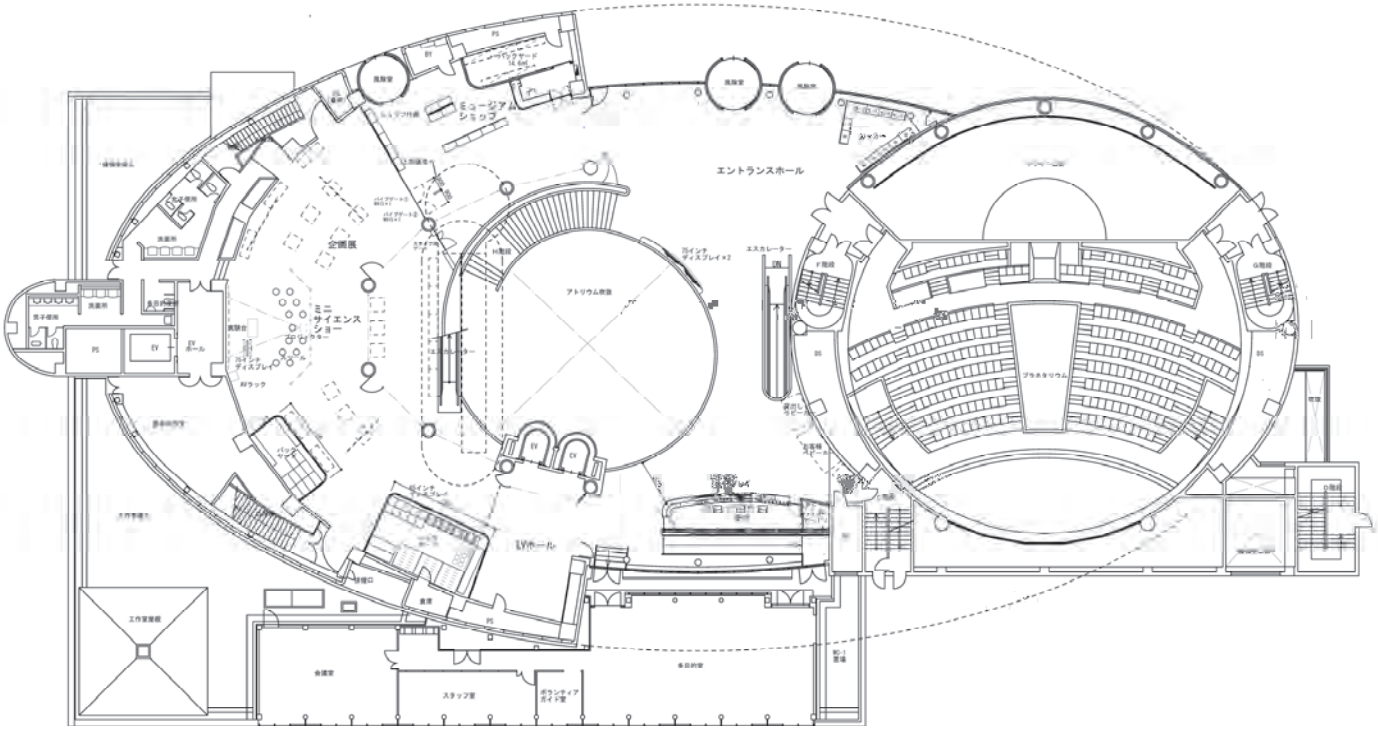
断　面　図



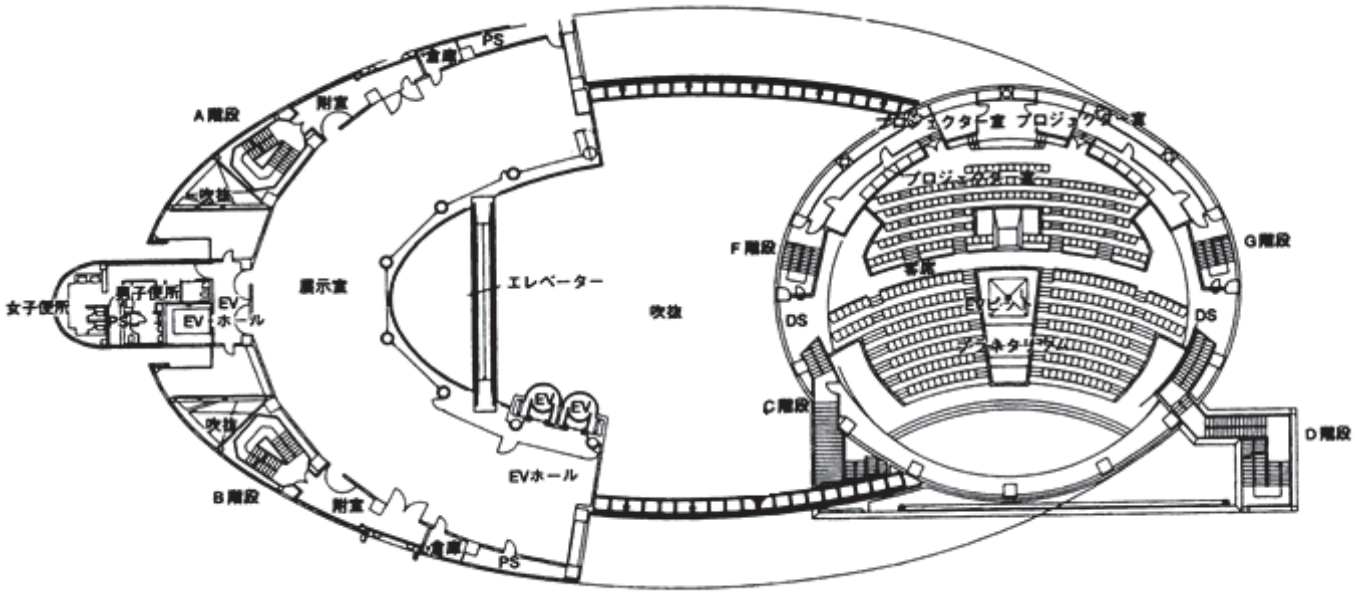
地下１階平面図



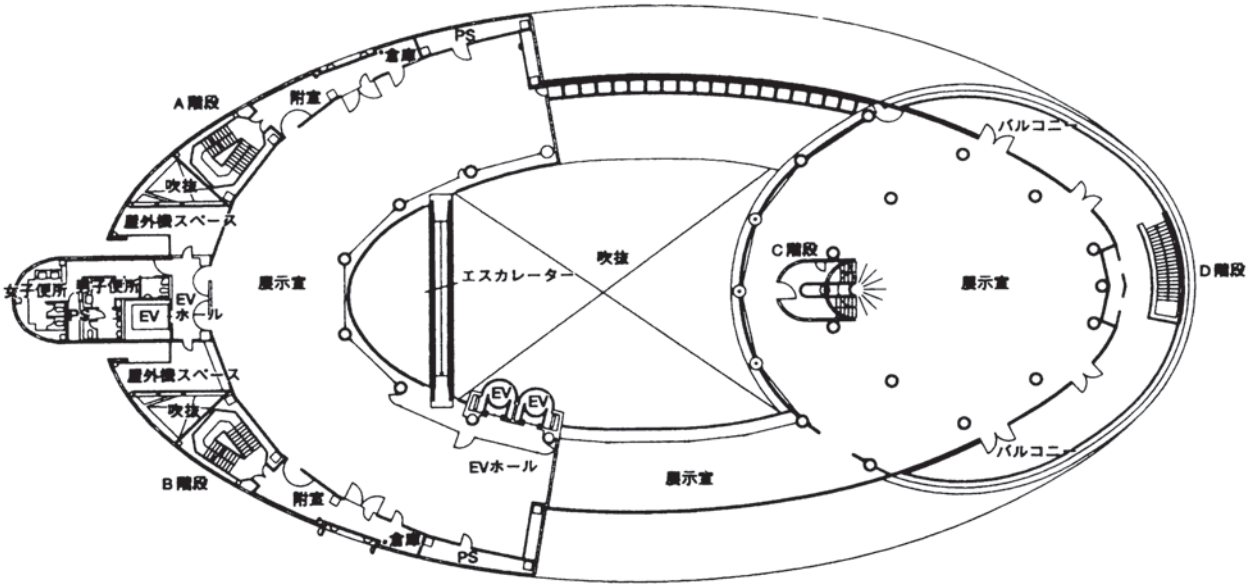
１階平面図



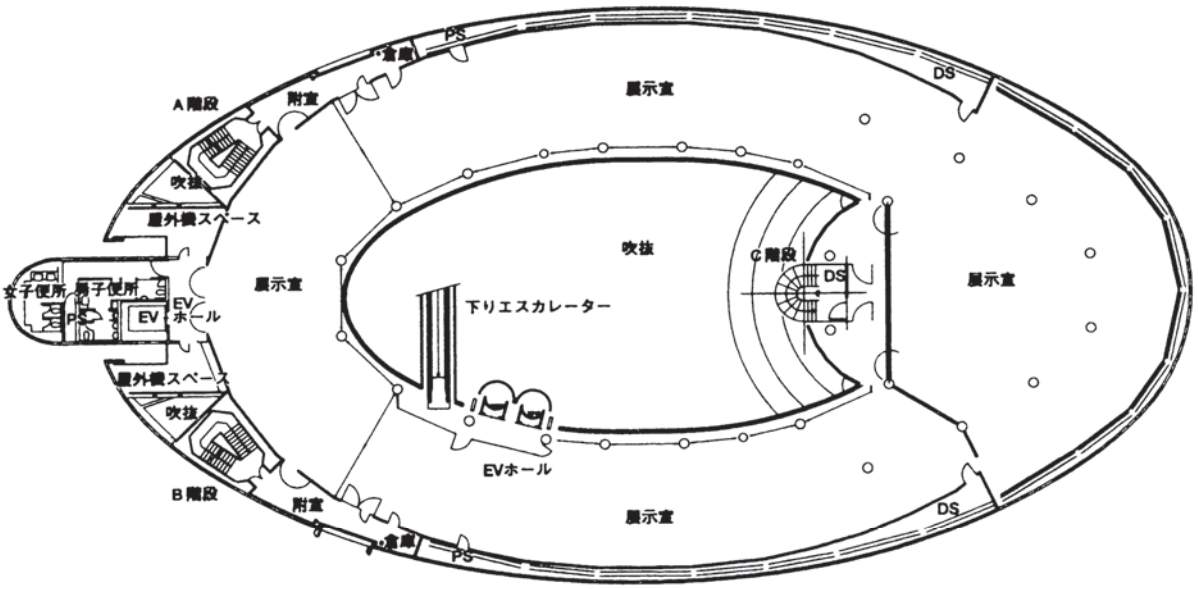
2 階平面図


A 階段
附室
倉庫
PS
吹抜
女子便所
男子便所
EV
EV ホール
展示室
エレベーター
吹抜
EV
EV
EVホール
B 階段
附室
倉庫
PS
F 階段
DS
C 階段
G 階段
DS
D 階段

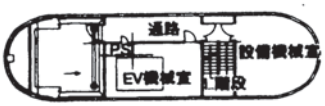
3 階平面図


A 階段
附室
倉庫
PS
吹抜
屋外機スペース
女子便所
男子便所
EV
EV ホール
展示室
エスカレーター
吹抜
C 階段
展示室
D 階段
バルコニー
屋外機スペース
吹抜
EV
EV
EVホール
展示室
バルコニー
B 階段
附室
倉庫
PS

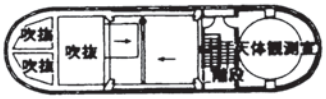
4階平面図



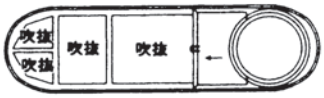
屋上・塔屋平面図



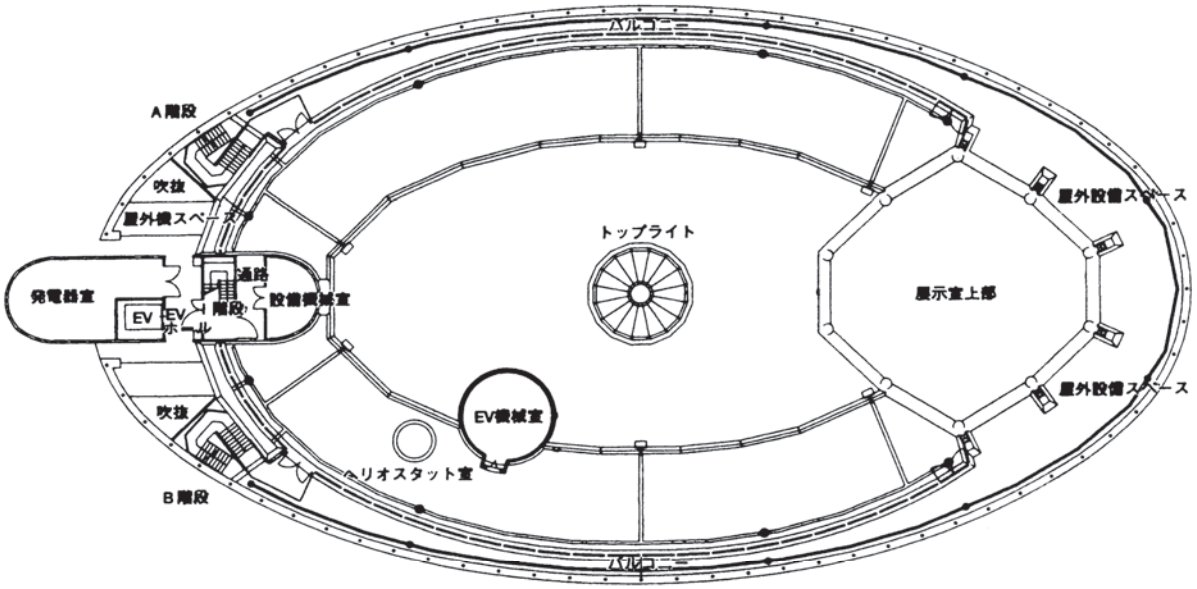
搭屋1階平面図



搭屋2階平面図



搭屋3階平面図



4. 常設展示品一覧

2026 年 3 月 31 日現在の展示品(総数 229 点)及び関係展示コーナー(6 ヶ所)は以下のとおり。

(1)4階　科学の探究　　展示点数:117　　展示場面積:1,394.4 m²

展示品名	整理番号
4. 1　私たちの宇宙	
4. 1. 1　宇宙のすがた	
太陽	4-18-1
惑星体重計	4-18-5
惑星の重力くらべ	4-18-4
太陽系の惑星	4-18-2
隕石	4-18-3
太陽系の小天体	4-24-1
月の満ち欠け	4-18-10
宇宙探査	4-18-19
太陽風と磁気圏	4-18-6
オーロラ	4-18-7
宇宙の階層構造	4-24-2
デジタル星座早見	4-18-17
星の三次元分布	4-24-3
天の川銀河	4-24-4
宇宙の大規模構造	4-99-6
4. 1. 2　宇宙を探る	
波長による見え方くらべ	4-18-16
電波望遠鏡	4-18-12
パラボラゴルフ	4-18-11
赤外線観察装置	4-17-5
望遠鏡のしくみ	4-99-28
生駒山宇宙科学館の反射望遠鏡	4-05-1
紫外線観察装置	4-18-14
X 線観察装置	4-18-15
4. 1. 3　素粒子・宇宙線と検出器	
ミュオグラフィ	4-17-1
ニュートリノ研究	4-99-4
宇宙線検出器	4-00-1
大型拡散型霧箱	1-08-20
X 線回折装置	4-99-22
真空管式電子顕微鏡	4-99-22
電子顕微鏡「日本電子 JSM-T200」	4-99-22
顕微鏡分光光度計	4-13-1
4. 2　大阪と科学	
4. 2. 1　大阪の科学研究	
コッククロフト・ウォルトン型加速器	4-93-04
バンデグラフ加速器の加速管	4-24-5
小型霧箱	4-24-6
ウィルソンの霧箱	4-17-2
湯川秀樹	4-24-7
南部陽一郎	4-24-8
磁石のテーブル	4-01-2
4. 2. 2　大阪の科学史	
江戸時代の天文学	4-99-9
橋本宗吉とエレキテル	4-24-9
大阪舎密局	4-99-11
4. 2. 3　大阪の産業史	
住友銅吹所	4-99-10
綿工業・紡績	4-24-10
4. 2. 4　大大阪の繁栄	
シアター(大大阪を支えた電気事業)	4-24-11
学天則、学天則機構模型	1-08-1
4. 2. 5　電気科学館	
磁石説明装置	4-24-12
電界の説明装置	4-24-13
廻転玉子	350
輻射計動作説明装置	4-24-14
射撃練習装置	4-24-15
幻の花	4-24-16
X 線実験装置	4-24-17
手動発電機	1-08-6
4. 3　科学と歴史のあゆみ	
4. 3. 1　力と運動	
科学の夜明け(ケース)	4-24-18
滑車	4-24-19
てこ	4-24-20
力くらべ	3-93-02
アーチ橋	4-99-29
歯車	4-24-21
振り子ウェーブ	4-13-5
振り子時計	4-24-22
カオティック振り子	4-01-1
ケプラーモーション	4-17-4
慣性の法則	4-18-22
遠心力	3-93-03
時と暦	4-99-14
リーフラー時計	4-24-23

展示品名	整理番号
4．3．2　光と熱	
光のとおり道	4-24-24
光のスペクトル	4-99-34
虹スクリーン	4-99-35
CD のカーテン	4-24-25
3D の虹	4-12-3
光の三原色	4-13-6
光学機器(ケース)	4-99-15
分光(ケース)	4-24-26
熱力学(ケース)	4-99-17
真空中の音と風	4-18-23
4．3．3　電気と磁気	
電磁気(ケース)	4-99-20
磁石のイス	4-99-38
天然磁石	4-03-1
静電気マシン	4-99-39
人間電池	4-24-27
電流と磁場	3-94-21
電流が受ける力	3-94-19
強力電磁石	4-17-6
磁力線とコイル	4-99-41
磁力線の花	4-06-1
トランス	4-99-40
電気をおこそう	1-08-8
地下鉄のモーター	4-06-4
渦電流テーブル	1-92-26

展示品名	整理番号
渦電流の応用(リターダ、IH 炊飯器)	4-24-28
アルミがねばる	4-15-2
不思議な金属板	3-94-18
三相交流モーター	4-24-29
電気でジャンプ	4-11-1
ヘルツの実験	4-99-42
4．3．4　科学の利用	
手回し発電	4-24-30
水力発電	4-24-31
火力発電	4-24-32
原子力発電	4-24-33
太陽光発電	4-24-34
振動発電	4-24-35
燃料電池発電	4-24-36
いろいろな発電	4-24-37
家電製品のいろいろ	4-24-38
電波の利用	4-24-39
エレクトロニクス	4-24-40
計算機	4-24-41
いろいろなパソコン	1-21-2
スーパーコンピュータ「京」	1-21-1
気象観測モニター	4-18-27
気象観測機器のいろいろ	4-24-42
天気予報ができるまで・ラジオゾンデ	4-24-43
ミニ露場	4-18-26
キューブ君	1-08-2
スペース ローンチ システム(SLS) 1/32 モデル	4-25-1

展示場4階「コッククロフト・ウォルトン型加速器」、「バンデグラフ加速器の加速管」

(2)3階　物質の探究／サイエンスショー　展示点数:72　展示場面積:996.0 m²

展示品名	整理番号
3．1　鉱物・結晶	
水晶	3-08-6
水晶の構造	3-24-1
鉱物ってなに？	3-24-2
まわしてならべて	3-06-1
結晶を観察しよう	3-24-3
鉱物いろいろ	3-08-1
岩塩	3-24-4
鉱物からできるもの	4-18-32
宝石いろいろ	3-08-3
スロー実験　結晶の成長	3-24-5
3．2　金属	
金属ってなに？	3-24-6
素材の重さくらべ	3-24-7
素材の冷たさくらべ	4-99-36
金の構造	3-24-8
鉄	3-24-9
金	3-24-10
銀	3-24-11
銅	3-24-12
アルミニウム	3-24-13
チタン	3-24-14
ジュラルミン	3-24-15
合金カタログ	3-24-16
スロー実験　金属のさび	3-24-17
3．3　セラミックス・ガラス・液晶	
ステンドグラス	3-24-18
ガラスと水晶を見分けよう	3-24-19
ガラスいろいろ	3-24-20
ガラスの構造	3-24-21
セラミックスってなに？	3-24-22
セラミックアート	3-24-23
セラミックスいろいろ	3-24-24
はれたりくもったり	3-24-25
液晶ってなに？	3-24-26
液晶を観察しよう	3-24-27
液晶の構造	3-24-28
3．4　原子・分子の発見	
実物周期表	4-18-29
元素の利用	4-18-30

展示品名	整理番号
原子体重計	3-24-29
ブラウン運動を観察しよう	3-24-30
ブラウン運動のおもちゃ	3-24-31
においをかいでみよう	3-24-32
においいろいろ(ケース)	3-24-33
メントール結晶	3-14-1
スロー実験　物質の昇華	3-24-34
いろいろな素材のイス	3-24-35
素材の音の聞きくらべ	3-24-36
3．5　高分子	
プラスチックいろいろ	3-24-37
繊維いろいろ	3-24-38
ナイロン 6,6 の構造	3-24-39
ポリエチレンの構造	3-24-40
プラスチックってなに？	3-24-41
活躍する高分子	3-24-42
スロー実験　生分解性プラスチック	3-24-43
3．6　色の化学	
色いろいろ	3-24-44
染料いろいろ	3-24-45
顔料いろいろ	3-24-46
プルシアンブルーの構造	3-24-47
花火の科学	3-24-48
光るものいろいろ	3-24-49
クレヨンができるまで	3-24-50
3．7　大阪のものづくりと化学	
漆	3-24-51
ウルシオールの構造	3-24-52
生薬ウォール	3-08-25
生薬とその道具	3-24-53
河内木綿	3-24-54
化粧まわし	3-24-55
和泉蜻蛉玉	3-24-56
堺打刃物	3-24-57
3．8　私たちの未来と化学	
炭素循環ってなに？	3-24-58
石油に代わるエネルギー・材料	3-24-59
石油の利用	4-08-31
太陽光エネルギーの利用	3-24-60
水素社会実現に向けた新技術	3-24-61

(3)2階　みんなでたのしむサイエンス　　展示点数:35　　展示場面積:421.9 m²

展示品名	整理番号
2．1　ボールがころがる	
ボールマシン	360
ボールがはねる道	2-08-2
坂道ゴルフ	2-24-1
ぐるぐるループ	2-11-1
うずをまいて落ちる	2-08-5
車りんのきょうそう	2-24-2
どこにとんでく？	2-24-3
どうして上れる？	2-24-4
どれが曲がれる？	2-24-5
2．2　鏡にうつる	
ういて見える？	2-08-21
顔がたくさん	2-08-20
ゆがんでうつる？	2-08-15
顔でまんげきょう	2-24-6
わたしがたくさん	2-08-12
むげんにうつる	2-08-11
大きくうつる	2-08-16
いろいろなかがみ	2-24-7

展示品名	整理番号
2．3　風がふく	
風の通り道	2-24-8
たつまき作ろう	2-24-9
おどる風船	2-24-10
ボールをうかそう	2-24-11
風が引っぱる	2-24-12
2．4　音がなる	
いろいろな楽器	2-24-13
ピアノの中身	2-08-36
楽器を鳴らそう	2-24-14
音でふるえる	2-24-15
たたいてドレミ	2-24-16
はく手でこだま	2-08-30
音を集める	2-24-17
足あとウェーブ	2-24-18
波のかたち	2-24-19
2．5　磁石にくっつく	
じ石でつろう	2-24-20
じ力を見よう	2-24-21
地球をうかそう	3-94-22
じ石ゆらゆら	4-17-3

展示場2階「みんなでたのしむサイエンス」

(4)1階、 正面玄関、地階、屋外　展示点数:5

展示品名	整理番号
1階	
博学連携コーナー	4-18-25
地階	
カールツアイスⅡ型プラネタリウム	BF-3
MS-10 型プラネタリウム	BF-4

展示品名	整理番号
正面玄関	
偏光ステンドグラス	1-08-3
屋外	
屋外日時計	A-05-1

(5) その他展示コーナー等

コーナー名	整理番号
デバイスギャラリー	3-99-15
図書コーナー	3-08-35
サイエンスステージ	3-08-34

コーナー名	整理番号
サイエンスショー展示コーナー	3-08-36
しゅうりこうぼう	2-08-1
ショーウィンドー(正面玄関横)	1-4-01

地下1階「カールツアイスⅡ型プラネタリウム」

5. プラネタリウム設備及び投影種別

(1)投影機器類

投影機種類	種　別	仕　様
プラネタリウム	インフィニウム Σ -OSAKA (2019 年コニカミノルタプラネタリウム製)	・恒星:LED 光源、6.5 等星までの約 9,000 個 ・明るい 39 個の恒星(4 つの変光星含む)を個別投影、またたき可、低高度での自動減光可、変光星はパターンならびに学術データにそった変光可 ・スペクトル型に従った色表現－上位 100 星 ・天の川:35 万個の恒星の集合で表現 ・太陽・惑星:独立した 6 台の投影機から投影 ・月:満ち欠けを機械式で表現する専用投影機の他、月食にも対応するビデオプロジェクターを搭載した投影機も併用 ・地球上のみならず、太陽系内を航行する宇宙船の視点あるいは任意の惑星上での天体の運動も表現可能 ・超新星:日年周に追従する専用投影機により表現 ・タブレットによるリモコン操作、音声認識
補助投影機(1)	メディアグローブ Σ SE (2022 年コニカミノルタプラネタリウム製)	・全天周動画システム ・プロジェクター6 台 ・フルカラー動画・静止画を投影 ・5.1 チャンネル音響の再生 ・デジタルプラネタリウム機能－任意の日時や場所での星空をはじめ星座絵・各種座標線・恒星間飛行など多彩な表現が可能 ・各種宇宙天文に関するデータベースを搭載し、宇宙の姿を忠実に再現 ・グラフィカルユーザーインターフェイスにより、リアルタイム操作によるインタラクティブな演出
補助投影機(2)	メディアグローブ Σ (2019 年コニカミノルタプラネタリウム製)	・2 台のプロジェクタで全天に映像を投影 ・プラネタリウムの星空と完全に同期して星座絵や座標線などを投影
音響システム	(2022 年ヒビノスペーステック製)	・メインスピーカー8 台、スーパーウーハー2 台 ・音像移動制御
ドーム照明	LED式照明	・ドーム周囲 360 ユニット、DMX演出制御－1 ユニット単位で制御 ・ドーム周囲低照度の全周青照明、DMX演出制御 ・ドーム後方から上部照射の作業用高輝度ライト(10 灯)点灯消灯のみ
その他	Amateras Server (2022 年オリハルコンテクノロジーズ製)	・映像入出力補正用メディアサーバー ・メディアグローブ Σ SE からの 5.6K×5.6K の映像出力を投影補正してプロジェクターに出力 ・最大 6K×6K(60p)の全天周映像・平面映像の投影機能、音声出力機能 ・4K×2K の映像入力可能な外部入力 2 系統 ・NDI 方式での FHD 映像入力機能 ・PIP 重ね合わせ機能

その他	統合制御・メディアグローブΣ・メディアグローブΣSE オフライン開発環境(2022 年コニカミノルタプラネタリウム製)	・プラネタリウム、メディアグローブΣ、メディアグローブΣSE 用コンテンツ作成用ツール ・ドーム直径 3mテスト投影ドーム及びプロジェクター(4K×2K 投影)

(2)投影の種類

種 類	内 容	備 考
一般投影 A	対象者を限定しない通常行っている投影	その日大阪で見える星空解説と、季節ごとのテーマ解説を生解説で行う。 テーマ解説の内容は、学芸員がシナリオ・演出の基本プランを作成し、制作を実施。コンテンツ(CG 動画、インタビュービデオ等)の一部は外注で制作。 投影時間:約 45 分間
一般投影 B	対象者を限定しない通常行っている投影	その日大阪で見える星空解説と、季節ごとの全天周デジタル映像作品を投影する。 今年度の映像作品は「ブラックホールを見た日」「星の降る夜に」などを投影した。 投影時間:約 45 分間
学芸員スペシャル	対象者を限定しない投影(2019 年 6 月 8 日より開始)	土日祝日の 17:00 に実施。 学芸員が交代で担当。各自の専門・得意分野を生かした投影。 投影時間:約 45 分間
学習投影	小学生・中学生対象にした理科の単元に沿った投影	小学生向けの、日の出入りと星の動き(A)と、中学生向けの、季節変化と惑星(B)の内容で、予約団体に合わせて学芸員の生解説で投影する。それぞれ学習用テキストを配布。 投影時間:約 50 分間
ファミリータイム	主に幼児から小学校低学年までの子供連れの家族向け投影	その日大阪で見える星空解説と月ごとの話題をやさしく解説する。平日の 11:00 からと、学休期間土日祝日の 10:10、13:00 から実施。 投影時間:約 35 分間
特別投影	スペシャルナイト等	学芸員の専門・得意分野を活かした内容や外部講師を招いての投影。90 分間から 120 分間程度。また夏休み期間等に小学校高学年を対象とするプログラムも特別投影と位置付ける。

6. 主な設備・備品

(1)天体観測装置

1－1)天体観測室

屋上塔屋 3 階にあり、以下の設備となっている。天体観望会・プラネタリウムや展示の映像資料作成等に使用されている。ドームは西村製作所製(1989 年)、直径 4.7m。なお、2021 年に 50cm 反射望遠鏡及び同架 10cm 望遠鏡の経年劣化部分について整備を行った。天体観測室の主な設備は以下のとおり。

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
50cm カセグレン・ニュートン兼用反射望遠鏡	――	カセグレン合成焦点距離 600cm(F12) ニュートン焦点距離 200cm(F4) フォーク式赤道儀	1989 年、西村製作所製 (2013 年 駆動系一部改修 自動導入装置追加、2021 年 光学整備)
10cm 屈折望遠鏡	――	焦点距離 1200mm	1989 年、ニコン製。50cm 鏡に同架、2 本(2021 年 光学整備)
冷却 CCD カメラ	――	スターダム BT-20 CompuScope 製 CCD800	1997 年、ビットラン製
CMOS カメラ	――	QHYCCD 社 QHY5III462C QHYCCD 社 QHY5III485C	2021 年 1/2.8”FHD 2021 年 1/1.2”4K
ビデオ CCD カメラ	――	ビクセン製 B05-3M WATECWAT100N+CBC6mmF0.8(レンズ)	2001 年
イメージインテンシファイアー	――	浜松ホトニクス製 II	1989 年
光電測光装置	――	エイ・イー・エス製 PCPA-1	1989 年
35mm 判カメラ	――	ニコン F3	1989 年
Hα フィルタ	――	デイスター製(半値幅 0.6Å)	1989 年
ディジタルカメラ	14013-1 ―― ―― ―― ―― 2021002-1	ニコン D100 キャノン EOSkissDigital フジ Finepix S5pro ニコン D800 ニコン D610 ソニー α7SIII	2003 年 2006 年 2009 年 2012 年 2015 年 2021 年
カメラ用レンズ	―― ―― ――	シグマ全周魚眼レンズ(ニコン用) ニコン魚眼ズームレンズ ＋ソニーE マウントコンバータ	2008 年 (4.5mm F2.8) 2021 年 (8-15mm F3.5-4.5) 2021 年
低分散分光器・カメラ	――	DSS-7 SBIG ST-7XME-NABG・クラス 1	2010 年

1－2)その他の天体観測機器

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
35cm シュミットカセグレン	06031-1	セレストロンC14 型 口径 35cm	1995 年、移動式赤道儀(旭光学工業製 MS-4)に同架
電視観望用望遠鏡	2021006-1	ユニステラ社 eVscope 口径 11.4cm	2021 年
小型望遠鏡	07029-1 07030-1 ―― ――	13cm 反射・GP 赤道儀 2 台 8cm 屈折・GP 赤道儀 2 台 8cm 屈折・GP2 赤道儀 3 台 8cm 屈折・ポルタ経緯台 3 台	1996 年、ビクセン製 1996 年、ビクセン製 2009 年、ビクセン製 2009 年、ビクセン製
双眼鏡		7倍 50mm 6 台 10 倍 50mm 3 台	ビクセン製、Z 型 CF 台数分のカメラ用三脚あり
小型太陽望遠鏡ならびに太陽電波受信装置	――	コロナド社 PST TDK パラボラアンテナ及び、マイクロ波検波装置、記録用 PC	2007 年、川上新吾氏の科研費購入品より贈与

(2)データ解析装置

種 別	備品番号	仕様・品名	備 考
マイクロフォトメータ	----	ナルミ商会製 101 型	1997 年、東京学芸大学より寄贈
ワークステーション	----	サン Ultra5(メインメモリ 128MB、ハードディスク 24GB)	2000 年
デジタルアーカイブ	---	Canon Eos Kiss + マクロレンズ EF50mm スタジオワイドセット LPL-L18911 PFU 非破壊ブックスキャナ SCAN SNAP SV-600 PFU OCR スキャナ SCAN SNAP iX1500	2007 年 2013 年 2020 年

(3)ネットワークシステム

館内ネットワークの調査、整備を行い新たに屋上等に情報コンセントを設けた。また、研修室等に Wi-Fi アクセスポイントを設けた。

種 別	仕 様	備 考
LAN	基幹ケーブル:1000BASE F(事務室、プラネタリウム準備室) 支線ケーブル:100BaseT(事務室、館長室、副館長室、研修室、工作室、1 階資料庫(旧展示制作室)、展示場 1～4 階、プラネタリウム CPU 室、プラネタリウムコンソール、プラネタリウム製作室、屋上旧ヘリオスタット室、天文台)	2002 年 1996 年(2021 年拡張) 2004 年(2021 年拡張)
WAN	国立情報学研究所 SINET に広域 LAN(UNO)で接続(100Mbps)	2014 年
Wi-Fi	事務室、第1会議室(旧応接室)、研修室、工作室、多目的室、サイエンスステージ、プラネタリウム準備室、天文台、プラネタリウムコンソール	2021 年
プロトコル	LAN・WAN とも TCP/IP	

(4)物理・化学関係実験装置・測定器等

種 別	整理番号	仕様・品名	備 考
真空ポンプ	----	島津製作所製 D-50	
バンデグラフ起電機	----	島津製作所製 VG-250	
ミリカン電気素量測定器	04011-1	島津製作所製 MLD-10	1993 年
放電管用高圧変圧器	----	島津製作所製	
磁化用コイル	----	島津製作所製 MC-50	
スタティックモータ	----	島津製作所製 SM-3	
ドライアイス製造器	05006-1	島津製作所製 111-050	1993 年
ドラフトチャンバ	----	島津製作所製 CB-1	
純水製造器	08020-1	島津製作所製 SWAC-100	1997 年
超音波洗浄機	----	島津製作所製 SUS-103	
化学実験投影装置	----	島津製作所製 TOS-10	
万有引力測定実験器	----	マリス製	1994 年、住友銀行中之島支店より寄贈
水波投影装置	05014-1		1994 年
紫外線物質鑑定器	----	マリス製	
電子線回折装置	06025-1	マリス製 06-1131-CML	1995 年
遠心分離器	----	サンコー製 CW-1400	
PH 計	06011-2	東亜電波工業製 HM-14P	1995 年
電気導電率計	06021-1	東亜電波工業製 CM-14P	1995 年

CCD カメラ	14004-1	エルモ製 SK-2120	2002 年
顕微鏡	05025-2	カートン製 VS	1994 年、10 台
X線装置	14041-1	ケニス 1-121-330 B-4	2003 年
デジタル分光器	11023-1	島津 V-30D	2000 年
電解装置	06015-1	マリス 11-6275 A-DM	1994 年
放射温度計	05054-1	TA-0510F	1994 年
放射線計数装置	04012-1	島津 RMS-6	1993 年
演示用てこ	04008-1	マリス 03-0278	1992 年
衝突球	04007-1	マリス 03-1533	1992 年
真空ポンプ	08017-1	マリス 03-6384-S-30P	1996 年
イオン分析器	08029-1	IA-100	1997 年
オシロスコープ	08032-1	島津 DSS-533	1997 年
大型ナトリウム光源	09016-1	島津 NLA-10	1997 年
テスラ実験装置	10010-1		1999 年
ナトリウム吸光器	11008-1	マリス 03-9730-CNN	1999 年
偏光顕微鏡	----	Nikon	2010 年 小村良二氏より寄贈
ツインタワーバンデグラフ	----	島津 VG-T	2010 年
高速度カメラ		キーエンス VW-9000	2012 年
高性能ズームレンズ		キーエンス VH-Z20W	2013 年
電動ステージ		キーエンス VHX-S90F/VH-S30B	2014 年
半導体レーザー干渉計		石川光学造形研究所 LDIF-1	2017 年

(5)オンライン収録・配信用機器

2020 年から続く新型コロナウイルス感染症のまん延で、外出や広域での移動が抑制される一方、オンラインでの視聴環境が家庭、学校等で整ってきたこともあり、オンラインでの事業が増えてきた。これらの品質を高め、効率化を図るため 2021 年度に文化庁による新型コロナウイルス感染症まん延対策の助成(半額)を受け、収録・配信用機器を整備した。なお、天体の映像撮影にも使用するものは(1)天体観測機器と共用している((共)を付した)。

種 別	整理番号	仕様・品名	備 考
カメラ	2021002-1 2021005-1 2021004-1	ソニー α7SIII(共) Panasonic LUMIX GH5II ソニーZV-1	2021 年 天体機器共用 2021 年 2021 年
カメラレンズ	2021003-1	タムロン A046SF 17-28mm F/2.8	2021 年 SONY E マウント用
書画カメラ		プリンストン PDP-4K13 4K カメラ	2021 年
顕微鏡カメラ		サードウェーブ ビティニーUM08 FHD	2021 年
電視観望用望遠鏡	2021006-1	ユニステラ社 eVscope(共)	2021 年
望遠鏡用カメラ		QHYCCD 社 QHY5III462C(共) QHYCCD 社 QHY5III485C(共)	2021 年 1/2.8″ FHD 2021 年 1/1.2”4K
映像配信用スイッチャー		ATEM Mini PRO 2 セット ATEM Mini	2021 年 HDMI 2020 年 HDMI
映像中継、カメラコントロール、コンテンツ送出用 PC	2021009-1,2 2021009-3	Dell G15 2 セット Microsoft LAPTOPGO 2 セット(共) Dell XPS デスクトップ	2021 年 2021 年 WEB カメラ付き 2021 年
配信用音響ミキサー		YAMAHA AG03 CANONI/F USB OUT	2020 年
映像モニター		EIZO FlexScan EV2785 2 セット IO データ LDC131DBM	2021 年 27 型 4K 2021 年 13 型 FHD
野外用ポータブル電源		Anker PowerHouseII 400 300Wh	2021 年

7. 大阪市立科学館利用規程

制　　定　平成 31 年 4 月 1 日
大阪市博物館機構規程 第 37-4 号

（趣旨）
第 1 条　大阪市立科学館（以下「科学館」という。）の利用に関しては、この規程の定めるところによる。

（休館日）
第 2 条　科学館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後最初に到来する休日以外の日）
(2) 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで

2　前項の規定にかかわらず、科学館の館長（以下「館長」という。）は、科学館の設備の補修、点検若しくは整備、天災その他やむを得ない事由があるとき又は科学館の効用を発揮するため必要があるときは、事前に又は速やかに理事長の承認を得て同項の規定による休館日を変更し、又は臨時の休館日を定めることができる。

3　館長は、前項の休館を行う場合、事前に又は速やかにその内容を公告しなければならない。

（供用時間）
第 3 条　科学館の供用時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2　前条第 2 項及び第 3 項の規定は、科学館の供用時間について準用する。この場合において、同条第 2 項中「前項」とあるのは「第 3 条第 1 項」と、「休館日を変更し、又は臨時の休館日を定める」とあるのは「供用時間を変更する」と、同条第 3 項中「前項」とあるのは「第 3 条第 2 項の規定により読み替えられた第 2 条第 2 項」と読み替えるものとする。

（入館の制限）
第 4 条　館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を断り、又は退館させることができる。
(1)　他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をするおそれがある者
(2)　建物、設備又は展示品を損傷するおそれがある者
(3)　他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる物品又は動物を携行する者
(4)　管理上必要な指示に従わない者
(5)　その他管理上支障があると認める者

（特別観覧の許可）
第 5 条　科学館等資料について特別の観覧をしようとする者は、館長の許可を受けなければならない。

2　特別の観覧に関する手続きについては、別に定める。

（貸出しの許可）
第 6 条　科学館等資料の貸出しを受けようとする者は、館長の許可を受けなれければならない。

2　科学館等資料の貸出しに関する手続きについては、別に定める。

（利用料金）
第７条　科学館を観覧しようとする者は、館長に利用料金を支払わなければならない。ただし、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 17 条第 1 項に定める小学校就学の始期に達しない者、小学校（これに準ずるものを含む。）の児童及び中学校（これに準ずるものを含む。）の生徒に係るプラネタリウム及び特別の展示を除く観覧料については、この限りではない。

2　利用料金の額は、次に掲げる区分に応じて定める金額の範囲内において、館長があらかじめ理事長の承認を得て定める。利用料金の額を変更しようとするときも、同様とする。
(1)　観覧料（特別の展示に係るものを除く）1 人 1 回につき別表に掲げる金額
(2)　特別の展示に係る観覧料　特別の展示ごとに理事長が定める額

3　理事長は、前項の承認を行ったときは、速やかに当該承認を行った利用料金の額を公告するものとする。

4　館長は、公益上の必要その他特別の事由があると認めるときは、別に定める要項に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（損害の賠償及び事故の責任）
第８条　科学館を観覧する者が建物、設備又は科学館等資料を損傷し、又は亡失したときは、理事長の定めるところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

附　則

（施行期日）
1　この規程の施行期日は、平成 31 年 4 月 1 日とする。
2　本規定の施工前に納付された利用料金については、なお従前の例による。

別表（第７条関係）

種　別	区　分	観　覧　料	団体(30人以上)観覧料
展　示　場	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	300 円	240 円
	その他の者	400 円	320 円
プラネタリウムホール	3 歳以上中学生以下	300 円	240 円
	高等学校、高等専門学校、大学及びこれらに準ずる教育施設に在学する者	450 円	360 円
	その他の者	600 円	480 円

附録　大阪市立科学館職員名簿

（2026 年 3 月 31 日現在）

職　名	氏　名	備　考
館長	吉　岡　克　己	
副館長		
総務企画課		
総務企画課長	松　田　行　弘	
総務企画課長代理	石　坂　千　春	兼学芸課研究副主幹
総務係長（総務）	大　本　真　紀	
（総務・設備）	本　安　雄　貴	
（経理）	新　富　淳　子	
（経理）	山　本　幸　恵	
総務係長（企画広報）	西　野　藍　子	兼学芸課主任学芸員
主任（広報）	竹　浦　雅　美	
（広報・企画評価）	伊　丹　　柚	
（広報）	増　田　智　津	
副主任（ショップ）	西　岡　直　子	
副主任（サービス）	曽我部　孝　子	
副主任（企画評価）	永　原　達　哉	
学芸課		
学芸課長	小　野　昌　弘	学芸員
学芸課長代理	渡　部　義　弥	学芸員
理化係長	上　羽　貴　大	学芸員
	猪　口　睦　子	学芸員
	木　村　優　斗	学芸員
天文係長	飯　山　青　海	学芸員
主任学芸員	嘉　数　次　人	学芸員
主任学芸員	江　越　　航	学芸員
	野　村　美　月	学芸員
	三田村　耕　平	技術職員

異　動

転入			転出		
松田　行弘	2025/4/1	大阪市立東洋陶磁美術館	田中　智恵	2025/4/1	大阪市立美術館
木村　優斗	2025/4/1	新規採用	森田　直子	2025/4/1	大阪市博物館機構事務局
三田村耕平	2025/7/1	新規採用			
増田　智津	2026/2/1	新規採用			

補助スタッフ

氏 名	担当、備考	氏 名	担当、備考
栁川　晏里	プラネタリウム解説	長尾　　碧	プラネタリウム解説
松本　　怜	プラネタリウム解説	谷坂　明代	ボランティア指導
筒井　　満	ボランティア指導	出山　茂雄	ボランティア指導

大阪市立科学館概要

名　　称：大阪市立科学館（博物館法第11条による登録博物館）
所 在 地：〒530-0005 大阪市北区中之島四丁目2番1号
設 置 者：大阪市
運　　営：地方独立行政法人大阪市博物館機構（2019年4月1日設立）
開　　設：1989年10月7日
敷地面積：16,086.75㎡　（市有地）
建築面積：　3,165.78㎡
延床面積：　9,356.45㎡
建物概要：鉄筋コンクリート造、地上4階地下1階塔屋、高さ31m（塔屋まで40.5m）
　　外装ホワイトグレー色磁器タイル張
職 員 数：24名
設置目的：自然、科学及び科学技術に関する資料等を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、当該資料等に関する調査研究及び普及活動を通じて、市民の文化と教養の向上を図るとともに、学術の発展に寄与することを目的とする。（以上、定款による）
事　　業：・自然、科学及び科学技術に関する実物、標本、現象に関する資料その他資料（以下「博物館等資料」という。）を収集（制作及び寄託を含む）し、保管し、プラネタリウム投影を含む公衆の観覧に供する。
・博物館等資料に関する国内外の資料及び情報を収集し、整理し、提供する。
・調査研究を行う。
・博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びに前条の調査研究に関する教育及び普及の事業を行う。
・施設の提供や協働事業を通じて、市民が自らの学習の成果を活用して行う教育活動機会の提供とその奨励を行う。
・博物館等資料を国内外の博物館その他これに類する施設と貸借し、及び交換することができる。
（以上、地方独立行政法人大阪市博物館機構業務方法書による）
運営テーマ：「宇宙」と「エネルギー」を中心にそれらに関連する様々な科学知識・技術の普及、啓発、研究

過去の館報は、公式ホームページにて
アーカイブとして公開しております。

大阪市立科学館　館報　　Vol. 36

令和7年（2025年）度版

編集発行　大阪市立科学館
（地方独立行政法人 大阪市博物館機構）
〒530-0005
大阪市北区中之島四丁目2番1号

発行日　2026年7月22日
印　刷　あさひ高速印刷株式会社
〒550-0002
大阪市西区江戸堀二丁目1番13号